

# 日本福祉大学同窓会会報

2025.8.15

No.  
135



©TEAMパフォーマンスラボ  
©伊東武志

同窓会設立70周年記念事業は、いよいよ11月2日の大同窓会に向けて大詰めを迎えています。そのプロジェクトは前日に美浜キャンパスで開催される第73回福祉大学祭にも様々な企画で広がってきました。たくさんの同窓生にお越しいただきたい……そんな想いを伝えるのにピッタリなお写真を、同窓生インタビューにご協力いただいた鴻江未有さんから提供いただきました。

- 同窓会設立70周年記念事業・大同窓会のご案内 …………… 1
- 同窓生インタビュー 鴻江未有さん（パフォーマー・演出家） …………… 11
- 第37回社会福祉セミナーin鳥取 開催案内 …………… 14
- 研究紹介『ひとり暮らし認知症高齢者の「くらし」を考える 継続と限界のはざままで』  
～福祉経営学部 中島民恵子教授～ …………… 15
- 2025年度代表者会議のご報告 …………… 17
- 日本福祉大学社会福祉学会（学内学会）活動案内 …………… 23
- 同窓会活動日誌&開催案内 …………… 24
- 大学トピックス（在学生の活動・活躍） …………… 27
- 通信教育部情報交流 …………… 33
- 同窓生リレーずいそう …………… 35
- 地域同窓会、認定同窓会の活動報告 …………… 38
- 大学等各種案内 …………… 47
- 同窓会設立70周年記念事業のご案内Part2 …………… 49



設立70周年・悠久の未来へ～新たに築く母校の誇り～



「夢・知恵・元気を育む  
ヒューマン・ネットワーク同窓会」の輪で繋がりましょう!!

開催  
間近

## 大同窓会のご案内

2025年11月2日(日) 10:00～17:30

日本福祉大学東海キャンパス／東海市芸術劇場



こうかみ しょうじ

鴻上尚史氏（作家・演出家）記念講演会

『君はどう生きるか』

～コミュニケーションのヒント～

会場 東海市芸術劇場 大ホール

時間 10:00～12:00（開場9:40～）

定員 先着500名様

参加費 無料 ※必ずお申し込みが必要です（オンライン参加も可能）



©TOWA

祝賀懇親会

会場 東海キャンパス5階 体育館

時間 12:30～14:00

参加費 無料 ※必ずお申し込みが必要です

祝賀懇親会は事前申込により無料となりました!

ゲスト出演者  
交渉中!

2次元コードのお申し込みはコチラから

お申し込み  
方法

右記の2次元コード、HPもしくはハガキ・FAXにて  
「催事名、お名前、住所、電話番号」を明記してご応募ください。  
申込締切：10月15日(水)

※すでに団体参加で各幹事に参加を連絡済の方は、上記のお申し込みは不要です。



盛りだくさんで目白押し!

## 同窓会本部企画、各団体による独自企画・展示等

14:20~17:30の時間帯に各企画が実施されます。

タイムテーブルは同窓会ホームページ、当日の会場案内でご確認いただけます。

### 交流サロン

#### 「おしゃべりピアニスト・ ひらめのオータムコンサート」

～あの日に戻って、聴いて歌って懐かしの青春メロディ～

会場 東海キャンパス1階 エントランスホール

時間 15:30~16:30 ※事前申込不要

チラシデータはコチラから 



### 公務員の交流会

現役・OB問わず公務員が気軽に交流・情報交換し、新たな人脈づくりや親睦を深めましょう!  
公務員志望学生にも参加を呼び掛けていきます。

事前のお申し込みはコチラから



### 70周年シンポジウム

#### 「日本福祉大学の 教育を未来に どう継承するか(仮称)」



60周年研究プロジェクトの最後の集約として、同窓生(杵中時代・美浜時代・通信教育部)、新旧の教職員など大学関係者によるシンポジウムを開催します。ふるってご参加ください。※事前申込不要

開催  
準備中

- ・ 日本福祉大学70年の歴史写真展
- ・ 恩師との交流コーナー
- ・ 2027年度に開設されるキャンパス拡張エリアを見渡すコーナー



日本福祉大学同窓会設立70周年記念

検索 



## 独自企画参加団体一覧（個別の内容は次ページから掲載）

団体参加申込フォームはこちら

### ゼミ・クラス同窓会

- ① 拡大近藤直子ゼミ同窓会
- ② 1979年度1部近藤直子ゼミ同窓会
- ③ 1983年卒短大近直ゼミ同窓会
- ④ 1977年入学1部1年Mクラス同窓会
- ⑤ 森靖雄ゼミナール同窓会
- ⑥ 小木ゼミOG・OB会
- ⑦ 大泉ゼミ たてわり同窓会
- ⑧ 小池保子ゼミ合同同窓会
- ⑨ 那須野ゼミ同窓会
- ⑩ 小林培男ゼミ全体同窓会
- ⑪ 牧野ゼミ同窓会
- ⑫ 81年3月卒 第三期近直ゼミ同窓会
- ⑬ 71年入学社福2部1Fクラス
- ⑭ 82にこちゃん近直
- ⑮ 原田正樹ゼミ同窓会
- ⑯ 野尻ゼミ同窓会
- ⑰ 草鹿ゼミナール第1期生
- ⑱ 秦ゼミ生

- ⑤ 1967年卒業社会福祉学部1部同期会

### グループ同窓会（サークルなど）

- ① 勢和寮美浜大同窓会（11月1日・2日）
- ② 井戸田セツルメント2012
- ③ オール児童文化部同窓会  
（BBS赤とんぼの会、オニヤンマの会、あかとんぼ'87同窓会）
- ④ ワンダーフォーゲル部・  
ワンダーフォーゲル部フレンズ
- ⑤ 愛知県公立小・中・高・市立  
特別支援学校教職員同窓会（あすなろ会）
- ⑥ 混声合唱団OB・OB会
- ⑦ 障害者福祉研究会
- ⑧ 2部1984年卒前後拡大同窓会
- ⑨ ラグビー部OB会
- ⑩ 応援団 紫紺会
- ⑪ チーム新海浜  
（1部1982年及び前後卒業生自治会役員とそのなかまたち）
- ⑫ 勢和寮中同窓会
- ⑬ うたごえサークル馬酔木
- ⑭ 短歌愛好者有志の会
- ⑮ ヤジエセツルメントOS会
- ⑯ 日本福祉大学社会福祉学会（学内学会）
- ⑰ five flags同窓会
- ⑱ 陸上部OB・OG会
- ⑲ スクールソーシャルワーク

- ⑳ われ短の仲間
- ㉑ ヤジエセツルメント76入学世代
- ㉒ 障害学生支援センターともの会
- ㉓ 日本福祉大学アーチェリー部OB会
- ㉔ ジャズ研究会同窓会
- ㉕ ふくろう会

### 地域同窓会

- ① 名古屋地域同窓会
- ② 静岡県地域同窓会
- ③ 東三河地域同窓会
- ④ 西三河／豊田・岡崎地域同窓会
- ⑤ 知多地域同窓会（ファイヤー企画など）
- ⑥ 西尾張地域同窓会（下記と合同予定）
- ⑦ 南尾張地域同窓会
- ⑧ 西三河／碧海地域同窓会（下記と合同予定）
- ⑨ 西三河／西尾地域同窓会
- ⑩ 瀬戸・尾張旭・長久手地域同窓会

### 学部・学域・学科等同窓会

- ① 経済学部同窓会
- ② 国際開発同窓会

（2025年6月現在・順不同）

### 同期同窓会

- ① 昭和44年卒業社会福祉学部1部同期会
- ② 195F同窓会
- ③ DI66同期会
- ④ 昭和37年度卒業社会福祉学部1部同期会

## 大同窓会に参加予定の先生方

#### 元教職員の 皆さま

- 赤星俊一 様  
石川達也 様  
磯部 作 様  
伊藤シゲ子 様

- 大竹秀樹 様  
小林培男 様  
近藤直子 様  
長沢孝司 様  
福田静夫 様  
日江井敦子 様

#### 教職員の 皆さま

- 大野晶子 様  
大橋幸美 様  
小國和子 様  
岡田由香 様

- 来島修志 様  
久世淳子 様  
小林真弓 様  
小松理佐子 様  
坂上雅治 様  
佐藤慎一 様  
柴 邦代 様

- 白尾久美子 様  
鈴木健司 様  
鈴木隆宏 様  
砂原美佳 様  
中島真治 様  
中村信次 様  
中村泰久 様

- 新美綾子 様  
野尻紀恵 様  
野間知一 様  
原田正樹 様  
坂野裕洋 様  
福田秀志 様  
藤田紀昭 様

- 保正友子 様  
堀 美和子 様  
水谷聖子 様  
水谷なおみ 様  
明星智美 様  
村井裕樹 様  
両角達平 様

- 谷地宣亮 様  
山中武彦 様  
山根真紀 様  
山本和恵 様  
渡辺崇史 様

（2025年7月18日現在）

## 思い出が溢れてくる『アーカイブ事業』の実施



#### 趣旨

同窓生の皆さまの手元にあるクラブ・サークル活動に関する写真・画像データを提供いただき、70周年記念特設サイトに設置する「アーカイブ事業」ページに掲載し、ご覧いただけます。年代やキャンパス、スポーツ／文化・芸術／研究系などに分類し、色褪せない思い出・将来につながる記録が詰まった「写真館」をイメージします。また、2025年11月2日（日）に東海キャンパスで開催する大同窓会の会場内での展示も予定しています。（写真の貼り出しあるいはスライドショー上映を想定）

#### 募集

アーカイブ事業への画像提供は、2つの方法をご案内します。

- ① 専用のGoogleフォームに画像データをアップロード [Googleフォーム](https://qr1.jp/I3DG4N) URL <https://qr1.jp/I3DG4N>
- ② ファイル化されていない写真の場合は同窓会事務局へ郵送

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-32 日本福祉大学同窓会事務局 アーカイブ事業係 宛

※郵送の場合、写真について「いつ」「どこで」「何の（人や団体名、目的や活動）」の基本情報と、その写真に関するエピソードがあれば記載した書類も同封してください（複数の写真を送る場合は写真の区別についても留意してください）。掲載・展示にあたり、写真の説明・キャプションは同窓会本部にて編集する場合があります。また、写真の貸与または寄贈のいずれかも明記してください。

#### 応募締切

2025年9月30日（火）入力または必着

#### 備考

- ・1団体につき応募点数は10までを基準といたします。掲載する画像は選考する場合があります。
- ・コンテンツは70周年記念事業期間中は特設サイトのアーカイブ事業ページに掲載し、事業期間終了後については別途検討いたします。
- ・コンテンツの提供は、貸与あるいは寄贈にて承ります。寄贈されたコンテンツについて、保管・処分等の扱いは同窓会本部に一任いただきます。

2次元コードはコチラ





## 大同窓会 参加団体からの メッセージ

同窓生の皆さまへ届いたメッセージを紹介します(一部)。  
どなたでも参加できるイベントがたくさんありますので、  
お気軽に会場にお立ち寄りください。

### 名古屋地域同窓会

#### 名古屋地域同窓会交流：喫茶・展示コーナー

名古屋地域同窓会では、70周年記念大同窓会に全国各地から参加される同窓生の皆さまをお迎えすると共に、会員の交流の場を設けます。

友人との待ち合わせ、歓談あるいは一休みの場として活用ください。

名古屋地域同窓会会員は、もちろんぜひお立ち寄りください。  
(文責 水野 孝安)

### 静岡県地域同窓会

静岡県地域同窓会は、70周年記念事業で作成した、記念ムービーを視聴していただけるスペースを設け、同窓生が勤務している事業所の自主製品販売、同窓生が生産した美味しい米を良心価格で販売します。皆さま、お気軽にお越しいただき、同窓生同士の交流も図りたいと思います。また、静岡県出身の学生にはささやかなプレゼントを贈呈しますので、楽しみにしてお立ち寄りください。  
(文責 増田 せつ子)

### 西三河／豊田・岡崎地域同窓会&東三河地域同窓会

#### 西・東三河地域合同みやげ屋

同窓会設立70周年大同窓会に西三河／豊田・岡崎地域同窓会と東三河地域同窓会が合同で全国から集まる同窓生にお土産屋を開催します。各地域を代表する果物や野菜そして同窓生が勤務する施設の商品等を魅力的な価格で準備します。場所は、東海キャンパス1階を予定しております。祝賀懇親会終了後に開店します。

是非、皆さまご来店ください。お目にかかれることを楽しみにしています。  
(文責 中西 利博)

### 西尾張地域同窓会

#### 西尾張・南尾張地域同窓会合同交流企画

車座になり、自己紹介して交流しましょう!交通費を支給いたします。(名鉄一宮駅か国府宮駅、事前申し込み)

同窓会に思いがある方、ない方も参加してください。帰りにお土産も用意してま〜す。  
(文責 伊藤 喜之)

※交通費の助成は、該当の地域同窓会所属の方に限らせていただきます。

### 南尾張地域同窓会

#### 西尾張・南尾張地域同窓会合同交流企画

西尾張・南尾張地域同窓会の地域に縁のある方、ない方も同窓会を盛り上げていきましょう!参加された方にお土産があります。

同窓会員に交通費を一部助成します。(最寄りの電車〜太田川駅まで、片道負担) ※事前申し込み

(文責 浅井 悦子)

※交通費の助成は、該当の地域同窓会所属の方に限らせていただきます。

### 西尾地域同窓会・碧海地域同窓会

#### 西尾・碧海地域同窓会合同の集い

[第1部] 取り組み報告

- ・西尾子ども食堂とフードバンクの取り組み(西尾)
- ・特養せんねん村の取り組み(碧海)

[第2部] 卒業を祝う会

[第3部] 交流会(自己紹介・近況報告・感想など)

※西尾・碧海地域以外の方々への参加も大歓迎です。資料がありましたらご持参ください。

[連絡先] 木内正範  
(文責 木内 正範)

### 瀬戸・尾張旭・長久手地域同窓会

コロナ以降、総会が開催できずにおりましたが、同窓会設立70周年記念事業に併せて、総会を開催することになりました。

大同窓会祝賀懇親会後の14:30から、東海キャンパス内教室で総会・つどいを開催し、今後の地域同窓会の活動について、お茶を飲みながら意見交換できればと思っております。なお、参加者(事前申し込み必要)には、交通費の一部を助成します。  
(文責 眞浦 秀雄)

※交通費の助成は、該当の地域同窓会所属の方に限らせていただきます。

## 経済学部同窓会

### 茶話会&名刺交換会

カフェスペースや卒業アルバムの閲覧コーナーを設けます。学生時代を思い出しながら楽しく語り合きましょう。多くの世代の方々との名刺交換や情報交換で今後のビジネスに活きるかも！近年、経済学部同窓会では経済学部生を対象とした「懸賞論文事業」を実施しており、当日は過去の受賞者を招いて近況報告なども予定しております。是非、気軽にお立ち寄りください！  
(文責 近藤 英夫)

## 国際開発同窓会

### 国際開発同窓会ホームカミングデー&講演会、大同窓会

国際開発同窓会では、卒業生から在学生まで広く集まれる企画を開催します。

東海キャンパスを会場に先生方を交えた交流企画や千頭聡先生による講演を企画しています。また、東海キャンパスから会場を移して大同窓会(懇親会)も予定しています。皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。(文責 丹羽 俊策)

## ヤジエセツルメントOS会

「ヤジエセツルメント76入学世代」が今回呼び掛けた、1978年3月卒～1982年3月卒のOSと祝賀懇親会及び独自企画を一緒にします(こちらは少人数)。なお、当会は1975年3月卒以前の卒業生なので、この中間のセツラーの方々も参加いただけると嬉しいです。当会は統合により、最年長のOSは一期生まで含みます。が、さすがに近年の最年長参加OSは1967年卒あたりです。団体参加の為、会費は無料です。多数のご参加をお待ちしています。  
(文責 青山 正治)

## ヤジエセツルメント76入学世代

### ヤジエセツルメント(1974年～1978年入学前後世代)同窓会

福祉大学入学から50年近く経過しました。私達は1976年入学前後の世代を中心に同窓会設立70周年記念の節目として参加を広く呼びかけます。おそらく10年後の参加は困難な方が多いと思われます。この機会に一同に会し、あの頃の思い出を共有しながら、残りの人生へ希望を語り合しましょう。  
(文責 福田 周二)

## 勢和寮美浜大同窓会

### 勢和寮OBによるクロストークイベント開催！

枳中時代・美浜への移転・80年代の美浜・ミレニアムの勢和寮を経験された4名の寮生OBによる、世代を超えたトークセッションを開催します。当日は、勢和寮コミュニティの歴史を追ったドキュメンタリー動画も上映。勢和寮に関係した方はもちろん、学生寮、自治寮の暮らしに興味のある方も、ぜひご参加ください。

[日時]2025年11月1日(土)14:00～16:00(受付13:30～)  
[場所]大講義棟2号館220教室 (文責 木佐貴 正博)

## 勢和寮枳中同窓会

### 勢和寮枳中同窓会 in 2025

語り合おうあの時と今を、深めよう絆を、勢和寮枳中卒業の皆さま。寮で過ごした時は人生の中のほんのひと時であったかも知れません。しかし、中身の濃いひと時ではなかったでしょうか。当時と面影は変わっていても寮ネームで呼び合えばあの頃の思い出が蘇ってきます。同窓会で当時の思い出で大いに交流し、そして今様々の分野で頑張っている姿を確認しあい、改めてこれからに向かっての英気を養いましょう。友情!連帯!勢和寮。  
(文責 木口 栄(キムチ))

## 2部1984年卒前後拡大同窓会

### 学年を超えて語り合おう!2部卒業生のつどい

2部1980年入学～1984年～卒業の同窓生のつどいを企画しました。各学年でこれまで開いていなかった同窓会をこの機会に開きませんか?

また、今年の同窓会は、学年を超えて交流しませんか?

11月2日夜6:00～名古屋駅前の「八海山越後屋」の大宴会場で1人5,000円にて、大懇親会も行います。こちらにもぜひ、ご参加ください。待ってます!!

(文責 小川 雄司(パンツ)大阪田尻町議)

## 日本福祉大学195F同窓会

『195F同窓会』では、これまで美浜キャンパス・東海キャンパス・名古屋キャンパス・大阪サテライトなどで同窓会を開催してきました。また、FacebookやLINE等のSNSでもグループをつくり、情報共有や交流を行ってきました。1995年に日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科へ入学をした同級生たちとの「つながり」を今年は70周年記念事業大同窓会でも…。再会に向けて「よ～い…はじめ♪」

(文責 飯嶋 進哉)

## ■ 昭和44年卒業社会福祉学部1部

### 同期会

昭和44年(43年度)卒業の皆さま、大学を卒業して、はや55年が過ぎ喜寿を迎えることができました。

私達の母校(社会福祉学部)は、知多半島の美浜町へ移転し、さらに2027年に東海市・名鉄太田川駅前の東海キャンパスに移転します。この度の70周年記念大同窓会は、その東海キャンパスで開催されますので、久しぶりに集まりたいと思います。最後の機会になるかも知れません。是非ご参集ください。(文責 水野 孝安)

## ■ 1967年I部 卒業同期会

### これまでの同期会の経過・自己紹介・近況報告等

コロナ禍後、同窓会設立70周年記念事業としての同期会です。ご都合つきましたらぜひご参加をお願いします。

#### 〈祝賀懇親会〉

1967年I部卒業同期会テーブルにお集まりください。

#### 〈同期会〉

これまでの同期会の経過・自己紹介・近況報告等

[連絡先] 邑上捷雄 (文責 木内 正範)

## ■ 1971年入学社福II部1Fクラス同窓会

久しぶりに集まりましょう。入学から54年が過ぎました。大学時代の思い出や卒業後の人生など語り合いませんか。皆それぞれの分野で活躍されてきたと思います。元気なうちに会いましょう。東海キャンパスにぜひ来てください。2次会も予定しています。(文責 杉浦 啓史)

## ■ 原田正樹ゼミ同窓会

2006年卒業の1期生から16期生まで、原田ゼミ同窓生が世代を超えて集まります。原田学長のもと、地域福祉を学んだゼミ生たちも今では多分野・多業種で活躍しており、近況の報告や情報交換等を通じて交流や縦のつながりを深めたいと思います。(文責 馬場 貴太郎)

## ■ DI66同期会(昭和41年社I部卒業生)

7月にご案内のように、11月2日14:20から東海キャンパスで開催いたします。傘寿を過ぎ同期会としてはこれで最後になります。共に学んだ青春と友情をあらためて思い起こし、近況とこれからの人生を語りあう機会にしたいと思います。今後は、それぞれの親しい間柄で、個人的に連絡をとりあうこととなります。お誘い合っどうぞご参集を!

お申込は、7月ご案内に同封したハガキで、9月10日までに  
ご投函ください。(文責 日江井 敦子)

## ■ チーム新海浜

(社会福祉学部I部1982年及び前後卒学生自治会役員とその仲間たち)

### 「チーム新海浜」大同窓会

当会は2014年以降、交流を継続してきました。今年は大学同窓会の周年事業に合わせ、枳中旧校舎付近散策、近況報告や合唱などを予定しています。久々の再会を果たしたい方や1982年前後卒業の方にも呼びかけて、より活気ある企画にしたいと考えていますので、皆さま是非お集まりください。案内が届かなかった方で参加を検討されている方は、同窓会事務局に当会の連絡先をご照会ください。(文責 瀬沼 信博(カクペイ))

## ■ 1979年度1部 近藤直子ゼミ

### 1979年度1部 近藤直子ゼミ同窓会

皆さま暑中、お元気ですか。大同窓会のまえに東海キャンパスで、80年卒近藤直子ゼミで集まります。先生も参加されます。ぜひ、たくさんで集まりましょう。

2025年11月2日(日) 朝9:00から!! 東海キャンパスの予定です。(文責 片岡 尚子)

## ■ 拡大近藤直子ゼミ

### 第4回近直ゼミの部屋

#### [1部] 近藤直子講演

「愛の迷子」だった私の魂の遍歴、集合写真撮影

#### [2部] 卒ゼミ生交流会

ポパイ君の尾張万才、近直ゼミ〇×クイズ、おしゃべりタイム、イクラちゃんのリードで「懐かしの歌」合唱

(文責 近藤 直子)

第4回近直ゼミのへや

「卒業して43年かあ」「ついに私も前期高齢者やな」「直子先生は今年、後期高齢者やって」「その直子先生からの年賀状に大同窓会で『近直のへや』やるよって書いてあったね」「だから年明けからずっと楽しみにしてるわ」「直子先生の話聞いて、元気もらおう」「ゼミ仲間に見える絶好の機会でもあるね」「ほんとみんなに会いたいな」「『82にこちゃん近直』のみんな、ぜひ集いましょう」by 幹事役のん&べっちゃん

(文責 西川 りり子)

日本福祉大学小木ゼミOG・OB会

第19回小木ゼミOG・OB会

小木ゼミの卒業生が同窓会へ入会しはじめて50年、団体登録をさせていただいてから30余年になります。どのゼミも、同期生同士の集いはよく聞きますが、意識的に全体で集合するという試みは極めて少ないようです。小木ゼミの場合、「異年齢集団で育つ力」に着目して研究をしてきたので、卒業後にもこれをあてはめたいと考え、同窓会企画や大学祭、今回もたくさん参加して大いに盛り上げましょう。18:00～の二次会も参加お願いします。(文責 安藤 亨(有志代表世話人 83年3月卒))

大泉ゼミナール縦割同窓会

大泉ゼミナール縦割同窓会のご案内です。

11月2日14:20からの大泉ゼミの独自企画に参加予定の方は、2次元コードより9月30日までに申し込みください。参加費は、2,000円を予定しています。ご質問は、同窓会本部事務局に伝えてください。

桜井より連絡します。

(文責 桜井 武寿)



那須野ゼミ同窓会

那須野先生の思い出を語り合おう

「那須野先生の思い出を語り合おう」

11月2日祝賀懇親会終了後、14:30～16:00東海キャンパス教室(当日案内します)。

那須野先生が亡くなられて早10年。70周年大同窓会を機に那須野先生と大学生活のあの頃の思い出を語り合う集いを企画しました。思い出の品、写真など持ち寄り大歓迎です。なお、那須野先生の写真・ビデオを準備しています。たくさんのご参加をお待ちしています。(文責 福井 司)

小林培男ゼミ全体同窓会

小林培男ゼミ全体同窓会2025

全体会の開催は小林の定年退職の会から10年ぶり。卒ゼミ生の皆さまは、2ndキャリアの世代・ラストパートの世代・仕事や家庭地域で奮闘中の世代…。NFU同窓会70th記念大同窓会のこの機会に福祉大祭開催中の懐かしの美浜で同僚とみんなで交流し、ひと休みませんか?

[企画] 11月1日(土)美浜キャンパスで福祉大祭、前夜祭とゼミ全体同窓会懇親会・宿泊+α 2日(日)東海キャンパスで講演会、祝賀懇親会、ゼミ独自企画(みんなでポッチャ体験)を予定 [申込と問い合わせ] 10月1日までにgoogle forms

<https://forms.gle/qSAHAZNt1XWFtzUA9>

または、LINE、メール、SMSで。幹事:乾勝彦、若杉賢司、棚橋佳果

事務局:小林

masuok@live.jp、全体会グループLINE



草鹿ゼミナール第一期生同窓会

ありがとう草鹿外吉先生～メモリアルエキシビジョン

皆さまこんにちは。今年は、ロシア文学者にして詩人、小説家として日本福祉大学元副学長だった草鹿外吉先生が64歳で逝去されて三十三回忌に当たります。

私達は草鹿先生の著作や関連した新聞記事、冊子等と懐かしいゼミの写真や動画を展示して草鹿先生を追悼する会を企画いたしました。

日本福祉大学を学生達を深く愛してやまなかつた草鹿先生を、この機会によく知っていただければ幸いです。(文責 五島 美晴)

日本福祉大学牧野ゼミ同窓会

昨年に引き続き、同窓会を開催いたします。今年は、みんなにとっても懐かしい美浜キャンパスの教室をお借りして、いつものように先生を囲んで昔を思い出しながらおしゃべりしませんか?そして、社会福祉の現場で働く同窓生から、近況を交えながらそれぞれの領域における現状と課題についてお話してまいります。楽しい会にしたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。(文責 中山 照雄)

日本福祉大学 陸上部同窓会

コロナ後の久しぶりの開催になります。今回は懐かしい美浜校舎にて実施します。総会・在学生との交流・美浜キャンパスツアー・新競技場見学・夜の交流会など盛り沢山です。翌日の同窓会設立70周年記念式典とゼミの交流会にも参加可能です。日帰りコースと野間民泊お泊りコース(お泊りは先着50名様)が選べます。ご参加希望者は下記までメールにてお知らせください。

[幹事] 鈴木 健吾(1992年卒)

(文責 鈴木 健吾)

## ■ 日本福祉大学アーチェリー部OB会

### アーチェリー部40年だよ、東海キャンパスに集合

アーチェリー部は創部40年を迎えました。アーチェリー部温故知新。アーチェリー部の故きを温ねて未来を語り合いませんか。体育館の裏から始まったアーチェリー部ですが、今では立派なアーチェリー場で練習しています。一度見に来てください。

11月2日は、ぜひ写真やユニフォームなど懐かしいものをお持ちください。アーチェリー部の歴史を綴りましょう。OB、OGの皆さま東海キャンパスで会いましょう！ (文責 美船 俊介)

## ■ 混声合唱団OB・OG会

### 「大同窓会」にて校歌を合唱する

混声合唱団がサークル活動を停止してから随分経ち、入学式・卒業式で生の校歌を聴く機会が減り校歌を知らない卒業生が増えているようです。今回「大同窓会」で混声合唱団OB・OG会に校歌を歌わせていただく機会を得て光栄に存じます。

式典のはじめに合唱で聴いていただき、祝賀懇親会では参加者の皆さまと歌いたいと考えております。またその後の独自企画では愛唱歌を公開練習会といった形でお楽しみいただければと思います。(文責 川井 基義)

## ■ BBS赤とんぼの会・オニヤンマの会・あかとんぼ'87同窓会

### 世代をこえてつながれ! 赤とんぼ オール児童文化部同窓会

児童文化部赤とんぼは1961年に発足、前身の児童福祉部を含めると65年以上の、本学でも屈指の歴史を誇り、数多くの卒部生を輩出してまいりました。そして今回、児童文化部に所属した部員達が、世代や活動したキャンパスの垣根を超えて集い、思い出を共に語ろうという企画です。児童文化部OBなら、どなたでも自由に参加いただけます。若き日、児童文化部に青春をかけていた。あなたのご参加を心よりお待ちしております。

(文責 仕切 友史)



## ■ 短歌愛好者有志の会

### 今、歌人・諏訪兼位をよむ会

地球科学研究者で日本福祉大学学長も務められた諏訪兼位先生の呼びかけで始まった短歌を愛する人々が、半田キャンパスに県外からも多く集いました。戦後80年を迎える今こそ、「戦争くたらない」平和の日々の暮らしをうたう。自らも学徒動員の消えぬ記憶をもつ。11月2日午後から、たった一度の集いを企画致しました。短歌を通じて学び・知ることの喜び。戦争を知らない子どもたち、次世代に引き継ぐべくそのバトンは、私たちの掌のなかにもつ。(文責 永喜)

## ■ 障害学生支援センターともの会

支援センターでともに過ごした卒業生の皆さまとの再会を楽しみにしております。(文責 福田 由紀子)

## ■ 日本福祉大学JAZZ研究会同窓会

### JAZZ研究会大同窓会

JAZZ研究会同窓会を開催します!

東海キャンパスを会場にセッションなど、演奏する方も演奏しない方も楽しんでいただける企画を準備しています。はじめての東海キャンパスでの企画開催です。JAZZ研同窓生の皆さまお誘い合わせのうえ、是非ご参加ください! 皆さまとお会いできるのを楽しみにしております。

(文責 牧野 奈緒子)

## ■ ワンダーフォーゲル部・ワンダーフォーゲル部フレンズ

### 歴代のワンゲル部員集まれ

テント生活を共にし、自然の素晴らしさを共有した仲間が集まり、青春の日々にプレーバック。当時の画像をスライドショーで振り返り、お互いの絆を深めよう。

(文責 平松 金英)

## ■ うたごえサークル馬酔木

### うたごえサークル馬酔木「大唄おう会」

うたごえサークル馬酔木は、11月2日14:20より東海キャンパスにて「大唄おう会」を行います。あの日、あの時、あの場所で皆さまと謳歌したあの唄をもう一度唄いましょう!

(文責 服部 治)

## ■ 1部1年Mクラス同窓会 (社会福祉学部)

### 1977年入学1部1年Mクラス同窓会

41年ぶりにMクラス同窓会を2019年9月に名古屋で開催し、北海道から九州まで15名が再会し、賑やかなひとときを過ごしました。当日は話し足らず、「2年に一度は集まりたいね!」という声がありながら、コロナ禍もあり、早や5年の月日が経ちました。このたび、Mクラス同窓会として70周年記念大同窓会に参加します。久しぶりの再会を楽しみに、東海キャンパスに集いましょう!お待ちしております。(文責 水野 明之)

70周年記念事業特集ページはP.49に続きます



70周年は大学祭&  
ホームカミングデー企画も熱い！

大同窓会と連日・・・  
どっちも参加しよう！

# 福祉大学祭企画

日時 2025年11月1日(土)

会場 美浜キャンパス

参加費  
無料！

## 社会福祉学部ホームカミングデー

開催チラシは  
こちらから

11:00～12:00

現役学生とめぐるキャンパスツアー

懐かしのキャンパスの今の姿を在学生がご案内！

13:15～14:30

310教室

帰ってきた「発達心理学」by近藤 直子先生

あの直子先生の講義が、ライブで蘇る！

14:45～15:10

120教室

付属高校和太鼓部「楽鼓」演奏

今も耳に残る太鼓の音、全国クラスの実力の演奏です

15:10～16:30

120教室

恩師と出会える交流会

恩師との再会、卒アルを見たり  
軽食を楽しみながら

〈参加予定の先生方〉

浅原千里先生

片山善博先生

日月裕先生

保正友子先生

磯部作先生

木全和巳先生

寺澤法弘先生

山口みほ先生

伊藤文人先生

児玉善郎先生

中村強士先生

山田壮志郎先生

伊藤美智予先生

小林培男先生

野尻紀恵先生

湯原悦子先生

大谷京子先生

小松理佐子先生

原田正樹先生

横山由香里先生

参加申込は  
こちらから

締切 10月18日



## 半田キャンパスホームカミングデー

## 情報社会科学部・健康科学部同窓生の

会場 半田キャンパス

日時 2025年11月2日(日)  
15:00～17:00

半田キャンパスは  
日曜日に開催！

### 情報社会科学部・健康科学部福祉工学科コンテンツ

第1部 基調講演『日本福祉大学工学部に期待すること(仮)』佐々木葉 早稲田大学 教授

第2部 ミニ講演会(池田晶一 金沢美術工芸大学 教授 ほか)、恩師を囲んだ茶話会

〈参加教員〉佐々木葉先生、池田晶一先生、福田秀志先生、鈴木隆宏先生、坂上雅治先生、大場和久先生、渡辺崇史先生、村井裕樹先生 ほか

### 健康科学部理学療法専攻コンテンツ

第1部 基調講演『師資相承ー先達からのメッセージ』(調整中)

第2部 共催シンポジウム『リカレント教育のあり方-大学と同窓会の連携』

〈座長〉浅井友詞先生、小笠原巧氏 〈講師〉坂野裕洋先生、鈴木暁氏、河合広大氏

## 勢和寮美浜大同窓会（寮生の集い）

あなたも  
応募フォームから  
ご参加を！

会場 220教室

時間 14:00~16:00

### 激レア!ドキュメンタリー フィルム上映

予告編動画を  
ご覧いただけます



### 卒業生によるトークセッション

- ・来場寮生には記念誌(制作中)を配布
- ・トークセッションも記録して共有予定
- ・寮中寮生もゲスト参加
- ・当日は大学祭見学、宿泊懇親会も計画
- ・翌日は大同窓会(東海キャンパス)に参加予定



参加申込は  
こちらから

## 学園創立70周年×同窓会設立70周年コラボ企画 スペシャルトークショー

会場 第1グラウンド

時間 16:30~17:15

### 障がい福祉サービス事業所PICFA施設長・ 原田啓之さん(卒業生)と原田正樹学長の スペシャルトークショー

～在学中の思い出から、PICFAが

生み出す素敵な障害者アートの魅力まで～

※雨天時に会場が変更となる場合があります(当日ご案内します)。



## 伝説復刻! キャンプファイアー企画

会場 第1グラウンド

時間 17:30~19:00

企画 オープニングセレモニーやトーチを使った演舞、  
バンドによるミニライブなどキャンプファイアー  
定番企画を準備中!

※雨天時に会場が変更となる場合があります(当日ご案内します)。



画像はイメージです

## 皆さまに贈るスペシャル企画!

### 健康科学部作業療法専攻コンテンツ

- 第1部 講演会「専攻やゼミの歴史、当時のゼミを振り返る」  
第2部 専攻教員と来場者(同窓生)のフリーディスカッション・トーク  
(参加教員) 山中武彦先生、野間知一先生、大西満先生、中村泰久先生、  
田中将裕先生、小嶋健一先生、田口修先生、来島修志先生、野口貴弘先生

### 健康科学部介護学専攻コンテンツ

- 第1部 シンポジウム「卒業後のキャリア形成」(講師) 平野雄祐氏、迫拓実氏 ほか  
第2部 ミニ講演(陳立行先生、樋口京子先生 ほか)・交流会  
(参加教員) 久世淳子先生、小島重子先生、藤原秀子先生、水谷なおみ先生、森若茂治先生

### 要予約



当日は日本福祉大学大同窓会を東海キャンパスで開催します。半田キャンパスホームカミングデーに参加する方には東海キャンパスからシャトルバスを運行します。

予約&最新の詳しい情報はこちらから

2025年度は  
半田キャンパス開設30周年!

ホームカミングデーはじめ記念行事については特設サイトでご案内しています。



**—社会福祉学部在学中から道化師（クラウン）のパフォーマーをしていたと伺いました。クラウンを始めたいきっかけを聞かせてください。日本福祉大学への進学理由も関係していたのですか？**

高校3年生のとき、小さい頃からの夢だった小児科医になることを諦める決断をしました。大学受験を前に、いくつかの現実的な壁に直面してしまっただけです。でもそのとき、自分の原点には「たくさんの人の役に立ちたい」という思いがあることに気づきました。

そんなとき日本福祉大学に出会い、「福祉」という言葉が障がいや高齢者に限らず、生きているすべての人の幸せに関することだと知って、すごく心に響きました。

推薦入試で少し早く受験が終わったので子どもと遊ぶボランティア活動に参加したのですが、そこで偶然、クラウン（道化師）の方に出会いました。海外のクラウンによるワークショップのチラシをもらい、「児童福祉の現場で何か役立つことが学べるかもしれない」と参加してみることにしました。そこではいわゆる道化師から想像される曲芸や笑いではなく、「どうすれば人の心に寄り添えるか」という、クラウンの本質に深く触れることになりました。「クラウンって、誰かの“心のドクター”になれる存在なんだ」と感じたことがとても印象的で、幼いころからの夢も繋いだ形で、今も活動を続けている原動力になっています。

**—在学中の活動はどうでしたか？**

1・2年生の頃は平日は授業と複数のアルバイト、欲張りだったのでサークル活動でも忙しく、土日はクラウンの勉強や仕事で全国を飛び回る日々でした。2年生のときには現在の所属事務所の立ち上げに関わったり、アメリカに渡って学ぶ機会もあり、その後は2年間休学していくつかの国を巡りながら、海外のサーカスでクラウンの勉強をしたり、現地の子どもたちにパフォーマンスを届ける活動も経験しました。

復学し3・4年生になると、クラウンとしての仕事も本格化していたため、サークルやアルバイトはせずに講義や実習、週に3回ほどパフォーマンスの仕事に集中しました。4年間と

にかく単位を落とさないようにスケジュールや出席をきちんと管理しながら、でもやりたいことをなるべく全部叶えられるようにと寝る間も惜しんで動いていた日々でした（笑）。

**—大学の環境・学びが、活動や将来の方向性に与えた影響はありましたか？**

はい。日本福祉大学には「福祉＝すべての人の幸せに関わること」という考え方が根付いていて、それが私自身の価値観や、クラウンとしての在り方にも大きく影響しています。クラウンが人と関わるときに大切にしている、「ただ笑わせる」のではなく「その人の気持ちにどう寄り添うか」「今、どんな関わりが必要なのか」といった感覚は、福祉の学びの中で自然と育まれたものだと思います。

現在はメディアや舞台、イベント出演、小・中・高・特別支援学校や保育園・幼稚園での公演など、幅広く活動しています。どの現場でも相手の立場や心に寄り添う姿勢を大切にしている、まさに大学で学んだ福祉の本質そのものです。

一人暮らしを通して、障がいの有無や環境の違いに関係なく自然に助け合いながらの暮らしを経験したことも大きな学びです。どんな場所でも壁をつくらず関わろうとする今の自分の姿勢に生きています。

2年生のとき、伊勢田亮先生のゼミで絵本や児童演劇について学び、保育や障がい児教育などそれぞれ異なる専門分野を目指す仲間とも意見を交わすことができました。それらは特別支援学校での公演の内容や伝え方に大きく影響していると感じています。

また、3・4年生では石河久美子先生のゼミに所属し、日本に住む外国人の支援について学びました。休学中は海外の子どもたちにパフォーマンスを届ける経験をしたのですが、外国にルーツを持つ子どもたちの課題や、多文化共生の視点について深く考える機会となりました。クラウンとして活動するうえでは「相手の背景を想像する力」につながっているといます。

将来は、クラウンを通して福祉や教育の現場と結びつけながら、地域で誰かの心のケアにも関わられる存在を目指してい



## PROFILE



こうのえ みゆ  
**鴻江 未有さん**

社会福祉学部社会福祉学科卒業  
(株)オフィスパフォーマンスラボ取締役  
2005年よりパフォーマー（道化師）として活動開始。2025年アメリカで開催された道化師の世界大会にて3位を受賞。  
脚本・演出・主演作「DEAR-ウツツきの私-」が子ども家庭庁児童福祉文化財に選定される。全国のイベントやメディア、舞台など多数出演。パフォーマー・演出家としても幅広く活動中。



周りに合わせて空気を読み「本当の私」を仮面で隠しながらの人間関係に悩む少女が異世界のサーカスで葛藤しながら自分を取り戻していく「DEAR-ウツツきの私-」。セリフを使わず仕草や動作で表現する「ノンバーバル演劇作品」。

ます。大学で学んだ「寄り添う力」や「対話の姿勢」は、これからの私の活動の軸になっていくと確信しています。

**クラウンは笑いに繋がるだけでなくミステリアスな側面もあったり、意外と理解できていないように思います。クラウンの役割や意味について教えてください。**

クラウンは「人を笑わせる存在」というイメージが強いと思うんですが、実はもっと奥深い役割や意味を持っています。サーカスの幕間やイベントで活躍する道化師の姿に限りません。メイクの有無にかかわらず映画や舞台作品にも登場したり、病院を訪れて患者の子どもたちと関わったり、紛争地帯や災害地、国際親善の場で活動している人たちもいます。チャップリンは、まさにその代表例です。クラウンを学ぶ人は誰もが一度はチャップリンに触れると思います。

よくクラウンは、自分じゃない人格を演じるものと思われがちですが、実際は逆です。自身の性格や内面を観察し、それを誇張・デフォルメしたキャラクターをつくり出します。つまり、「誰か」というより、「自分の中にあるものを引き出して魅せる」という感覚に近いです。

サーカスの現場ではお客さんの空気を読むことが求められ、その場をコントロールする力が重視されます。世界のサーカスではクラウンの表現力や場の操り方を他のアーティストが学ぶことも多いそうです。

あるいは「価値観をひっくり返す存在」とも言われます。偉い人に物怖じもせず意見を言ったり、逆に子どもたちよりも幼く振る舞い、振り回されながら教えてもらったりすることもあります。病院で長期入院をしている子どもたちがクラウンを自分より“下”の存在と捉え、「この人には教えてあげられる」と感じることで心の支えになることを学生時代に学びました。

ヨーロッパの歴史では、クラウンは宮廷に仕えて唯一、王様に意見を言える存在だったとも言われ「人間よりも人間らしい存在であり、演劇の最終形態だ」とする考え方もあります。もう20年近くクラウンに夢中ですが、語り始めると止まらなくなります(笑)。卒業論文もクラウンについて書きました。興味があれば、いつでもお見せしますよ(笑)。

**卒業後もクラウンをはじめとして幅広く表現活動を続けられ、海外にも活躍の場が広がっているとお聞きしました。**

近年ではプレイヤーとして出演するだけでなく、舞台の脚本や演出にも多く携わっています。演じる側と創る側、両方の視点を持つことは、表現の幅を広げるうえでもとても貴重な経験です。自身が脚本・演出・主演として携わった舞台作品『DEAR-ウツツきの私-』は、子ども家庭庁の児童福祉文化財にも選定されるなど、さまざまな形で評価をいただいています。全国各地の学校での芸術鑑賞会の舞台公演も、とてもやりがいのある大好きな仕事のひとつです。クラウンやサーカスといった身体表現の舞台だけでなく、テレビ・メディア・アーティストライブでの出演など、多方面で活動の機会をいただいています。

そして児童劇団の仕事で台湾でのミュージカル公演にも出演させていただくなど、海外にも活動の幅が広がってきました。2025年3月にはアメリカで開催されたクラウンの世界大会「WCA (World Clown Association)」において世界3位を受賞しました。あえてカラフルでポップなアメリカンスタイルではなく、少しヨーロッパのテイストを取り入れた、自分なりのオリジナルスタイルで挑戦しました。クラウンの本場でどう受け止められるか少し不安もありましたが、本場の舞台でそうしたスタイルが認められたことは、本当に嬉しくて、ひとつの自信にもなりました。

現在は、立ち上げのメンバーとして学生時代から関わってきた「株式会社オフィスパフォーマンスラボ」の取締役として経営にも携わりながら、表現を通して人と人がつながる場を広げていく活動を続けています。

**演じること・伝えることの魅力との想いを聞かせてください。**

私にとって「演じること」は、自分自身と向き合いつつ誰かの心にそっと寄り添うための手段のひとつです。誰かに何かを届けたい、感じてもらいたいという想いが私を舞台へと向かわせています。

セリフがないノンバーバル作品であっても表情や仕草、空気の震えのような“間”が、言葉を超えて観る人の心に届くと



大手テーマパーク出演の経験を活かしクラウン、パフォーマー、ダンサーなど多ジャンルのパフォーマーたちで、サーカスとテーマパークが融合した世界を繰り広げる「FUN! FUN!! ファンダフルサーカス」。



イリュージョンマジックとサーカスパフォーマンスが共演し、クラウンが観客との橋渡しを演じる「ミラクルイリュージョンサーカス」。

信じています。観る人がそこから何かを受け取り、自分の感情や記憶と重ねながら「自分だけの物語」に変えていく——そんな表現に魅力を感じています。

自分の学生時代の悩みをもとに脚本を書いたノンバーバル作品を観てくれた高校生から、人間関係を見つめ直すきっかけになったというメッセージをいただきました。聴覚障害のある方は家族と一緒に観劇し、同じ熱量で感動を共有していただけたそうです。こうしたお客様からの反応・反響に心を動かされることがたくさんあります。

私が最初にクラウンという存在に惹かれたのも「心に寄り添うことができる存在」だったからで、これからもさまざまな表現を通して、想いを届け続けていきたいと考えています。

表現には正解がありません。観てくださる方の年齢や背景によって、受け取り方はまったく異なるので、私はあえて「余白」を残した表現を意識しています。その余白に、観る人自身の感情や記憶が重なって、それぞれの心にしか存在しない「物語」が生まれていく——そんな舞台を、これからも届けていきたいと思っています。

## —コロナ禍では仕事や活動に大きな影響があったと思います。そうした時期を経て、これから目指すもの・ことについて聞かせてください。

私たちの活動の多くは「不要不急」とされてしまいました。そんななかで未来に向けてできることを仲間と一緒に考え、新しい事業に取り組むことができたのは成果であり、転機にもなりました。今はまた全国でたくさん公演をさせていただいており、若い世代のパフォーマーや後輩の育成にも取り組んでいます。

今、SNSや動画アプリでエンターテインメントがどんどん身近になっているからこそ、「生で観る」という体験の価値をこれからも伝え続けていきたいと思っています。芸術鑑賞会以外で劇場に行ったことがない、という子どもや大人も少なくありません。だからこそ、舞台やパフォーマンスがもっと身近に感じられる環境をつくりたいんです。

その一つに、地域にあるスタジオでは幅広い世代の方が気軽に参加できるイベントも開催しています。私たちはここ「学校や家庭以外の、地域の第三の居場所(サードプレイス)」として育てていきたいと思っています、仲間と地域に根ざした

活動を広げています。気軽に舞台やパフォーマンスに触れてもらえるような機会を設けるとともに、関わってくれているパフォーマーたちには、好きな仕事を続けながら、家族と安心して暮らしていけるような仕組みや環境を引き続き提供していきたいです。将来的には、現役を引退したパフォーマーたちが次のステージへ進んでいけるような、新たな事業にも取り組んでいきたいと思っています。

## —最後に学生時代を振り返りつつ、在学生や同窓生に向けてメッセージをお願いします。

日本福祉大学で出会った仲間たちは、「人の気持ちに寄り添う」ことを胸に集まっていたんだなど、振り返って感じます。在学生の皆さまは、福祉を学び誰かの役に立ちたいと願うなかで、ときに自分の心をすり減らしてしまうことがあるかもしれません。だからこそ、自分の「好き」や「楽しい」も大切にしてください。私自身、大学時代に夢中になっていたクラウンの活動が、今では人生そのものを支える軸になっています。そして日本福祉大学で学ぶ皆さまには「人の気持ちに寄り添う力」が備わっていくと思います。それは、どんな仕事にも、どんな生き方にもつながる力です。

大学で共に学び、語り合い、笑った時間は、今も私の心の中にあたたかく残っています。それぞれの道を歩んでいる今も、同窓生の皆さまが自分の場所で頑張っていることが、私の励みになっています。

最近では、同級生が保育園や学校、職場などに私たちを呼んでくれることもあって、本当に嬉しく思っています。どこにいても「誰かの心に火を灯す」という思いはきっと同じです。これからも一緒に、自分らしい表現や仕事を通して、誰かの力になっていけたら嬉しいです。

先生方にも本当に感謝しています。クラウンの仕事で授業を休んだり、逆にクラウンの格好のまま講義に出たり、休学したりと、とにかく自由奔放な学生だったと思うのですが(笑)、そんな私のことを温かく見守ってくださいました。今の私を創ってくれた日本福祉大学での1つ1つの出会いに心からお礼を伝えたいです。本当にありがとうございました。

## —どうもありがとうございました。これからの活躍にも期待しています！



▲学校や若者たちに向けた出張公演の機会も多く「悩み・迷いを抱える人たちが気付きを得て一歩を踏み出すことができた」などの反響もあり、ライフワークの一つになっています。



2025年3月にアメリカ・テキサス州で開催されたクラウンの世界大会にオリジナルスタイルで出場し3位を受賞。▶



クラウンを演じ分ける幅の広さに加えて演出家、経営者の役割も担い、活動を続けていきます。

学園創立70周年記念事業  
第37回 日本福祉大学 社会福祉セミナーin鳥取



★ゲスト★  
イモトアヤコ氏  
(ワタナベエンターテインメント)

# とっとり × 自分らしさ

11/30(日) 12:45~16:30 (受付 12:00~)  
会場: 米子市文化ホール メインホール (鳥取県米子市末広町293番地)



**参加費無料**

会場参加 どなたでも申込可  
オンライン参加 本学関係者のみ申込可  
※同窓生、在学生、教職員、大学後援会会員(法人会員、学生保護者)

開催方法 会場・オンラインによるハイブリッド開催

定員(事前申込制) 会場300名 + オンライン200名

申込方法 「日本福祉大学 社会福祉セミナーin鳥取」特設サイト内の申込フォームよりお申込ください。特設サイトは、下記の二次元コードをスマートフォン等で読み取るか、以下のURLをパソコン等で直接入力してアクセスをお願いいたします。

申込締切 11/17(月) 17:00まで(先着順)  
※定員に達し次第、締切らせていただきます。

<https://www.netnfu.ne.jp/kouen/seminar/20251130/>  
日本福祉大学 社会福祉セミナーin鳥取



## メインプログラム

※変更がある場合はセミナー特設サイトにてお知らせいたします。

### ★ 第1部: トークショー ★

「挑戦と多様性で切り開く世界」

ゲスト イモトアヤコ氏 プロフィール

ワタナベエンターテインメント所属。1986年鳥取県生まれ。鳥取県立米子西高等学校卒業後、文教大学へ進学・卒業。日本テレビ「世界の果てまでイッテQ!」に出演。2009年には日本テレビ「24時間テレビ 愛は地球を救う」でチャリティーマラソンランナーを務め話題となった。TBSラジオ「イモトアヤコのすっぴんしゃん」ではパーソナリティを務め、ドラマ、舞台など俳優業にも活躍の場を広げる。

### ★ 第2部: パネルディスカッション ★

「地域とつながる私～生まれる自分発見 とっとりから～」

ファシリテーター

三井 利仁氏 (日本福祉大学大学院スポーツ科学研究科・スポーツ科学部 教授、パラスポーツ研究所長、スポーツ科学センター長)

パネリスト

後藤 瑞希氏 (日本福祉大学福祉経営学部(通信教育)在学生)

石丸 知氏 (メディカルフィットネスセンター-CHAX 課長)

上野 柊斗氏 (米子サン・アビリティーズ 障がい者スポーツ指導員)

オブザーバー

後藤 幸子氏 (鳥取県ポッチャ協会 BC3ランプオペレーター)



PLUS!!

1 同窓生たちによる JAZZ の生演奏

2 ホワイエでの展示・販売・閲覧コーナー

交流会 17:30~19:30

3 閉会後には楽しい  
交流会を開催します! ⇨

★会場: 米子コンベンションセンター内  
レストラン「ル・ポルト」(鳥取県米子市末広町294番地)  
★定員: 70名(事前申込制) ★会費: 6,000円(予定)

エンタメ  
ショー

大ドジ芸人 あざーす・のず  
(本名: 野末 隼、日本福祉大学社会福祉学部卒)  
あざーす・のずホームページ <https://aza-su-nozu.net/>



主催 日本福祉大学、日本福祉大学後援会、日本福祉大学同窓会、日本福祉大学鳥取県地域同窓会

協力 日本福祉大学社会福祉学会、日本福祉大学中国地域ブロック同窓会

後援(予定) 鳥取県、米子市、鳥取県教育委員会、米子市教育委員会、(一社)鳥取県私立学校協会、鳥取県高等学校長協会、鳥取県特別支援学校長協会、(社福)養和会、鳥取県ポッチャ協会、(特非)鳥取県障がい者就労事業振興センター、(社福)鳥取県社会福祉協議会、(一社)鳥取県障がい者スポーツ協会、(社福)鳥取県身体障害者福祉協会、(公社)鳥取県視覚障害者福祉協会、(公社)鳥取県聴覚障害者協会、(社福)米子市社会福祉協議会、(一社)鳥取県社会福祉士会、(一社)鳥取県介護福祉士会、鳥取県精神保健福祉士会、鳥取県医療ソーシャルワーカー協会、鳥取県介護支援専門員連絡協議会、鳥取県民生委員児童委員協議会、新日本海新聞社(順不同)



# ひとり暮らし認知症高齢者の「くらし」を考える 継続と限界のはざままで

日本福祉大学 福祉経営学部 教授 中島 民恵子

## 1. はじめに

学部生の時に参加した特別養護老人ホームのデイサービスでのボランティア活動で出会った一人の認知症の人の存在が、私が認知症の人に関する実践や研究に取り組む大切な原点となっています。当時、認知症の人への知識も支援技術も持ち合わせていなかった私は、広いホールの中で歩き続けるご本人の横で一緒に歩き続けることしかできませんでした。まだ、介護保険が導入される前の出来事です。

「私に何ができるのだろう」と思いながら図書館で本を探し、地域に根ざしたグループホームや宅老所などを訪ねるなかで、認知症の人に丁寧に向き合う専門職や研究者の方々と出会いました。貴重な出会いを通して、認知症の人と家族への支援を中心に、一貫して『支援が必要な人・家族がこれまでの人間関係や地域社会から排除されない暮らしの実現』を目指し、認知症を軸に、地域・制度・実践を多層的に研究する機会を得てきました。

本学に赴任した2018年に、改めて自分が取り組みたいテーマと向き合い、「ひとり暮らし認知症高齢者の在宅生活継続」に関する研究に取り組み始めました。認知症になってからもなお、ひとり暮らしを続けたいと願う人は少なくありません。正確な統計はありませんが、複数のデータをもとに推計すると、日本には約100万人のひとり暮らし認知症高齢者がいると考えられます。住み慣れた家で、自分らしい時間を過ごしたいという思いは、認知症の有無にかかわらず、ごく自然な願いです。

しかし現実には、「認知症になったらひとり暮らしは難しい」という社会的な見方は根強く、支援の現場でも、施設入所や家族との同居が当然の選択肢として示されることも現実としてあります。そうした中で、「ひとり暮らしを続けたい」と願う方々がどのような課題に直面しやすいのか、在宅生活の継続が困難になったときに何が必要とされるのかを明らかにしたいと考えました。

今回出版した拙著『ひとり暮らし認知症高齢者の「くらし」を考える——継続と限界のはざままで』（クリエイツかもがわ）は、近い問題意識を持ち、神戸という

地で研究や実践に取り組んでおられた共著者である久保田真美さんとの集大成です。ここでは、一部ですが内容をご紹介します。

## 2. ひとり暮らし認知症高齢者の「くらし」

本書のタイトルは“ひとり暮らし認知症高齢者の「くらし」を考える”としました。ここでの「くらし」とは、日常生活の営みにとどまらず、英語の「Life」が持つ広がりを意識した言葉として捉えました。「Life」は、命や生きること、日常生活、価値観やつながり、そしてその人の生き方全体を含む多面的な意味を持ちます。このような視点を「くらし」という言葉で表現し、ひとり暮らし認知症高齢者の生活や思いなど広く寄り添いたいと考えました。

本書では、次のようなシンプルな問題意識に基づいて構成しています。

ひとり暮らし認知症高齢者は、

- ① どのような思いでひとり暮らしを続けているのだろうか。
- ② どのような状況になるとひとり暮らしがむずかしくなるのだろうか。
- ③ どのような生活上の課題に直面しやすいのだろうか。
- ④ どのような工夫や支援があると、できる限りこれまでの生活環境のなかで暮らし続けることができるだろうか。



中島民恵子・久保田真美  
『ひとり暮らし認知症高齢者の「くらし」を考える 継続と限界のはざままで』  
クリエイツかもがわ  
2025年 2,420円(税込)

認知症の本人、介護支援専門員、訪問看護師などへのインタビュー調査や、介護支援専門員を対象としたアンケート調査の結果をもとに、具体的な事例を交えながら各章で詳述しています。構成は、序章、第1～5章、終章からなり、主な章では以下のような内容を扱っています。

**第1章：**本人が語る「ひとり暮らしへの思い」を、インタビュー内容をもとに丁寧に描きました。

**第2章：**在宅生活の「限界」に至るプロセスを分析し、本書の副題である「継続と限界のはざま」にある揺れをどう支えるかという課題を提起しています。

**第3章・第4章：**ひとり暮らし認知症高齢者が直面する生活課題を、「健康といのちに関する課題」「本人と社会との不調和から生じる課題」という二つの視点から整理し（図1参照）、具体的な支援や工夫を紹介しています。

**第5章：**本人らしさの維持の模索と本人の居所との折り合いとして、ケアハウスやグループホームへの移行とその先での暮らしについて言及しています。本人の尊厳ある暮らしを考えた時、何がなんでも在宅で暮らすことが是とするのではなく、「どこで暮らすか」ということに加えて「どのように暮らすか」という視点の重要性もお示ししています。

### 3. おわりに

本書では、「認知症だから」「ひとり暮らしだから」と在宅での暮らしをあきらめてしまうのではなく、「認知症になってからも」「ひとり暮らしであっても」、その時々に応じて工夫を重ねながら暮らすことの大切さを描きました。調査研究を通して見えてきたのは、専門職による支援だけでなく、ご近所づきあいや地域資源の活用、そしてご本人自身の力に目を向ける視点の重要性です。

誰しも、将来的に認知症になり、ひとりで暮らす可能性があります。自分らしい暮らしが尊重されるため

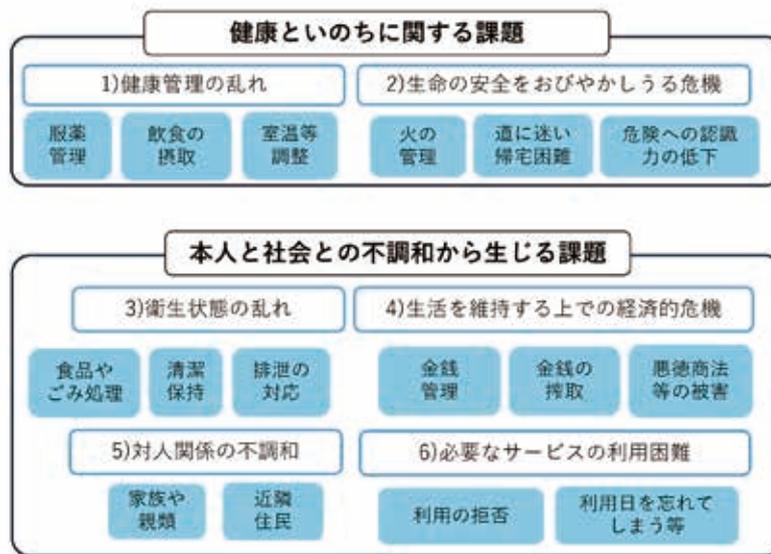


図1 ひとり暮らし認知症高齢者が直面する主な課題

には、私たち自身が備え、その実現に向けて考え続けることも大切です。同窓生の皆さまのなかには、現場で本人や家族介護者への支援にあたられている方、ご家族を介護されている方、また今まさに地域づくりに関わっている方もいらっしゃると思います。認知症の人が「その人らしい暮らし」を選びとれる社会の実現に向けて、ともに考え、行動していくことができれば幸いです。



日本福祉大学福祉経営学部 教授  
中島 民恵子 Taeko Nakashima

■略歴

慶應義塾大学  
政策・メディア研究科 単位取得満期退学 博士(政策・メディア)  
社会福祉士・精神保健福祉士

■最近の著書

中島民恵子・久保田真美  
『ひとり暮らし認知症高齢者の「くらし」を考える  
継続と限界のはざま』クリエイツかもがわ 2025年  
上山崎悦代・中島民恵子・田中和彦  
『新版 社会人のための社会福祉士  
ソーシャルワーカーを目指すあなたへ』学文社 2022年

## 2025年度日本福祉大学同窓会代表者会議報告

同窓会設立70周年を迎え、同窓生の絆を深める意欲的な取り組みの報告や組織維持の課題への真摯な議論が行われた代表者会議。

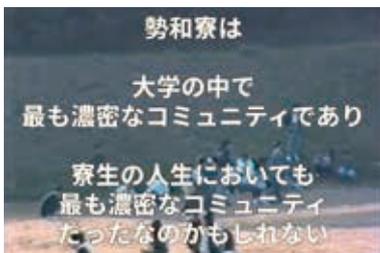
## 新たな本部役員体制も発足し、次のステージに向けて歩み始めます。

地域同窓会代表者及び事務局長、学部・学科等同窓会、認定同窓会の代表者が会場およびオンラインで集う日本福祉大学同窓会2025年度代表者会議が、去る6月14日(土)に開催されました。

会議に先立ち、学園創立70周年宣言“*Well-being for All*”のもとで学園が目指す方向について丸山悟理事長が報告、次いで原田正樹学長からは大学の近況報告をいただきました。昨年度の代表者会議冒頭で説明された教育改革プラン「日本福祉大学改革ビジョン2027」に基づく最新の取り組み、2025年度の工学部開設をはじめとした教育・研究活動の進捗状況などが示されました。

今回の議事は、2024年度事業報告ならびに決算を第1号・第2号議案、同窓会経理規程の一部改正を第3号議案、2025年度事業方針・計画と同年度予算案を第4号・第5号議案において審議し、2025年度からの新たな本部役員の選出(選挙)を第6号議案で行いました。提案はすべて可決されましたが、第5号議案の人件費支出にある大学と同窓会の負担割合については、同窓会の持続可能な財政基盤のために大学との協議を行うことを付しての議決となりました。

第1号議案・2024年度事業報告では、学園創立70周年記念事業・同窓会設立70周年記念事業として実施された事例が3件、取り組みを行った地域同窓会から報告されました。



山口県地域同窓会と大分県地域同窓会がそれぞれ実施した大学との共同事業では、災害時の地域の安心安全や、誰にも優しいまちづくり(*Well-being for All*)をテーマに講演が行われました。また、共同事業の特色である学生参加により、学生からの報告や今の大学での学びに触れることができ、活気のある講演会から懇親交流会へと繋がりました。静岡県地域同窓会による2024年度の第36回社会福祉セミナーin静岡の報告からは、準備の段階から東海地域ブロックで連携して取り組み、ブロックの活性化にも効果があったことが伺えました。

第4号議案・2025年度事業方針・計画でも取り組み事例として2025年度社会福祉セミナーin鳥取の準備を進める鳥取県地域同窓会、設立40周年記念誌を編集発行した東京地域同窓会、美浜キャンパス福祉大学祭で交流企画を行う勢和寮美浜大同窓会の報告を行いました。このうち社会福祉セミナーin鳥取はイベントPR用動画を上映、勢和寮同窓会も大学祭で上演する予定の勢和寮記録動画からPR用に編集したものを紹介しました。動画コンテンツの制作・配信が普及する時代に、同窓会活動においても動画が活用される機会が増えてきたことを実感しました。

会議の終了後には懇親会を開催。日本福祉大学から原田正樹学長をはじめ教学・事務局役職者にも参加いただき、大学と同窓会の連携・親交が深められました。翌日の6月15日(日)にはオプション企画として同窓会課題についてのミッションワーク(意見交換会)を名古屋キャンパスで行い、忌憚のないディスカッションを通じて気付きやアイデアを得る機会となりました。

### 開催状況

#### 【代表者会議】

日時:2025年6月14日(土)12:30~17:30  
会場:サイプレスガーデンホテルとオンライン参加者をつないでの開催  
出席・成立状況:本部役員・同窓会代表者115名  
(議長委任18名を含む)／定数115名





## 第1号議案 2024年度事業報告について

### 主な事項

1. 2024年度は地域同窓会108件、地域ブロック12件、各種認定同窓会59件、計179件の事業を実施し、いずれもが前年度の実績数以上。報告書による諸事業の参加人数においても、2020年度は35事業1,034名、2021年度51事業1,610名、2022年度56事業2,082名、2023年度94事業3,850名、2024年度は144事業3,359名だった。事業数が大きく増えた一方、参加者数の伸びは落ち着いた（社会福祉セミナー動員数の差異による）。
2. 前年度の傾向と同様、対面型の行事が増え、オンライン参加を選択肢の一つとして残している行事は一定数で存続し、全体の活性化を支えている。
3. コロナ禍における学生生活支援として続けられてきた食生活支援プロジェクトは2023年度で完結した。2024年度は新たに大学生協と連携した「生協食堂半額Week」を7月1日（月）から5日（金）の5日間実施した。
4. 学生募集への寄与と次代の同窓会活動の担い手を育てることを目的とした同窓会推薦入学試験【AO型】への出願実績は3名で、前年度に出願が途絶えていたものが復活した。一方、制度開始から6年目となるUターン就職支援制度の申請者が初めて0名となった。学生の就職活動の変化に制度の運用が必ずしも追いついておらず、本制度については運用の見直しを進めることとなった。
5. 在学生に対する同窓会案内として、入学時に同窓会活動紹介リーフレット（新入生歓迎号等）・オリジナルファイルを新入生に配布し、学内のnfu.jp掲示板、同窓会ホームページ、Facebook等において同窓会からの案内を掲示し、在学生の参加を促した。学部・学科等同窓会においても、看護学部同窓会、介護学専攻同窓会で在学生との交流企画（ホームカミングデー）が実施された。また、経済学部と協力した懸賞論文事業を継続実施した。
6. 「日本福祉大学社会福祉セミナー in 静岡」（テーマ「ふくしのバトンを次世代へ」）を静岡県地域同窓会（東海地域ブロック）と大学、大学後援会との共催で2024年11月17日（日）に実施し、約200名の会場参加者と73名の動画配信視聴者を得た。
7. 事業方針の具体化にあたり、専門委員会における取り組みを推進した。事業委員会では同窓会設立70周年記念事業計画の具体化を進め、大同窓会やキャンプファイヤー、オンライン交流会等の実施計画に取り組んだ。総務委員会では、同窓会設立60周年記念事業による報告書『日本福祉大学の教育が重視した社会福祉の専門性とは何か？』を活用し「報告書を読み解き語り合う会」を各地域で開催し、取り組みの総括を行った。広報委員会と情報化委員会では情報提供・発信の質向上で協働し、ホームページの更新、SNSによる情報発信の拡充等に取り組んだ。

## 第2号議案 2024年度収支決算

（別掲P.19参照）

## 第3号議案 日本福祉大学同窓会経理規程の一部改正について

予算執行の際に添付・保管する証憑書類を、執行額の規模に応じて段階別に規定した。あわせて、予算執行の決裁権限者に専務理事を加えた。

## 第4号議案 2025年度事業方針・計画について

### 【基本方針】

- ・前年度に開始した大学同窓会設立70周年（2025年度）記念事業の本実施と位置付け、学園創立70周年記念事業（2023年度～2025年度）を支える活動にも取り組みつつ、10万人を超える会員規模の同窓会として、さらなる飛躍をめざす。
- ・災害や物価高騰による社会情勢の動向を引き続き注視し、同窓会だからこそ可能な学び合い・助け合い・支え合いの活動について探求と工夫を続けていく。

### （主な内容）

1. すべての同窓会において、同窓生のニーズやアイデアに基づいた同窓会設立70周年記念事業計画を策定し実施する（2024年度～2025年度）。
2. 周年記念事業である大同窓会（2025年11月）、オンライン同窓会等を実施する。また、大学の学部や大学院等との連携をはかり、共同事業を推進する。
3. 会員の希望やニーズに基づいた、親睦・交流・学びの事業を定期的・計画的に推進する。キャンパスに近い東海地域ブロック、愛知県内地域同窓会においては、若手交流事業をはじめ、地元の特性（バランスが取れた世代、出身学部構成など）を活かした多彩な交流をめざす。
4. 能登半島地震をはじめ、大規模災害や物価高騰などの影響により困窮する会員、在学生の状況把握に努め、交流・相互協力・支援の場を創り出す。
5. 同窓会活動の情報化を推進し、広範囲でリアルタイムな情報発信、参加しやすい環境整備に努める。
6. 学園・大学が推進するリカレント教育事業を通じて、同窓会の学びを深めキャリアの開発に寄与する。
7. 大学と同窓会の共同事業を強化し、就職相談窓口（課外実習・職場見学・ボランティア含む）や在学生支援ネットワークを充実する。7年目を迎えるUターン就職支援制度運用の最適化に努め、実効性のある在学生支援システムの充実を図る。同窓会推薦入試の広報と出願支援に努め、志の高い受験生の推薦を行う。
8. 学部・学科等同窓会の運営や活動を支援し、同窓生と母校の絆を強め、同窓会組織の強化をめざす。
9. 同窓会財政基盤と組織力を強化し、改革課題について検討を進める。会員10万人の同窓会組織を見据えて、同窓会改革検討を継続して進める。財政バランスの改善をめざすとともに、適正な予算執行に努める。理事会機能の強化に努めるとともに、専門委員会所管事業を推進する。

## 第5号議案 2025年度収支予算について

（別掲P.19参照）

2025年度日本福祉大学同窓会代表者会議報告

第5号議案 2025年度収支予算

Table with 5 columns: 項目, 2025年度予算, 2024年度予算, 差異, 備考. Includes items like 入会費, 年会費, 雑収入, etc.

Table with 5 columns: 項目, 2025年度予算, 2024年度予算, 差異, 備考. Includes items like 1.事務費, 印刷費, 備品費, etc.

Table with 5 columns: 項目, 2025年度予算, 2024年度予算, 差異, 備考. Summary table for the 2025 budget.

Table with 5 columns: 項目, 2025年度予算, 2024年度予算, 差異, 備考. Summary table for the 2025 budget.

第2号議案 2024年度収支決算

Table with 5 columns: 項目, 2024年度予算, 2024年度決算, 差異, 備考. Includes items like 入会費, 年会費, 雑収入, etc.

Table with 5 columns: 項目, 2024年度予算, 2024年度決算, 差異, 備考. Includes items like 1.事務費, 印刷費, 備品費, etc.

Table with 5 columns: 項目, 2024年度予算, 2024年度決算, 差異, 備考. Summary table for the 2024 budget.

Table with 5 columns: 項目, 2024年度予算, 2024年度決算, 差異, 備考. Summary table for the 2024 budget.

第6号議案 本部役員（任期：2025年度～2027年度）の選出について

第6号議案 ■日本福祉大学同窓会役員・顧問一覧(任期：2025年度～2027年度)

役職	氏名	卒業年	卒業学部・大学院研究科	所属地域同窓会	役職	氏名	卒業年	卒業学部・大学院研究科	所属地域同窓会
会長	奈良 修三	2018 1976	社会福祉学研究科・ 社会福祉学部	静岡県	理事(地域担当)	齊藤 武志	1976	社会福祉学部	宮崎県
副会長	甲村 洋子	1980	社会福祉学部	名古屋	理事 (学部担当)	佐藤 義信	1985	社会福祉学部	大分県
	鳥居 文孝	1980	経済学部	西三河/豊田岡崎		加藤 由香	1992	女子短期大学部保育科	名古屋
	荒木 潤一	1986	経済学部	兵庫県		小原 博美	1986	女子短期大学部保育科	名古屋
	社古地 恵子	1984	社会福祉学部	名古屋		近藤 英夫	1997	経済学部	西尾張
	河村 康英	1993	社会福祉学部	知多		仲原 幹夫	1994	経済学部	三重県
	黒川 道男※	1984	社会福祉学部	名古屋		溝口 寛之	2007	情報社会科学部	北尾張
	小松 理佐子※			名古屋		大塚 なおみ	2008 2005	情報・経営開発研究科・ 経済学部(通信)	知多
	守谷 淳子	1981	社会福祉学部	名古屋		増井 恵美	2006	経済学部(通信)	北尾張
専務理事	田邊 雄一郎	1992	経済学部	知多	高柳 雅仁	2011	社会福祉学研究科	兵庫県	
事務局長	刈田 芽生※			西三河/豊田岡崎	理事 (専門委員会担当: 総務)	杉田 哲也	1980	社会福祉学部	東京都
理事 (地域担当)	梅下 忠弘	1980	社会福祉学部	北海道		平松 幸夫	1992	経済学部	北尾張
	今 二史	1982	社会福祉学部	青森県		小野 信一	1979	社会福祉学部	北海道
	米谷 恭一	1980	社会福祉学部	秋田県		奥村 美津子	2015 2010	福祉経営学部(通信)	知多
	今井 芳明	1975	社会福祉学部	群馬県		川口 恵生	2014 2003	社会福祉学部 医療・福祉マネジメント研究科	三重県
	谷田部 浩美	2007	経済学部(通信)	茨城県		民部 裕美香	1998	社会福祉学部	名古屋
	杉田 哲也	1980	社会福祉学部	東京都		福丸 恵子	1987	社会福祉学部	名古屋
	新保 賀朗	2006	社会福祉学研究科	長野県		正木 博之	1989	経済学部	滋賀県
	関 好博	2010 1986	社会福祉学研究科・ 社会福祉学部	富山県		牧野 奈緒子※	2008	福祉経営学部	知多
	兼松 博之	2020 1987	医療・福祉マネジメント研究科・ 社会福祉学部	岐阜県		遠山 桂	1991	経済学部	岐阜県
	濱口 直樹	2019	福祉経営学部(通信)	三重県	近藤 宏和	2001	経済学部	南尾張	
	三田 忠男	1975	社会福祉学部	静岡県	木佐貴 正博	1989	経済学部	神奈川県	
	中西 利博	1988	社会福祉学部	東三河	宮下 明大	1989	社会福祉学部	東京都	
	鈴木 安夫	1975	社会福祉学部	名古屋	小川 晴生	2002	経済学部(通信)	知多	
	櫻井 悟	1997	社会福祉学部	知多	久保田 和宏	1994	社会福祉学部	静岡県	
	平松 金英	1982	経済学部	西尾張	山田 賢治	1980	社会福祉学部	名古屋	
	中村 康樹	2017	福祉経営学部(通信)	奈良県	二村 雅章	1982	経済学部	西尾張	
	本村 幹雄	1989	社会福祉学部	兵庫県	加藤 敏明	1988	社会福祉学部	北尾張	
	河本 利典	1986	社会福祉学部	岡山県	奥村 庄次	1976	社会福祉学部	瀬戸・尾張旭・長久手	
尾崎 俊二	1984 1982	社会福祉学研究科・ 社会福祉学部	香川県	水野 孝安	1969	社会福祉学部	名古屋		
					数納 幸子	1972	社会福祉学部	名古屋	

※黒川道男(副会長)、小松理佐子(副会長)、刈田芽生(事務局長)、牧野奈緒子(理事)は、大学からの派遣役員です。

～ 同窓会を支え、発展を導いてくださった方々に、心より感謝申し上げます ～

2024年度をもって同窓会の役職を務め終えられた方々をご紹介します。永年のご功績を讃え、会員の皆さまと謝意を共有させていただきます。

\*カッコ内は退任された役職名

- |               |               |                      |
|---------------|---------------|----------------------|
| 山田 賢治さま (副会長) | 藤澤 香津子さま (理事) | 松下 伸二さま (理事)         |
| 今野 久寿さま (理事)  | 谷口 暢生さま (理事)  | 井上 隆志さま (理事)         |
| 山本 雄二さま (理事)  | 長坂 道子さま (理事)  | 笠井 真一さま (福井県地域同窓会会長) |
| 宮部 真弥子さま (理事) | 名越 美子さま (理事)  | 辻村 禎彰さま (京都地域同窓会会長)  |

同窓生相互協力ネットワーク ～日本福祉大学同窓会 「生活課題相談窓口」の開設について～

日本福祉大学同窓会は、同窓生同士の相互協力の場として、「生活課題相談窓口」を、同窓会本部事務局内に2025年7月1日に開設しました。

この窓口は、「こんなことは、どこに聴いたらよいだろうか?」という問いに対して、同窓生のネットワークを活かして、問題等の性質、性格において適切な専門機関等へ繋ぐことを目的としています。問題、事案の解決を意図せず、適切な専門機関をご紹介します「ファーストタッチ」となります。「日本福祉大学情報セキュリティの基本ポリシー」、「日本福祉大学個人情報保護の基本ポリシー」(大学のHPをご参照ください)を順守して実施します。ご紹介までに日

数がかかることがあります。ご了承をお願い申し上げます。

- 相談日時:平日10時～15時(但し、正午～13時除く)  
窓口閉鎖期間(土日・祝日、夏季・冬季の一斉閉鎖をはじめ、行事等で不定期に閉鎖させていただく場合があります)
- 相談分野:介護、教育、障害、医療、労務、生活困窮、経営企業等
- 相談方法:相談申込フォーム(右記)をご利用ください。



「FUKUSHI ACADEMY」は、誰もが「ふくし」を実現できる Well-being な社会を実現していくために、現場と大学、Well-being の実現を目指す皆さまを結び、協働して社会に発信していきます！

## 事業案内・事業報告

### 令和7年度 里親支援センター等人材育成プログラム



#### ◆オンデマンド講義と実践的な学びを深める対面演習を実施◆

令和6年度、児童福祉施設として「里親支援センター」が新たに制度化されました。これにより、里親養育の質を高める取り組みが全国で本格的に進んでいます。

日本福祉大学ではこども家庭庁からの補助を受け、令和7年度「里親支援に関わる人材育成」のための研修プログラムを開講いたします。こども家庭分野の現場で活躍する講師によるオンデマンド講義に加え、受講者同士で意見交換や実践的な学びを深める対面演習も実施。理論と実践を融合させた充実の内容です。里親支援センターの職員に限らず、こども家庭分野に関心のある方であれば、どなたでも学ぶことができます。

### 未来へのふくし航路～ Social Change Symposium ～

#### ◆最先端の“ふくし”にふれる学びの時間◆

昨年に引き続き、今年もシンポジウム

「未来へのふくし航路～ Social Change Symposium～」を開催します。このシンポジウムには、ふくしの最前線で活躍する実践者と本学教員が登壇し、現代社会が直面するふくしの様々な課題をテーマに、“ここでしか聞けない話”を展開します。

今年度は全10回・各回完結型で、気になるテーマだけでも参加可能。平日夜に開催するため、仕事終わりで気軽にご参加いただけます。また、各回終了後には“1週間の見逃し配信”もあり、リアルタイムで参加できない方にもおすすめです。参加費は1回1,100円（税込）。ぜひ、この機会に“ふくしの今”を学び直してみませんか？



2025年8月～2026年3月 毎月開催（平日のみ）  
対面会場：日本福祉大学東京サテライト 開催方法：対面・オンライン



# つながりを育む 民生委員・児童委員活動 ~だれも取り残さない地域づくりへの挑戦~



◆民生委員・児童委員研修用 DVD 教材◆  
 長期にわたった covid-19 対策の影響で、地域では孤立状態にある人が増加しているといわれています。2024 年に孤独・孤立対策推進法がされ、行政、NPO 等様々な主体が、この課題に取り組みはじめました。  
 孤独・孤立対策の担い手として、民生・児童委員にも期待が寄せられています。本 DVD 教材では、だれも取り残さない地域づくりに向けた民生・児童委員活動のあり方について考えます。  
 監修は日本福祉大学社会福祉学部 教授の小松理佐子。  
 静岡県民生員児童委員協議会にご協力いただき作成をいたしました。  
 民生委員・児童委員としての経験が浅い方をはじめ、委員に対して研修を実施したいとお考えの方、ぜひご自身の学びや研修で本教材をご活用ください。

## 日本伴走型支援協会 × 日本福祉大学 伴走型支援基礎講座

◆認定資格「伴走型支援士」取得のためのファーストステップ◆  
 深刻化する「社会的孤立」に対応するために”つながり続けること”を目的とした支援として生まれ、個人に対する支援であるとともに、人を孤立させない地域社会の創造をめざす活動でもある「伴走型支援」。その求められてきた背景、この支援で大切にされる理念や哲学、実際の支援や関連する政策動向などについて多角的に学べる講座です。  
 2022 年度より日本伴走型支援協会と連携・協力のもと、オンデマンド配信の形式で開講しています。また基礎講座修了後、日本伴走型支援協会主催のスクーリングを修了することで認定資格「伴走型支援士」の資格取得ができます。社会福祉士の方をはじめ、精神保健福祉士、看護師、介護福祉士、相談支援専門員などの専門職の方をはじめ、ボランティアを希望する方や学生など、幅広くご受講いただいております。

## 事業拠点



日本福祉大学 FUKUSHI ACADEMY 東京  
 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10-1  
 東京交通会館 7 階  
 アクセス/JR線山手線・京浜東北線:有楽町駅 徒歩 1 分、  
 地下鉄 有楽町線:有楽町駅、銀座一丁目駅 徒歩 1 分



日本福祉大学 FUKUSHI ACADEMY 名古屋  
 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-22-35  
 名古屋キャンパス内  
 アクセス/JR鶴舞駅名大病院口より南へ徒歩1分、  
 鶴舞公園口より北へ徒歩2分

## お問い合わせ先

日本福祉大学 FUKUSHI ACADEMY 東京  
 TEL/03-5220-2825  
 日本福祉大学 FUKUSHI ACADEMY 名古屋  
 TEL/052-242-3069  
 ✉ recurrent@ml.n-fukushi.ac.jp

FUKUSHI ACADEMY HP



学内学会は、日本福祉大学の卒業生、在学生、大学院生、教職員等で構成する、「権利のための」社会福祉実現を目的とした研究や実践と会員相互の交流を深めるために設立された日本福祉大学公認の自主的な研究団体です。1968年に発足し、研究大会をはじめとする企画と学会誌「福祉研究」の発行を主な活動として続けています。「研究のための研究」、「実践のための実践」ではなく、研究と実践、大学と現場を結びながら、時代の動きと社会福祉の現実、国民生活の実態・要求を見極め、真に国民のための社会福祉研究、実践の方向を切り拓き、ウェルビーイングを保障していくことを目的としています。

会員特典 ①学会誌『福祉研究』と会報(年3回)をお送りします。②大会や各種企画に特典価格で参加できます。③学会誌『福祉研究』へ投稿、大会や各種企画での発表など研究活動に参加できます。

年会費:卒業生・教職員・協力会員 5,000円/学生・院生 2,500円

### 【第56回大会案内】

〈大会テーマ〉 社会福祉労働と実践 一当事者と実践者の人権をどう保障するのか?—

私たちは社会福祉労働を考える上で、「人財」の確保と「育成」について、人格形成や発達を踏まえた(保障する)ものとして社会福祉実践のための労働条件が意識的に追求されなければならないと考えています。そこで本大会を社会保障・社会福祉領域全体の実践者(労働者)たちの「働き方」と「実践のあり方」の弁証法的な関係を考察する機会にしたいと思います。

〈日 時〉 2025年9月27日(土)13:00~19:00

〈会 場〉 日本福祉大学名古屋キャンパス 北館8皆  
名古屋市中区千代田5-22-35(市営地下鉄鶴舞線鶴舞駅下車徒歩5分、JR中央線鶴舞駅下車徒歩5分)  
<https://www.n-fukushi.ac.jp/campuslife/campus/nagoya/>



〈参加方法〉 会場参加、オンライン(Zoom)参加のどちらかを選択できます。

〈参加費〉 会員:1,000円、非会員:1,500円、学生・大学院生:無料

〈プログラム〉 12:00 受付開始

13:00 開会挨拶(故大友信勝教授ミニ追悼会)

13:15 開催

基調講演 「社会福祉労働と児童養護施設:利用者・支援者双方の人権保障のために」  
講師)堀場純矢氏(日本福祉大学社会福祉学部教授、放送大学客員教授)

14:30 シンポジウム 「社会福祉労働と実践」

・酒井 奈津希氏(児童養護施設・子供の家児童指導員/自立援助ホーム経験者:卒業生)  
・津田 康裕氏(元名古屋市職員:卒業生)  
・仲畑 芳紀氏(社会福祉法人あさみどりの会 べにしだの家所長補佐)  
司会 磯野 博氏(日本障害者協議会政策委員:卒業生)  
コメンテーター 村上 武敏氏(佛教大学社会福祉学部教授:卒業生)

17:15 社会福祉基礎講座

講師)榎府 憲太氏(高崎健康福祉大学健康福祉学部専任講師:大学院修了生)  
「生活保護の今とこれから~制度と実践の両面から考える~」

(※基調講演、シンポジウム、基礎講座の間に、それぞれ10~15分の休憩時間を設けます)

〈参加申し込み方法〉 ホームページ、Google フォーム、メール、FAX、郵送から選択してください。

※2025年9月20日(土)までにお申し込みをお願いします。

※参加費の支払い方法は、会場参加者は事前振込または当日支払いが可能です。オンライン参加者は事前振込のみです。お申し込み後、振込先とオンライン参加のURLを案内します。お振込費用はご本人様負担となりますので、予めご了承ください。

### 【福祉研究】

学会誌『福祉研究』は、学会創立期より定期的に発行している社会福祉分野及びその関連分野(保育、教育、看護、リハ、福祉経営、街づくりなど)の実践、制度、政策、実態、理論などに関する論文集です。年1回のペースで発行しています。主に現場の実践記録、実践論、学術論文、研究ノート、調査報告、翻訳、書評、資料紹介、研究会記録など同分野の実践に資する内容の論文を掲載しています。また、卒業生の方の論文やレポートの投稿もお待ちしております。『福祉研究』116号から、Amazonで購入が可能になりました。



### 問い合わせ・入会・大会参加申し込み

日本福祉大学社会福祉学会(学内学会)事務局

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学内

- ホームページ:<https://sites.google.com/view/nfu-ssw/>
- 大会申し込み:<https://forms.gle/F5TvfDQXs1gVr48b8>
- メール:gakkai@n-fukushi.ac.jp
- FAX:0569-87-1690



ホームページ



大会申し込み

1月	13(月)	千葉県地域同窓会 happy choice見学会 「戸定(とじょう)そば幸まつど」(対面)
	18(土)・19(日)	第2回関東地域ブロック代表者会議(オンライン併用)
	18(土)	島根県地域同窓会 総会・講演会(対面)
	18(土)	理学療法研究会 講演会(オンライン併用)
	25(土)	長崎県地域同窓会 講演会&総会・懇親会(対面)
	25(土)	パンブーの会(対面)
	28(火)	大阪地域同窓会 第1回よるかつオンライン交流会(オンライン)
2月	1(土)	経済学部・名古屋地域同窓会 セミナー・名刺交換会(対面)
	4(火)	広島県地域同窓会 総会・懇親会(対面)
	7(金)・8(土)	ヤジエセツルメント84同期会 同窓会(対面)
	8(土)・9(日)	第2回近畿地域ブロック代表者会議(対面)
	8(土)	埼玉県地域同窓会 ゆったりのんびりおふろ de HOT(対面)
	15(土)	第3回常任理事会(対面)
	15(土)	沖縄県地域同窓会 講演会&総会・懇親会(対面)
	15(土)	栃木県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)
	15(土)	兵庫県地域同窓会 国試慰労会&交流会(対面)
	15(土)	東京地域同窓会「平和を学ぶ研修」 明治大学登戸研究所資料館見学会(対面)
	16(日)	アーチェリー部OB会(対面)
	18(火)	安藤クラス情報交換会(オンライン)
	22(土)	第2回東海地域ブロック代表者会議(オンライン併用)
	23(日)	茨城県地域同窓会 交流会・懇親会(オンライン併用)
	28(金)	大阪地域同窓会 第2回よるかつオンライン交流会(オンライン)
3月	1(土)	第3回理事会(オンライン併用)
	1(土)	宮城県地域同窓会 総会・研修会(対面)
	1(土)	大阪地域同窓会「つながる」第2回イベント(対面)
	1(土)	大阪地域同窓会 大阪サテライトCaféへようこそ(対面)
	2(日)	静岡県地域同窓会 60周年記念プロジェクト報告書を読み解き、語り合う会(対面)
	2(日)	香川県地域同窓会 第1回学習交流会(オンライン併用)
	2(日)	1976年度卒金田ゼミナール同窓会(対面)
	8(土)	長野県地域同窓会 総会・セミナー(対面)
	8(土)	東京地域同窓会「教育部会」情報交換・交流会(対面)
	8(土)	歴代大谷ゼミ同窓会(対面)
	12(水)	大阪地域同窓会 第3回よるかつオンライン交流会(オンライン)
	13(木)	北海道地域同窓会 60周年記念プロジェクト報告書を読み解き、語り合う会(対面)
	18(火)	安藤クラス情報交換会(オンライン)
	22(土)	静岡県地域同窓会 卒業を祝う会(対面)
	22(土)	東三河地域同窓会 卒業を祝う会&名刺交換会(対面)
	22(土)	岩手県地域同窓会 物好き者の集い(対面)
	22(土)	九州・沖縄地域ブロック 卒業を祝う会(対面)
	26(水)	71年2部Dクラス・旧交會 懇親会(対面)
	29(土)	北信越地域ブロック 卒業祝賀会・交流会(対面)

3月	29(土)	北海道地域ブロック 卒業を祝う会(対面)	
	29(土)	関東地域ブロック 卒業を祝う会(対面)	
	29(土)	近畿地域ブロック 卒業を祝う会(対面)	
	29(土)	中国地域ブロック 卒業を祝う会(対面)	
4月	16(水)	大阪地域同窓会 第4回よるかつオンライン交流会(オンライン)	
	17(木)	あしあと(対面)	
	19(土)	森靖雄ゼミナール同窓会(対面)	
	22(火)	安藤クラス情報交換会(オンライン)	
	25(金)	あいむの会(対面)	
	27(日)	大阪地域同窓会 春の交流会(対面)	
	5月	3(土)	第4回常任理事会(対面)
5(月)		九州学ゼミ(対面)	
10(土)		第4回理事会(オンライン併用)	
10(土)		兵庫県地域同窓会 通信学部情報交換会「ゆるつな」(オンライン併用)	
11(日)		徳島県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)	
11(日)		千葉県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)	
11(日)・12(月)		ワンダーフォーゲル部同窓会(対面)	
17(土)		神奈川県地域同窓会 講演会・定例総会(対面)	
18(日)		静岡県地域同窓会 文化講演会・総会・同窓生交流会(オンライン併用)	
20(火)		大阪地域同窓会 第5回よるかつオンライン交流会(オンライン)	
20(火)・21(水)		安藤クラス情報交換会(オンライン)	
24(土)		南尾張地域同窓会 ランチ交流会(対面)	
24(土)		岐阜県地域同窓会 総会・懇親会(対面)	
24(土)		語ろう会(対面)	
27(火)		ワンダーフォーゲル部同窓会(対面)	
6月		31(土)	西三河／碧海地域同窓会 第7回キャッチ同窓会(対面)
		31(土)	埼玉県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(オンライン併用)
	31(土)	秋田県地域同窓会 研修会・総会(対面)	
	7(土)	東京地域同窓会 定期総会・市民公開講座(対面)	
	7(土)	井戸田セツルメント77年入セツ会(対面)	
	7(土)	静岡県地域同窓会 中部地区会(対面)	
	8(日)	香川県地域同窓会 総会及び第2回学習交流会(オンライン併用)	
	13(金)	神奈川県地域同窓会 春の鎌倉散策(対面)	
	14(土)	代表者会議(オンライン併用)	
	15(日)	ミッションワーク(対面)	
	19(木)	大阪地域同窓会 第6回よるかつオンライン交流会(オンライン)	
	21(土)	北海道地域同窓会 総会・懇親会(対面)	
	21(土)	東三河地域同窓会 総会・懇親会(対面)	
	22(日)	岐阜県地域同窓会飛騨支部 総会・講演会(対面)	
	22(日)	奈良県地域同窓会 総会&公開講演会(対面)	
28(土)	鳥取県地域同窓会 総会・講演会(対面)		
28(土)	高知県地域同窓会 集い(対面)		

## 2025年度 日本福祉大学セミナー・講演会のご案内

※開催日1ヶ月前に同窓会HPまたは後援会HPにて、概要、申込方法をご案内いたします。

日本福祉大学後援会HP

日本福祉大学後援会

検索



開催日	開催地	会場	文化講演会	同窓会時開催
8月30日(土)	盛岡市	プラザおでって	演題:「認知症の人の災害時支援から「地域記憶」を用いた地域づくりへ —「地産地消型認知症ケアモデル」への挑戦— 講師:伊藤 美智予 先生	○
9月27日(土)	松山市	愛媛県県民文化会館	演題:「その接客に「倫理」はあるか? —対人サービスと自己形成の社会学」 講師:原田 直忠 先生	○
10月4日(土)	伊那市	いなっせ	シンポジウム:「人が集まる地域とは? ~伊那市を元気にするためのヒントを皆で考えよう~」 コーディネーター:坂口 大史氏、宮國 康弘氏	
10月11日(土)	広島市	RCC文化センター	演題:「教育におけるインクルージョンとはどういうことなのか —同じ教室で学ぶとインクルーシブで、別の教室で学ぶとインクルーシブじゃない?—」 講師:藤井 啓之 先生	○
10月13日(月・祝)	富山市	富山国際会議場	演題:「ダウン症の娘(こ)と共に生きて ~翔子とのこれまでのあゆみ~」 講師:金澤 泰子 先生・金澤 翔子 先生	○
10月25日(土)	熊本市	ナースパワーアリーナ (熊本市総合体育館)	演題:「一緒に楽しむスポーツの力 ~ユニバーサルスポーツがつなぐ人と社会~」 講師:兒玉 友 先生	○
11月30日(日)	米子市	米子市文化ホール	演題:とっとり×☆=自分らしさ ゲスト:イモト アヤコ 氏	P.14をご参照 ください

## あいさつ

皆さまいかがお過ごしでしょうか。日本福祉大学経済学部同窓会 会長の近藤と申します。  
 いよいよ11月2日には大同窓会が開催されます。経済学部と合同で実施しております学生懸賞論文事業の歴代受賞者との懇親会など経済学部同窓会も参加させていただきます。より多くの同窓生との再会を楽しみにしております。  
 そして来年度は、経済学部創立50周年という記念すべき節目を迎えます。半世紀にわたり多くの人材を輩出してきた我が学部の歴史と伝統を、私たち同窓生が継承し、さらに発展させていく責任を感じております。  
 経済学部同窓会への皆さま方の積極的なご参加をお待ちしております。

経済学部同窓会 会長 近藤 英夫

## 活動報告

### ● 2025年2月1日（土）

#### 経済セミナー 『博物館・美術館を楽しもう』

講師：国立科学博物館理事・副館長 栗原 祐司 氏  
 会場：日本福祉大学 名古屋キャンパス

35名参加。自身も6,900館以上の博物館を訪問してきた博物館フリークの栗原さんが、博物館の楽しさはもちろん、社会的な意義も熱弁。理事・副館長ならではの博物館経営についても詳しく話されました。終了後の懇親懇談会でも熱いトークは止まらず、楽しいひとときとなりました。



### ● 第3回経済学部懸賞論文事業

〈卒業論文の部〉（懸賞金：同窓会長賞10万円、入選5万円）

- ・同窓会長賞 奥田 凜香『教育虐待の事例から見る、行きすぎた教育が子どもの人格形成に及ぼす影響と教育熱心が虐待に変容する親子の関係』
- ・入選 竹内 悠人『マルシェの開催意義 ～出店希望小売業者の視点から～』  
 北野 凌太郎『離島振興における現状と課題 -三河・佐久島を事例に-』

〈一般小論文の部〉（懸賞金：同窓会長賞3万円、入選1万円）

- ・同窓会長賞 石丸 宙奈『篠島の観光改善 若年層観光客増加施策』
- ・入選 平田 みなみ『地域活性化の本質とは何か』

## 2025年度事業

- 2025年11月2日（日）大同窓会（会場：東海キャンパス）  
 経済学部懸賞論文受賞者を招いた懇談会

- このほか年度内の事業について検討中です

## NFUライセンススクール 国家試験受験対策講座

2024年度にNFUライセンススクールを活用して国家試験を受験した114名の在学生・卒業生に聞きました。（アンケート対象者：472名、回答率：24.4%、2025年3月実施）



合格は初めに狙う！

合格者の6割以上が秋までに学習を開始！

本格的に学習を始めた時期



ライセンススクール申込者合格率



ライセンススクール活用で合格率UP！

### 社会福祉士 オススメ受験対策講座

NFUライセンススクールを活用して難関試験合格を目指しませんか？

- 「合格の近道」講座 ライブ配信講座  
 「出るところポイント」「語呂合わせ」で合格を狙います！
- 「要点ポイント確認+演習講座」ライブ配信講座  
 基礎からしっかり学び、予想問題で実力完成！
- 「最短合格必勝講座！」ライブ配信講座  
 確認しておきたいポイントをしっかり抑える！

講座の詳細・お申込みはHPから！  
<https://nfuls.nfu.co.jp/>



NFUライセンススクール事務局（株式会社エヌ・エフ・ユー）  
 TEL：0569-47-6530 E-mail：nfuls@nfu.co.jp  
 問い合わせ受付時間：月～金 10時～17時  
 （土日祝日・お盆・年末年始等を除く）

精神保健福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー対策講座も開講。ホームページをご覧ください。

# 同窓会開催のお知らせ



同窓会  
ホームページ

イベント情報は日々更新されますので、最新の詳細につきましては同窓会ホームページをご覧ください。

ブロック	ブロック・地域同窓会・認定同窓会	開催日	会場	内容（講師所属は2025年6月現在のものです）
北海道	北海道地域同窓会	9月20日(土)	釧路プリンスホテル	[社会福祉セミナーinくしろ] ●基調講演 ●パネルディスカッション ●親睦交流会 演題:地域共生社会の創造のいま～社会福祉法改正の動向とこれからの課題～ 講師:原田 正樹 先生(日本福祉大学 学長)
	北海道地域ブロック	11月25日(火)	オンライン	●Zoom座談会
東北	宮城県地域同窓会	8月30日(土)	仙都会館	●講演会 ●懇親会 演題:若者のひきこもり支援の現状と課題 講師:安藤 佳珠子 先生(社会福祉学部 講師)
	岩手県地域同窓会	8月30日(土)	プラザおでって	●講演会(大学セミナー) ●総会 ●在学生と地域同窓会の交流企画 ●懇親会 演題:認知症の人の災害時支援から「地域記憶」を用いた地域づくりへ ー「産地消型認知症ケアモデル」への挑戦ー 講師:伊藤 美智予 先生(社会福祉学部 准教授)
	山形県地域同窓会	9月20日(土)	山形市七日町ワシントンホテル	●総会 ●講演会 ●懇親会 演題:災害に備えた地域社会づくり(仮) 講師:菊池 遼 先生(社会福祉学部 講師)
関東	神奈川県地域同窓会	9月13日(土)	居酒屋いもの屋わん	●暑気払い
	神奈川県地域同窓会	10月8日(水)	津久井やまゆり園	●施設見学
	神奈川県地域同窓会	11月15日(土)	ウィリング横浜	[神奈川県地域同窓会設立40周年記念事業] ●講演会 ●記念パーティー 演題:ちひろ没後50年を経てー絵本の世界から読み解くメッセージ 講師:松本 猛 氏(いわさきちひろ美術館 常任顧問)
	神奈川県地域同窓会	11月30日(日)	ウイリング横浜	●日本福祉大学社会福祉セミナーin鳥取をliveで視聴する会
	神奈川県地域同窓会	12月5日(金)	鎌倉市内	●晩秋の鎌倉散策
	神奈川県地域同窓会	12月13日(土)	横浜市内	●忘年会
北信越	富山地域同窓会	10月13日(月・祝)	富山国際会議場	●講演会(大学セミナー) ●総会 演題:ダウン症の娘(こ)と共に生きて～翔子とのこれまでのあゆみ～ 講師:金澤 泰子 先生(日本福祉大学 客員教授、東京芸術大学 評議員、書家) 金澤 翔子 先生(日本福祉大学 客員准教授、書家)
東海	岐阜県地域同窓会	10月11日(土)	各務原市立中央図書館/ matane HERB&SPICE	●講演会 ●パネルディスカッション ●親睦会 演題:岐阜県で地域共生社会を実現する！～誰もが暮らしやすい地域をめざして～ 講師:小松 理佐子 先生(日本福祉大学 副学長 教授)
	三重県地域同窓会	10月19日(日)	ホテルグリーンパーク津/ル・パール	●講演会 ●総会 ●交流会 ●懇親会 演題:人口減少時代の担い手問題～地域を支える担い手をいかに育てるか～ 講師:小松 理佐子 先生(日本福祉大学 副学長 教授)
	大同窓会 各団体独自企画	11月2日(日)	東海キャンパス	詳細はP4をご覧ください。
近畿	大阪地域同窓会	9月13日(土)	大阪サテライト	●災害ボラセン
	滋賀県地域同窓会	9月20日(土)	キラリエ草津	●総会 ●講演会 ●懇親会 演題:今後のケアマネジメントの展望 講師:篠田 道子 先生(社会福祉学部 教授)
	和歌山県地域同窓会	10月18日(土)	和歌山県中央児童相談所	●総会 ●講演会 ●懇親会 演題:精神障害者の地域生活を支援して 講師:やおき福祉会理事長 柳瀬 敏夫 氏
	滋賀県地域同窓会	11月11日(火)	美浜キャンパス	●日本福祉大学キャンパスツアー ～1日限りのバスツアー～
	京都地域同窓会	11月15日(土)	アパホテル京都駅前店	●総会 ●講演会 ●懇親会 演題:生活保護パッシングを考える 講師:山田 志郎 先生(社会福祉学部 教授)
	大阪地域同窓会	11月16日(日)	goodsnoon なんばCITY 南館店	●teatime交流会
中国	広島県地域同窓会	10月11日(土)	RCC文化センター	●講演会(大学セミナー) ●在学生と地域同窓会の交流会 演題:教育におけるインクルーシブ教育とはどういうことなのか ～同じ教室で学ぶとインクルーシブで、別の教室で学ぶとインクルーシブじゃない?～ 講師:藤井 啓之 先生(教育・心理学部 教授)
	岡山県地域同窓会	10月18日(土)	第一セントラルビル1号館	●講演会 ●総会 ●懇親会 ●大学近況報告 演題:ハンセン病問題を学ぶこと 講師:小林 洋司 先生(社会福祉学部 准教授)
四国	香川県地域同窓会	8月30日(土)・31日(日)	香川県内	●フィールドワーク 渡辺 頭一郎 先生と 認定NPO法人子育てネットワークの草津 めぐみ理事長(通信卒業生)
	愛媛県地域同窓会	9月27日(土)	愛媛県県民文化会館	●講演会(大学セミナー) ●総会 ●同窓生実践報告 ●在学生と同窓生の交流会 演題:その接客に「倫理」はあるか?～対人サービスと自己形成の社会学～ 講師:原田 忠直 先生(経済学部 教授・学長補佐)
	高知県地域同窓会	10月18日(土)	でいさあびす はっぴい	●研修交流企画
九州・沖縄	宮崎県地域同窓会	9月13日(土)	ホテルメリージュ	●講演会 ●総会 ●懇親会 演題:地域共生社会をどう実現していくか～社会福祉法の改正を視野に入れて～ 講師:原田 正樹 先生(日本福祉大学 学長)
	長崎県地域同窓会	9月20日(土)	出島メッセ長崎	●総会 ●事例発表 ●懇親会 講師:明星 智美 先生(福祉経営学部(通信教育) 講師)
	鹿児島県地域同窓会	9月27日(土)	鹿児島県総合福祉センター	●講演会 ●総会 ●懇親会 演題:コミュニティの「これから」と「これから」 講師:吉村 輝彦 先生(国際学部 教授)
	福岡県地域同窓会	10月4日(土)	天神ビル	●講演会 ●総会 ●懇親会 演題:地域共生社会をどう実現していくか～社会福祉法の改正を視野に入れて～ 講師:原田 正樹 先生(日本福祉大学 学長)
	沖縄県地域同窓会	10月18日(土)	沖縄県総合福祉センター	●講演会 ●総会 ●懇親会 演題:こどもの貧困～輝く未来に向けて私たちにできること～ 講師:中村 強士 先生(社会福祉学部 准教授)
	熊本県地域同窓会	10月25日(土)	ナースパワーアリーナ	●講演会(大学セミナー) ●総会 ●懇親会 演題:一緒に楽しむスポーツの力～ユニバーサルスポーツがつなぐ人と社会～ 講師:児玉 友 先生(スポーツ科学部 准教授)
	大分県地域同窓会	10月25日(土)	コンパルホール	●講演会(大学セミナー) ●総会 ●懇親会 演題:ふくしを「学び」「伝える」こと～リアルを問い、リアルに向き合うために～ 講師:小林 洋司 先生(社会福祉学部 准教授)
本部	大同窓会	11月1日(土)	美浜キャンパス	詳細はP9をご覧ください。
		11月2日(日)	東海キャンパス	詳細はP1をご覧ください。
社会福祉 セミナー	鳥取県地域同窓会	11月30日(日)	米子市文化ホール/ル・ポルト	●社会福祉セミナーin鳥取 詳細はP14をご覧ください。

地域同窓会事業は、お住まいの地域に関わらず、ご自由に参加いただけますが、一部制限させていただく場合もあります。皆さまのご参加をお待ちしています。

大学近況

## 第26回半田キャンパス「七夕祭」を開催

毎年、七夕の季節に開催される半田キャンパスの「七夕祭」が7月5日(土)に開催されました。昨年度はコロナ禍からの回復をめざした「再建」を掲げ、今回は「改築」を開催テーマに設定。約600名の参加・来場者を集めた前回の実績に甘んじることなくチャレンジする姿勢や、今年度新たに開設された工学部をイメージさせるコンセプトでした。

半田イベントオフィスに所属する12名の学生が実行委員となり、模擬店やイベント企画に手作りで参加する学生らをサポートし、七夕祭らしい一体感のあるものに。ステージ企画には大道芸サークルBoochiBox、軽音楽サークルD&Mが出演し、暑さをものともせずに会場を盛り上げてくれました。前日には梅雨明けした東海地方、この日も気温はぐんぐんと上がり、来場者数は昨年度を下回ったものの約500名が参加し、近隣の住民の方、小さなお子さん連れでにぎわう七夕祭らしさはいつも通りでした。

情報社会科学部同窓会も5名の同窓生が集まり「スーパーボールすくい」を出店しました。昨年度(たこ焼きを完売)に比べると来場者が少なかったとはいえ、70名を超える子どもたちが夢中になって遊んでくれました。



大学近況

## 受刑者の社会復帰準備 プログラム運営に学生が参加しました

福祉経営学部(通信教育)の鷲野明美教授の自主ゼミに所属する学生4名が、名古屋刑務所豊橋刑務支所で行われた受刑者の社会復帰準備プログラムの企画・運営を担当しました。

2022年の改正刑法によって創設された「拘禁刑」では、受刑者の更生と社会復帰を重視しています。主に女性受刑者を収容する豊橋刑務支所でも社会復帰準備プログラムの充実が急務となり、司法福祉を専門とする鷲野教授との連携によって今回の取り組みが実現しました。

7月9日(水)に豊橋刑務支所で行われたプログラムには福祉経営学部(通信教育)の正科生・科目等履修生

が各2名ずつ参加。「わたし」を伝える」をテーマに、受刑者と向き合い社会復帰に向けて大切なコミュニケーションスキルを伸ばすための講師役を務めました。一人一人に「好きなこと」「やってみたいこと」などを問いかけ、その回答を肯定的に受け止めながら、受刑者の前向きな気持ちや発言を導くような流れを作りました。受刑者は社会復帰後の生活に希望を膨らませ、そのことを他の受刑者との間で共感する様子も見られました。刑務所で服役するという環境から自分の将来や社会への意識と視点を持ってもらい、更生と社会復帰を後押しする効果が期待されます。



プログラムに参加した学生は受刑者との合唱や対話を通じてコミュニケーションを深める取り組みをしました。

プログラムに参加した科目等履修生の中野恭子さんは「今回の取り組みでは、社会人学生の強みである実践と大学での学びを活かすことができ、学生それぞれが福祉の力を感ずることができました。今後もこのような取り組みに多くの学生が参加することで、学びも深まり実践力の向上につながると感じました」と感想を話しています。コーディネートにあたった鷲野教授は、今回のプログラムの意義について「社会人としての経験と大学での学びから得た知識を有する学生ならではの、創意工夫を凝らした素晴らしいプログラムを実施することができました。様々な背景を持つ人々を一人の人として感じることができた場面であり、福祉の原点に立ち返ることができる貴重な機会となりました」と語っています。

プログラムに参加した科目等履修生の中野恭子さんは「今回の取り組みでは、社会人学生の強みである実践と大学での学びを活かすことができ、学生それぞれが福祉の力を感ずることができました。今後もこのような取り組みに多くの学生が参加することで、学びも深まり実践力の向上につながると感じました」と感想を話しています。コーディネートにあたった鷲野教授は、今回のプログラムの意義について「社会人としての経験と大学での学びから得た知識を有する学生ならではの、創意工夫を凝らした素晴らしいプログラムを実施することができました。様々な背景を持つ人々を一人の人として感じることができた場面であり、福祉の原点に立ち返ることができる貴重な機会となりました」と語っています。

大学近況

## 日本福祉大学 学園創立70周年記念講演会が開催されました

学園創立70周年記念事業を推進している日本福祉大学は、2025年6月7日(土)に記念講演会を名古屋観光ホテルで開催しました。学園創立70周年記念事業の基調テーマ「Well-being for Allの実現に向けて」に「ふくしイノベーションとテクノロジー」が付された講演を行ったのは、ユニバーサルデザイン／ユニバーサルマナーに関する事業を展開する株式会社ミライ口の垣内俊哉社長。自身も車いすで移動するハンディを克服して営業成績のトップに立った垣内社長は、「障害者や不自由さを持つ人の数は日本でも3,000万人で多様性にも富んでおり、ユニバーサル



デザインが必要とされる市場は世界規模で見れば16億人・18兆ドルに相当します。このニーズに対して、企業側の供給は5%程度しかありません。また、こうした状況に向き合うには限られた専門家の知識と技術だけに委ねるのではなく、すべての人の意識にユニバーサルマナーとして根付いていくことが大切です」と語りかけました。大学進学を志した時は日本福祉大学のオープンキャンパスにも参加したという垣内社長は、障がいを持つ学生が数多く在学し、大学のインクルーシブな雰囲気にとっても魅力を感じたと振り返り、「よりよい社会への変革に、日本福祉大学の皆さまと力を合わせて取り組みましょう!」力強く語っていました。

## サークル紹介

日本福祉大学学生生活

### ●ライフセービング部

こんにちは! ライフセービング部です!

私たちは、多屋海岸、内海海岸を拠点に活動しています。現在の部員は10名で、夏の海水浴場や大会などで、監視活動を行ったり、ライフセーバーの競技大会に参加したりしています。

私たちは、愛知ライフセービングクラブに所属しており、社会人さん、名古屋工業大学、中京大学と一緒に活動しています。週に1回、海でトレーニングを行っており、本学の卒業生やOBの方々と一緒にトレーニングする機会も多く、とても多くの知識を学ぶことができます。夏の監視活動では、「海辺の事故をゼロに」を目指し、日々取り組んでいます。事故を未然に防ぐために、見回りを行い、危険な場所や危険な行動に目を配りながら監視活動を行っています。なるべく多く活動を行い、実践経験を積みたいと思っています。今年の大会では日本福祉大学としても、個人としてもいい結果が残せるように、日々のトレーニングを頑張っていきます!

今後とも、チームとしてレベルアップしていけるように、精進していきますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



### ●高齢者問題研究会シルバースティック

こんにちは。高齢者問題研究会シルバースティックです。私たちのサークルでは、主に二つの活動を行っています。一つ目はデイサービスセンターで頭と手先を使ったレクを企画し、実施するレクボランティアをしており、二つ目は武豊町社会福祉協議会が主催している高齢者向けスマホ教室にてスマホの操作方法を教えるボランティアを行い、高齢者の方と交流しています。

昨年度はコロナ禍の影響で活動を行うことが難しかったですが、今年度は月1回のペースで地域へ活動を行わせていただき、多くの高齢者の笑顔を見ることができました。学内での活動は、レクを考えるためにミーティングを行い、事前準備に励んでいます。

このように充実したサークル活動を行うことができているのは、同窓会の皆さまのお力添えのおかげです。心より感謝申し上げます。

今後とも、サークルメンバー一同、高齢者の方に喜んでいただけますよう、精一杯努めますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 第73回福祉大学祭について

日本福祉大学 学生課

福祉大学祭実行委員会は、新入生も加わり22名の体制で活動を開始しました。

今年度の大学祭は、「Timeless Echo 一あの日の声は今も私たちが導く」というテーマで開催します。日常の大切さに気づかされた経験を胸に、未来へ向かって進んでいくという思いが込められています。昨年度は「The sky is the limit」というテーマで、過去にとらわれず無限の可能性を信じて挑戦しました。今年もその想いを引き継ぎながら、新たなスタートを切ります。



昨年はあいにくの雨となりましたが、今年は皆の想いで空を晴らし、晴天のもとより多くの方に楽しんでいただける大学祭を目指しています。

当日は豪華ゲストの出演を予定しており、学園創立70周年記念事業とも連携して、幅広い世代が楽しめる企画を多数ご用意しています。ぜひ、美浜キャンパス福祉大学祭へお越しください。



「第73回福祉大学祭」開催日：2025年11月1日(土)、場所：美浜キャンパス

詳細は、大学祭実行委員会公式SNSまたは日本福祉大学ホームページをご確認ください。

▶大学祭実行委員会SNS

Instagram : @nfu\_daisai\_mhm

X : @daisai\_kikaku

▶日本福祉大学HP

<https://www.n-fukushi.ac.jp/festival/>



Instagram



X



HP

# 絆をさらに強めて 災害復興へ

## 能登半島地震・能登半島豪雨による 同窓生被災者へのお見舞いのご協力のお礼

2024年1月1日に発生した能登半島地震および同年9月21日から23日にかけて発生した豪雨により被災された皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。2024年度と同窓会による同窓生被災者への支援は、20件・790,000円の実施となりました。今年度に入ってから被災届出の受付とお見舞いの実施は継続しております。同窓会災害救援事業・募金規則に基づき2025年度に入ってから実施しているお見舞いにつきまして、下記の通り報告いたします。また、救援募金にご協力いただいた同窓生の皆さまには心よりお礼申し上げます。

### ■被災者支援(お見舞い)実施状況

能登半島地震による自宅の一部損壊(1件20,000円)	5	100,000円
能登半島地震による自宅の半損壊(1件50,000円)	2	100,000円
能登半島地震による自宅の全損壊(1件100,000円)	1	100,000円
能登半島豪雨による自宅の床下浸水(1件20,000円)	1	20,000円
合計	9	320,000円

### ■被災状況のご連絡

被災状況の集約とそれに基づくお見舞いは引き続き実施いたします。被災された同窓生の方、また同窓生の被災についてご存じの方は、こちらの2次元コードから登録フォームにアクセスいただき、ご入力をお願いいたします。



### ■救援募金

お寄せいただきました募金は、日本福祉大学同窓会「災害救援事業・募金規則」に基づき、被災された同窓生の方々への見舞金(自宅:全損壊10万円、半損壊・1ヶ月以上の避難もしくは転居5万円、一部損壊2万円など)と、日本福祉大学災害ボランティアセンターの活動支援などに充てさせていただきます。ご協力をお願い申し上げます。

### 救援募金振込先

#### 銀行名・支店名で振込

[ 都市銀行・地方銀行・ゆうちょ銀行など ]

- 銀行名 ゆうちょ銀行
- 支店名 ○八九(ゼロハチキユウ)
- 種別 当座
- 口座番号 0071311
- 口座名義 日本福祉大学同窓会

#### 記号・番号で振込

[ ゆうちょ銀行のみ ]

- 記号 00850
- 番号 71311
- 口座名義 日本福祉大学同窓会

※お名前の前に同窓会員ID(宛名の下に記載)を必ず入力してください。  
※団体の場合は、団体名を必ず入力してください。

## 訃報 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

大友 信勝先生 元日本福祉大学教員  
(1966年社会福祉学部卒) / 2025年5月ご逝去  
友松 達彦さん 元日本福祉大学職員  
(1987年社会福祉学部卒) / 2025年2月ご逝去  
服部 平和さん 1960年社会福祉学部 / 2025年3月ご逝去  
大栗 功さん 1970年社会福祉学部 / 2025年2月ご逝去  
辻 和子さん 1973年社会福祉学部 / 2024年9月ご逝去  
澤畑 勉さん 1974年社会福祉学部 / 2025年1月ご逝去

小畠 幸子さん 1977年女子短期大学部 / 2024年7月ご逝去  
青山 勲さん 1977年社会福祉学部 / 2025年3月ご逝去  
牧野 嘉文さん 1987年経済学部 / 2024年12月ご逝去  
岩瀬 典子さん 1998年経済学部 / 2025年1月ご逝去  
天野 厚子さん 2005年通信教育部 / 2025年3月ご逝去  
刈間 俊也さん 2014年通信教育部 / 2024年12月ご逝去  
(卒業年次順)



# 社会福祉総合研修センター

対面集合型・オンライン・オンデマンド等、様々な形式の研修に対応！

## オーダーメイド型研修

ご要望を細かくヒアリングさせていただき、お客様それぞれのオリジナルの研修を設計させていただきます。多様なテーマや職歴・階層に応じた研修を様々な形式で実施いただくことが可能です！！



## オンライン動画定額見放題研修



### 介護現場向け

介護現場の業務に直結する研修動画が定額で見放題！

保育所・幼稚園・児童発達支援事業所・放課後等デイサービス向け

保育・児童発達支援に係る理論と実践の研修動画が定額で見放題！



## 新たに人材採用支援事業を開始しました！

介護職員をはじめとして、保育士、看護師、相談職、リハビリ職、心理職など様々な専門職も含めた福祉分野の人材採用について、社会人のための求人情報掲載サイト「FUKU+JOB（ふくたすジョブ）」や、就職フェアの開催等を通してご支援をいたします！  
求職中の同窓生の方々をはじめ、すべての社会人求職者と法人・事業所の就職・採用を支援します！



**「FUKU+JOB」今なら公開キャンペーン中！**  
**2026年3月末まで求人情報掲載が無料！**



## FUKU+JOB オンラインセミナー

日本福祉大学社会福祉総合研修センターが運営する求人情報掲載サイト「FUKU+JOB」が開催する、福祉分野の法人・事業所の人事担当・管理者の方々を主な対象とする参加費無料のオンラインセミナー！  
「福祉分野の人材採用に関わること」、「従業員に対する悩み」「人事担当者や管理者が知っておくべき制度や知識」など様々な「知りたい」をテーマとして取り上げ開催します！

## お問い合わせ先



〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-22-35 (日本福祉大学 名古屋キャンパス 北館1階)

TEL 052-242-3069 FAX 052-242-3020 MAIL ckjimu@ml.n-fukushi.ac.jp

<https://www.n-fukushi.ac.jp/recurrent/biz/>



# 学園創立70周年記念事業推進のために皆様のご支援をお願いいたします

## 事業期間

2023年(令和5年)4月1日～2026年(令和8年)3月31日の3年間

## 事業概要

1 「Well-being for All」をめざす社会実装型  
キャンパス創造と環境整備



2 挑む次世代育成のための教育・研究の推進



3 生涯学び続ける社会に対応したリカレント教育の充実



4 歴史から未来の指標を探る  
～建学の精神と学園の歴史継承事業～



5 式典等の実施



事業概要の詳細はこちら



## 募金概要

### 1 名称「学園創立70周年記念事業募金」

- ・日本福祉大学大学院
- ・日本福祉大学
- ・日本福祉大学中央福祉専門学校
- ・日本福祉大学付属高等学校
- ・日本福祉大学付属クリニックさくら

### 2 募集期間

2023年(令和5年)4月1日  
～2026年(令和8年)3月31日

### 3 目標額

5億円

### 4 募金の種類

個人様:1口1万円  
法人・団体様:1口10万円  
※複数口のご協力をお願いいたします。なお、1口に満たないご寄付もありがたく受けします。

### 5 寄付者様への返礼

顕彰および芳名録等への記載、記念品贈呈

### 6 申込方法

インターネット(クレジットカード、コンビニ決済、Pay-easy)、または振込用紙での申込

学園創立70周年記念事業募金サイトでご確認ください。



募金についてのお問い合わせはこちらまで

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田  
[MAIL] keiri@ml.n-fukushi.ac.jp  
[TEL] 0569-87-2215(経理課)

## 2024年度 寄付実績

2024年度の募金事業は、以下の通り多くのご賛同をいただき、多大なご寄付を賜りました。皆さまの温かいご協力で心より感謝申し上げます。皆さまからお寄せいただいたご厚志は、教育・研究環境の充実、地域との連携強化、そして学生への支援など、本学の取り組みを力強く支える原動力となりました。これもひとえに、日頃より本学に寄せられている期待と信頼の賜物と受け止めております。引き続き、皆さまからの一層のお力添えを賜りたく、学園創立70周年記念事業募金へのご協力をお願い申し上げます。

申込総額  
331件

# 279,408,653円

うち個人 300件 21,369,375円

うち法人等団体 31件 258,039,278円



ダンス部



陸上競技部



ライフセービング部



寄付のご報告はこちら(申込事業内訳)



部活・サークルから寄付の御礼はこちら



70th プロジェクトはこちら



## 入学者ご推薦のお礼

2025年3月、第21期生1,112名が福祉経営学部を卒業されました。第1期～第20期の卒業生29,083名と合わせて、これまでに30,195名の方が本課程を卒業され、全国で活躍されています。そして、今現在、正科生2,258名、科目等履修生等440名の方にごお願いいただきました。幼保特例制度対応プログラムにおいても870名が出願され、通信教育を活用した学習課程へのお願者の合計は3,568名となりました。そのうち、皆さまのお力添えによる同窓生推薦制度により、234名の方々が出願され、同窓生ご本人様にも222名の方にごお願いいただきました。

ご推薦をいただいた同窓生の皆さまにおかれましては、誠に有難うございました。あらためて御礼申し上げます。ご推薦いただいた方には些少なからお礼の品をお送りさせていただきます。今年はコンパクトに持ち運べる「クルリトクーラーミニマルシェバッグ」です。

買い物に適切なサイズ感で、保冷機能も備えており、普段のお出かけや買い物に大変便利です。ぜひご使用いただけますと幸いです。現在、福祉経営学部では全国で約5,000名の在学生在が、それぞれの目標に向かって学習に取り組んでおられます。今後も教職員一同、更なる教育の充実に向けて励む所存です。引き続き、本学ネットワークの発展のため、一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

福祉経営学部長 杉本 浩章



クルリトクーラー  
ミニマルシェバッグ



## 学費等減免制度のご案内

大学同窓会員および専門学校・高校同窓会員による推薦を受けた方を対象にした、学費等の減免制度を設けています。

		一般学生	本学園 同窓会員の方 大学・短大・ 専門学校・高校	日本福祉大学に 1年以上在籍した方 または本学通信教育部科目等 履修生・特修生に在籍していた方	日本福祉大学 同窓会員の 推薦※を受けた方 (在学生からの推薦を含む)
入学選考料	正科生 科目等履修生 特修生	10,000円	無 料	無 料	無 料
入学金	正科生	30,000円			
	科目等履修生	10,000円	減免なし(10,000円)	半 額	
	特修生				—

### 推薦条件について

1. 学習目標が明確で、学習意欲が高い方。
  2. 入学後も推薦者と連携をとり、日常的に学習や学生生活等のアドバイスが受けられる方。
  3. 卒業後は日本福祉大学同窓会へ入会し、推薦者と共に日本福祉大学同窓会の諸活動に積極的に貢献する方。
- ※通信・通学課程の在学生在(正科生)も同窓会員に含まれます。ただし、推薦者との同一年度の入学は対象としません。

⚠ 2023年度より、科目等履修生・特修生は登録料25,000円が必要となりました(減免対象外)。

## 国家試験合格者数全国大学第1位 新卒者合格率も躍進

2025年2月に実施された社会福祉士・精神保健福祉士国家試験は、新しいカリキュラムではじめての国家試験でした。出題基準や出題数が大きく変わる中で、受験対策に戸惑いながらも福祉経営学部はこれまでの実績を上回る好成績を残しました。

合格者数は、社会福祉士は622名(既卒者236名含)で17年連続、精神保健福祉士は78名(既卒者15名含)で15年連続、全国大学第1位を達成しました。

また、新卒者の合格率は社会福祉士・精神保健福祉士ともに躍進しました。社会福祉士の新卒合格率は、全国合格率56.3%、福祉系大学ルート新卒合格率75.2%に対して81.6%という好成績で、はじめて8割の大台に乗りました。精神保健福祉士の新卒合格率は92.6%で9割の大台に乗り、全国合格率70.7%、保健福祉系大学ルート新卒合格率85.3%を大きく上回っています。

国家試験での好成績は、資格取得のモチベーションの高い学生が集まり、社会経験などを活かしながら学習に励み、国家試験に向けての努力を続けてきたことによります。福祉経営学部では、オンデマンド授業を中心とするカリキュラム、オンラインでの科目修了試験などの学習の取り組みやすさや国家試験に準ずる試験形式の工夫などで学修活動を支援しています。実習教育においては、実習の受け入れや巡回指導など全国の同窓生の皆さまの協力いただいています。こうし

た「ALLにつぶく」の力が国家試験の結果にも表れているといえます。

本学部の教育は国家試験合格のみを目標とするものではありませんが、多数の福祉士を送り出していることは、ソーシャルワーク専門職をめざす人たちの学習ニーズと、ソーシャルワークに対する社会のニーズに応えている証といえるでしょう。

今後も、「社会福祉学を基盤とするソーシャルワーク専門職として人びととともに実践できる福祉士」養成に向けて、教職員一同、学生とともに前進してまいります。

福祉経営学部(通信教育)講師 明星 智美



### 「2024年度 第37回社会福祉士国家試験 結果」

合格者数**622名**(新卒386名、既卒236名)【17年連続全国大学第1位】  
新卒者合格率**81.6%**(全国平均56.3%)

### 「2024年度 第27回精神保健福祉士国家試験 結果」

合格者数**78名**(新卒63名、既卒15名)【15年連続全国大学第1位】  
新卒者合格率**92.6%**(全国平均70.7%)

※厚生労働省発表資料より

# 通信教育部生と同窓生の交流

## 北海道ブロック地域同窓会「2024年度卒業を祝う会」

開催日●2025年3月29日(土)  
会場●オンライン(Zoom)  
参加者●16名

2025年3月29日(土)、今年度の最後の事業として、北海道地域・北海道道南地域同窓会合同の北海道ブロック事業として行われた「卒業を祝う会」。今般もオンラインでしたが、途中参加・退室も含め4名の新卒業生の参加を得て、開催できました。各役員を含め、同窓生は11名の参加。加えて安藤健一先生にもご出席いただき、楽しい中にもニブク魂が見え隠れする集まりとなりました。安藤先生にとっては直接にご指導された卒業生もおり、はなむけの言葉にも大変力が込められておりました。卒業生もその喜びを画面越しに発信され、同窓生との意見交換・質問タイムも盛り上がり、それぞれ参加して良かったと思える事業となりました。(文責 小野 信一)



## 北信越ブロック地域同窓会「北信越ブロック卒業祝賀・交流会」

開催日●2025年3月29日(土)  
会場●オンライン(Zoom)  
参加者●12名

3月29日(土)に北信越ブロック地域同窓会の「卒業を祝う会&交流会」をオンラインで開催しました。大学から新谷 司先生、安藤 健一先生にご参加いただき、2名の新卒業生を含む12名の参加者を迎え、ミニ卒業式と同窓生の体験発表、交流会を行いました。同窓生の体験発表では新潟県地域同窓会の活動の様子と、大学病院の院内学級について、興味深い話を伺い、交流会では新卒業生の学生生活の話聞くなど楽しい時間を過ごすことができました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。(文責 田森 万理恵)



## 中国ブロック地域同窓会「2024年度中国ブロック卒業を祝う会」

開催日●2025年3月29日(土)  
会場●日本生命岡山市第2ビル(岡山市) オンライン併用  
参加者●17名

3月29日(土)に、岡山市で中国ブロック卒業を祝う会を開催しました。新卒業生5名をはじめ、対面とオンラインで、総勢17名で行うことができました。福祉経営学部の岩田純先生より、祝辞と学位記をいただきました。新卒業生から卒業にあたっての言葉、各県会長からお祝いの言葉をいただきました。閉式後は、茶話会、そしてアルコールも入った懇親会もできて、短いながら楽しい祝う会になりました。卒業生には同窓生の横のつながりを実感していただけたと思います。また集いましょう。(文責 河本 利典)



2025年度も各ブロックが「卒業を祝う会」を企画しています。詳細は11月頃同窓会HPにてお知らせをする予定です。同窓生みんなで、新卒業生をお祝いしましょう!

## 関東ブロック地域同窓会「卒業を祝う会in関東」

開催日●2025年3月29日(土)  
会場●主婦会館プラザエフ(千代田区)  
参加者●96名

昨年に引き続き、対面で「祝う会」と「懇親会」を行うことができました。いつもながら、卒業生のスピーチは幾多の困難を乗り越えての達成感や感謝の気持ちにあふれ、こちらも感動をいただきました。祝う会を実施できて本当に良かったです。関東は、これから通信教育部卒業生の占める割合が多くなります。祝う会を機会に通信生も同窓会に積極的に関わり、同窓会活動を協力して盛り上げていきましょう。元応援団長の浅石先生の力強いエールが後押ししています。(文責 今井 芳明)



## 近畿ブロック地域同窓会「2024年度卒業を祝う会in関西」

開催日●2025年3月29日(土)  
会場●梅田スカイビル スカイルーム(大阪市)  
参加者●65名

2025年3月29日に、大阪市の梅田スカイビルスカイルーム1にて、近畿ブロック「2024年度 卒業を祝う会 in 関西」を開催しました。当日は25名の卒業生が参加され、その卒業生からのスピーチでは、「笑いあり」、「涙あり」の、卒業までのストーリーを語っていただきました。また、同窓生の「津軽三味線」演奏で場が盛り上がり、懇親会では、卒業生と同窓生の活発な交流もあり、強い「つながり」ができました。今後も、この「つながり」を大切にしたいと思います。(文責 谷口 暢生)



## 九州・沖縄ブロック地域同窓会

### 「2024年度卒業お祝い記念大交流会in九州・沖縄」

開催日●2025年3月22日(土)  
会場●福岡会場：福岡オフィス(福岡市)  
沖縄会場：GRGホテル那覇東町レストラン(那覇市)  
参加者●29名

第15回卒業お祝い記念大交流会を開催し、新卒業生14名が参加しました。今回は福岡会場と沖縄会場をオンラインで繋ぎ二元同時進行での開催となりました。大学から、明星先生、中村先生に各会場に分かれてご出席いただき、ご祝辞や一人ひとりに学位記の授与をしていただきました。また、今年も参加者を中心に同期の認定同窓会設立の話がでる等、今後につながる輪ができました。新卒業生の皆さまご卒業おめでとうございます。今後は九州・沖縄の同窓会でお会いできることを楽しみにしています。(文責 齊藤 武志)



# 同窓生リレーずいそう

最初の卒業生が誕生してから70年…10万人を超える同窓会員が全国津々浦々で活躍されています。卒業後、学生時代に仲良かった友人や先輩・後輩と連絡が取れなくなってしまったご経験もあるかと思います。本企画は各所属毎に現在の状況や思いをリレー方式で繋げていくことで、点を線で結びつけるものです。ひょっとしたらこれがきっかけで、ご友人と再会できるかもしれませんね。

## 社会福祉学部



社会福祉学部 2010年3月卒業  
小形 博子 ★ 東京都在住

## 日本福祉大学がつないでくれた今

「これからは福祉の時代だよ」中学2年の時に叔父に言われた言葉が頭から離れず、ただ漠然と「誰かの役に立つ仕事をしたい」との想いで日本福祉大学に入学したものの、その後目標が見つからず、とりあえず何か資格を取ろうと、大学2年の時「福祉用具専門相談員」の資格を取得。福祉用具の魅力にハマった私は、高齢者が安心して在宅で暮らせるよう福祉用具を提供する会社に入社しました。仕事は本当に楽しくて、涙を流して「ありがとう」と言われる仕事に誇りを感じていました。今は自分の視野を広げるため、社会福祉協議会の職員として、地域福祉に貢献できるよう頑張っています。

大学時代は、友人たちと海辺で朝まで語ったり、ハンドボール部の仲間と汗・涙を流したり、卒業パーティーを企画したり、恋愛・セミ・バイト、語り出せばきりがないくらいの思い出にあふれています。あの頃のあらゆる思い出、そして今もつながり続けてくれている仲間たちが、私の人生に充実感を与えてくれます。これからもこのご縁に感謝しながら日々精進していきます!今回はこのような機会をいただきありがとうございます。

▶ 次回は、松延 美緒さんにバトンタッチします。

## 女子短期大学部



女子短期大学部 1993年3月卒業  
家郷 恵美子 ★ 兵庫県在住

## 今、ここにいること

私が保育を学ぼうと思ったきっかけは高校の時、友人のお姉さんの職場を訪れたことからです。高校生だった私が福祉の世界へ興味を持ったきっかけ、その友人のおかげで、今日の私があります。友人のお姉さんが学ばれた日福に入学し、無事保育士となりました。

寮生活でできた友達、1年次・2年次のゼミでの友達は今でも連絡を取り合う大切な存在です。卒業後は関西で就職をし、結婚出産を経て、今の職場で20年ほど保育士をしています。子育て支援も担当しており、地域の方の子育て相談や子どもたちの成長を日々、見守り喜び合いながら過ごしています。保育士って本当に素敵な仕事です。今、保育士であること、今、私がここにいる幸せであることは家族や友人のおかげはもちろんですが、日福のおかげだとつくづく感じます。これからも保育を、人と関わることを楽しみながら過ごせたらと思っています。そう思えることに改めて、日福に感謝!!です。ありがとうございます。

▶ 次回は、古賀 明美さんにバトンタッチします。

## 経済学部



経済学部 1989年3月卒業  
大分県立中津南高等学校卒  
木佐貫 正博 ★ 神奈川県在住

## 同窓会 70 周年 勢和寮企画で会いましょう

40年前の1985年に入学しましたが、その実、勢和寮に入寮し、4年間を過ごし卒業した、という大学時代でした。私は寮費の安さに惹かれ入寮しましたが、新歓、寮祭、追コンの三大行事や多くの催事、寮自治会では副寮長や新歓の実行委員長も務め、寮生活にどっぷり浸かった4年間でした。

現在、地域の課題解決に取り組むコンサルタント会社に勤めていますが、業務スキルの6割は寮で培われたものだと感じています。また、経営に携わる中での組織づくりにも、寮での経験と考え方が活かしています。

寮の仲間とは美浜世代の寮生を中心に定期的に同窓会を開いています。来る11月1日には大学同窓会設立70周年に合わせ、美浜世代だけでなく枳中世代、ミレニウム世代の寮生による世代を超えたトークセッションを企画しました。勢和寮の暮らし、文化、コミュニティに触れられるこの機会に、勢和寮に興味のある多くの方々にご参加いただき、お会いできるのを楽しみにしています。

▶ 次回は、山本 まなみさんにバトンタッチします。

## 情報社会科学部



情報社会科学部 2005年3月卒業  
有我 規明 ★ 愛知県在住

### 20年という時間

この文章を書く機会をもらった時に、卒業して20年経っていることに気がきました。20年経つと色々な変化があるので、住むところも変わり、家族が増えたり、別れもあったり、仕事で役職をもらったり、体重も増えたりと目まぐるしい20年です。学生時代は免許を取り、成人を迎え、弱いお酒も嗜み、サークル活動、恋愛、アルバイト、振り返ると新しい経験をたくさんした刺激的で楽しい凝縮した4年間でした。後悔していることは、もう少しだけ勉学にも力を入れておけばよかったと思うことだけでしょうか。人生もおそらく折り返し地点を過ぎており、世界を見れば、少し暗いニュースが多いと感じますが、自分の手の届く範囲は楽しく暮らしていけるようにしたいものです。・・・とchatGPTがほとんど考えてくれました。20年という時間の進化を感じます。

## 福祉経営学部



福祉経営学部 2009年3月卒業  
愛知県立新川高校卒  
吉川 貴大 ★ 愛知県在住

### 自分（日本）はどうなっていく？

私は大学卒業後、事務機器の営業を3年間行い、お金を貯めて専門学校へ通い直し、理学療法士として10年程働いています。同時に自身の会社を持ち物販業や不動産業を行っています。良くも悪くも色々やっているので本当に様々な方と関わる機会があり、様々な分野の勉強を行ってきました。日福を卒業していなければ一生の親友に出会えませんでした。理学療法士になっていなければ本を読む・勉強する習慣は身につかませんでした。また高齢者や生活保護の方が何を考えどのような生活しているのか知ることはありませんでした。同じく不動産業を行っていなければ、経済や政治を深く勉強することはありませんでした。また富裕層の方々が何を考え、何を行っているのか知ることはありませんでした。このような活動の中で今自身がすべきと思うことは、少しでも日本全体のことを考えて行動することかと思います。抽象的ではありますが、今の自分（日本）に必要なことはこれだと痛感しています。

国際福祉開発マネジメント学科の3期生同窓会やります！前後生含め是非参加お願いします！

▶ 次回は、東浦 匡志さんにバトンタッチします。

## 通信教育部 福祉経営学部



通信教育部福祉経営学部 2016年3月卒業  
鈴木 明美 ★ 愛知県在住

### 時間とつながり

入学した時は何も考えず、大学のシステムも理解せず、少しでも視野が広がればとの思いで入学しました。届いた教科書を広げて、啞然!日本語が理解できず、そのまま半年放置。そんな時に封書が届き、「勉強の仕方を教えます」との連絡。

出向いた会場では、ほぼマンツーマンの対応でした。歯に絹を着せない勉学の指導は私にとって大きな助けになり、自分のペースを考えた履修をする事ができました。

学年を経る中で、地域学習会が活発になり、スクーリング以外でも学友と顔を合わせたり、連絡する機会が増えてきました。仕事関係オンリーだった交友関係に、利害関係の無い学生の友人は私の常識や考え方を覆し、新しい物を受け入れさせてくれました。この関係が、ゆっくり時間を掛けて私が卒業できた要因だったと思います。

8年掛けたからこそ出会えた友人や先生方に感謝です。そして「これからもよろしくお付き合いしてください」とここで改めて伝えたいと思います。▶ 次回は、竹内 恵美さんにバトンタッチします。

## 大学院



国際社会開発研究科 2024年3月修了  
岐阜県立大垣北高等学校卒  
奥田 沙樹 ★ 岐阜県在住

### 自分を見つめ直す尊い時間

JICAボランティアやJICAでの勤務などの国際開発の現場経験をアカデミックに振り返るため、国際社会開発研究科に入学しました。先生方の講義はもちろん、院生の方々と行う多角的な視点でのディスカッションは、とても刺激的で楽しく、アグレッシブに学ぶことができました。そして、論文の執筆は、自分の経験を振り返ることのできる貴重な時間でした。妊娠・出産もあり時間をかけて調査研究を進めたため、納得のいく論文に仕上げることができました。進むべき方向に導いてくださった教授、ともに諦めずに学び合った仲間、そして、学びを応援してくれた家族には、感謝の気持ちでいっぱいです。今は地元の小学校で英語を教えています。これまでの人生経験を活かし、言語を教授するだけでなく、世界とのつながりを意識して子どもたちに一つでも多くのことを伝えることができるように日々奮闘しています。また再び国際開発の現場に戻ることを楽しみに学びを忘れずに生きていきます。毎日に感謝。▶ 次回は、岩吹 綾子さんにバトンタッチします。

## 健康科学部



健康科学部 2019年3月卒業  
愛知県立中村高等学校卒  
丹羽 祐斗 ★ 京都府在住

## 学生時代の経験を糧に

高校時代に部活動で負った怪我をきっかけに理学療法士の道を志し、日本福祉大学へ進学しました。大学在学中には脳炎の他、様々な病気を経験したことで、医療の偉大さと薬の作用・副作用、リハビリテーションの重要性を身をもって学びました。その中で疼痛に対して興味を持ったため研究活動に取り組み、同じ研究室の仲間と切磋琢磨し励まし合いながら研究を進めた結果、学生の立場ながら学会発表や雑誌のインタビューを経験することができました。卒業後は大学院に進学し、大学時代からの指導教授の下、慢性疼痛の研究に進出し、博士後期課程を修了しました。現在は京都大学医学部附属病院で臨床に携わりながら、慢性疼痛の機序解明と運動療法の有用性に関する研究に取り組みつつ患者さん一人ひとりと真摯に向き合っています。学生時代に研究室の仲間と一緒に頑張ってきた経験は今でも大きな糧になっており、苦楽を分かち合った仲間への感謝を胸に日々研鑽を続けていきたいと思っています。 ▶ 次回は、小出 菜子美さんにバトンタッチします。

## 子ども発達学部



子ども発達学部 2019年3月卒業  
名古屋市立西陵高等学校卒  
村上 明 ★ 大阪府在住

## 福祉とともに

私にとって日本福祉大学で過ごした4年間はかけがえのない宝物です。今、振り返ると毎日の授業や友達と過ごした空コマ。そしてサークル活動。このすべての時間が愛しく感じています。私は卒業後、自分の一番好きだった洋服屋さんでアパレル販売員として就職しました。その後2年目からは店長としてお店を任せてもらい約3年間を過ごしました。私の働いていた店舗には子どもから大人服まで取り扱いがあり、小さなお子さん連れのお客さんも毎日たくさん来てくれたため、子ども発達学部での学びは、とても役立ちました。また、一人ひとり年齢や性別、そして生きてきた環境すべてが異なるスタッフとの関わりや教育の中でも福祉の心や考え方はとても役に立ち、常に自分自身の武器になっていると感じています。現在は結婚し、地元愛知県を離れ、大阪府で別のお店のアパレル販売員として働いています。私のこれまでの人生は福祉と共にあり、またこれからも大切にして生きていきたいと思っています。 ▶ 次回は、小東 桃菜さんにバトンタッチします。

## 国際福祉開発学部



国際福祉開発学部 2013年3月卒業  
根上 かなみ ★ 愛知県在住

## 「今につながる出会いと学び」

大学1年生の頃、友達が誘ってくれて始めたヘルパーのアルバイトが障害福祉の道へ進むきっかけとなり、現在は障がい者グループホームのサービス管理責任者として働いています。今でもその友達には、本当に感謝しています。

人と関わる仕事は、経験や慣れだけでは上手くいかないことも多いですが、悩みながらも人と向き合う過程に深い意味とやりがいを感じています。

大学時代に出会った人たちには、本当にたくさんの刺激をもらいました。もし人生をやり直せるなら迷わず大学時代に戻ると決めています。卒業後に気づいたことは、大学は「やるもやらぬも自分次第」だったということ。長そうで一瞬だった大学4年間は、何よりも大切な学びの場でした。そして、大学時代に出会い、関わってくれた全ての方に心から感謝しています。ありがとう!

▶ 次回は、石嶺 琴実さんにバトンタッチします。

## 看護学部



看護学部 2020年3月卒業  
星稜高等学校卒  
飛田 紗希 ★ 石川県在住

## 時の流れ

大学を卒業し、早6年が経とうとし、気づけば働いている年数の方が長くなってきています。大学時代は、たくさんの友達に恵まれ、辛かった実習もあったけれど振り返れば楽しかった思い出ばかり!社会人になった今でも大学時代の友人と繋がっています。久しぶりに会うと「大人になったよね」とつい話します。

大学卒業後は看護師としてNICUで5年間働きました。先天性疾患をもって産まれてくる赤ちゃん達とご家族に対する看護をしていました。小さな変化に対する観察力やアセスメント能力、急変時における迅速な対応力、周りのスタッフとのチーム連携力を身につけることができました。医療現場は日々最新の医療に進化し続けるため、現状の知識やスキル以上に学び続ける姿勢が大切です。看護師は常に勉強して行かなければなりません。大学時代に学んだ基礎的な学習体勢を初心とし、これからも看護師として働き続けたいと思っています。

北海道地域同窓会

開催日●2025年3月13日(木)  
会場●かでの2.7(札幌市)  
参加者●10名

演題：60周年事業報告書を読み解き、語り合う会  
講師：訓覇 法子 先生

最初に訓覇先生がこの報告書の読み難さについて説明があり、その後軽い自己紹介からスタートした。参加者の半分はフォーカスグループに参加したメンバーであったため、順調に進むかと思われたが、実際のところ、訓覇先生から提起された質問に対して、話していく経過の中で論点が違ったりしてしまいう事も多く、先生から鋭く質問されることも多々あり、回答に詰まることや方向修正が大変であった。目的とする回答にはどうにか結び付ける努力をしたが、先生の納得できる答えかどうかは疑問である。短い時間で話し合いではあったが、社会福祉の専門性を我々は身に付けて卒業したのであるかという疑問が残った。それぞれが感じる社会福祉の専門性とは何を指すものなのか、理解が難しい部分である。

通学生と通信では専門性の捉え方が当然違う部分である。それぞれの方が日本福祉大学に何を求めて入学して、何を不得卒業したのか?その感じ方によってもこの報告書の捉え方は違おうし、歴史的な学びの背景になると、通学生は強いが、通信の学生は理解ができるわけもなく、そのことは訓覇先生もはっきりと言っていた部分である。

結果的に訓覇先生から、多角的に論議がされた良い会であったと評価をいただいたが、まとまりがなかったのは否めない事実であった。全体的な専門性を獲得したかという部分では何とも言えないが、専門性を身に付ける基盤はしっかりと学んでいる。その事が卒業後の福祉の仕事の専門性を身に付けるベースになったことは重要であろう。

この報告書についての見方も賛否両論があると感じるが、完成度は高いと思う。色々な意味で開催した意義を感じられる会であった。  
(文責 梅下 忠弘)



青森県地域同窓会

開催日●2024年8月31日(土)  
会場●ねぶたの家ワ・ラッセ/海鮮居酒屋乃助(青森市)  
参加者●15名

演題：認知症の人にもやさしいまち  
～予防と発症後の暮らしに関わる「つながり」～  
講師：伊藤 大介 先生

令和6年8月31日(土)に青森市で公開講座として認知症に関わる講演会と総会・懇親会を行いました。台風のために講師の先生が青森に来ることができず、急遽本部事務局と山形オフィスの協力によりZoomで開催することができました。久々に福祉大の先生のお話を聞き、参加者の自己紹介や活発な情報交換ができた大変有意義な同窓会となりました。  
(文責 今二史)



秋田県地域同窓会

開催日●2025年5月31日(土)  
会場●秋田拠点センターアルヴェ音楽交流室B(秋田市)  
参加者●20名

演題：お寺を地域福祉コミュニティの居場所に  
講師：奈良 修三氏(同窓会会長)

恒例の地域同窓会総会・研修会・懇親会を5月31日に開催しました。今回は同窓会設立70周年を記念し同窓会会長奈良修三氏をお招きし、また研修会の講師もお引き受けいただきました。この7月5日には地域同窓会主催での「70周年記念事業」も控えており、進捗状況や、企画内容と特別会計の審議も加わる盛り沢山の内容でした。なお、初めての参加者や通信の新1年生も加わるなど新鮮な会合となったのも特徴でした。懇親会では、最近好評なギター付きの「うたごえ」で盛り上がりました。  
(文責 米谷 恭一)



栃木県地域同窓会

開催日●2025年2月15日(土)  
会場●ライトキューブ宇都宮(宇都宮市)  
参加者●21名

演題：これからの福祉人材の確保・育成・定着にむけて  
～福祉人材を取り巻く経営環境の変化から～  
講師：岩田 純 先生

今年度は日本福祉大学同窓会設立70周年記念事業として、岩田純先生を講師にお迎えし「これからの福祉人材の確保・育成・定着にむけて～福祉人材を取り巻く経営環境の変化から～」と題して講演をいただきました。参加者は福祉施設の経営に携わる方も多くおり、話を真剣に聞き入っていました。

その後の総会では事業・決算及び予算の審議、同窓会本部や関東ブロックの活動状況についての報告がありました。

例年2月に宇都宮市内で開催予定です。今回参加できなかった方、お待ちしております。  
(文責 金坂 尚慶)



埼玉県地域同窓会

開催日●2025年2月8日(土)  
会場●天然温泉小春日和(さいたま市)  
参加者●10名

同窓会設立70周年記念事業レクリエーションとして、さいたま市の天然温泉小春日和で、10名の参加者が♪ゆったりのにんびりお風呂de HOT♪に過ごしました!!

温泉や岩盤浴を楽しみつつ、生ビールを飲んだり、食事をしたり、トランプでジジ抜きをしたりしながら話しはずみ、和い輪い賑やかな時間を皆で共有し親交を深めました。

小春日和は風情のある静かなたたずまいの天然温泉施設でとても癒されました。

小春日和を満喫した後は、居酒屋で懇親会を行いました。

東京・茨城県・神奈川県・埼玉県地域同窓会の方々のご参加にも大感謝でした!!  
(文責 山下 圭子)



埼玉県地域同窓会

開催日●2025年5月31日(土)  
会場●埼玉共済会館(さいたま市)オンライン併用  
参加者●23名

演題：生活保護バッシングを考える  
講師：山田 壮志郎 先生

5月31日(土)さいたま市浦和区の共済会館において、埼玉県地域同窓会定期総会並びに山田 壮志郎先生の基調講演「生活保護バッシングを考える」が開催されました。足元の悪い中にもかかわらず20名を超える参加をいただきました。総会では昨年度の活動の報告、そして新年度のプログラムについて採決されました。基調講演では「生活保護」について制度の問題点や受給者の苦悩についてお話いただきました。私たちの知る「あたりまえ」の中に潜む差別や社会的な貧困について貴重なお話をいただきました。  
(文責 湯澤 剛)



### 千葉県地域同窓会

開催日●2025年5月11日(日)  
会 場●千葉県社会福祉センター(千葉市)  
参加者●45名

演 題：子どもの貧困 一輝く未来に向けて私たちにできること一  
講 師：中村 強士 先生

5月11日(日)千葉県社会福祉センターにて、2025年度千葉県地域同窓会文化講演会および総会を開催しました。文化講演会では、日本福祉大学社会福祉学部准教授の中村強士先生より「子どもの貧困一輝く未来に向けて私たちにできること一」をテーマにご講話をいただきました。また、「地域同窓会と在学生の交流事業」の一環として、中村ゼミ生3名と千葉県内で子ども支援に携わる同窓生によるトークセッションも行いました。中村先生からは貧困の基本的な内容に加え、日本の相対的貧困率の高さやその背景、貧困が子どもに与える影響、支援の仕組み作りについてもお話しいただき、理解を深める機会となりました。トークセッションでは、ゼミ生から子どもの居場所づくりと学生の関わり、同窓生からは実践活動内容が発表されました。講演会には45名が参加し、質疑応答も活発に行われました。

総会では、2024年度事業・決算・監査報告、2025年度事業計画案・収支予算案、新役員の選任、役員交通費支給規定の改正が審議され、全て承認されました。終了後は希望者で懇親会を行い、親睦を深めました。(文責 助川 純子)

### 東京地域同窓会

開催日●2025年2月15日(土)  
会 場●明治大学平和教育登録研究所資料館(川崎市)  
参加者●20名

今年度10番目の企画“平和を学ぶ研修”登録研究所資料館見学会を行いました。ここは、旧日本陸軍が秘密戦のための兵器・資材を開発するために建てられた研究所です。秘密戦とは、防諜・諜報・謀略・宣伝の4つの要素から成り、スパイが使用する暗殺用毒物や隠しカメラ、携帯用武器から偽札づくり、生物化学兵器の研究・開発等が行われていました。1944年には「風船爆弾」が製造され9,300発を放球し1000発以上がアメリカ本土に着弾、死者も出ました。貴重な学びができる歴史的資料館、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。(文責 杉田 哲也)



### 東京地域同窓会

開催日●2025年3月8日(土)  
会 場●国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区)  
参加者●6名

かつての通学課程には全国から多くの入学者がいて、特別支援学校などの教員になる卒業生も多く、東京地域同窓会では、「教員部会」がありましたが、通学課程には関東からでさえ入学する人が激減し、ここ20年ほど開催されませんでした。この度「復活開催」となりました。当日は、通信卒業生で教員でなくとも学校で子どもたちの支援

をしている方などの参加で情報交換、意見交換を行いました。次回は、教育と福祉との連携をテーマに開催する予定です。また、同窓会HP等でお知らせする予定です。(文責 仁木 俊二)



### 東京地域同窓会

開催日●2025年6月7日(土)  
会 場●東京サテライト(千代田区)  
参加者●35名

演 題：高齢者福祉の過去・現在・未来(よもやま話)  
講 師：太田 健一 先生  
米澤 直美 先生

講演会では太田健一先生(研究分野:高齢者福祉・地域リハビリテーション) 米澤直美先生(研究分野:社会福祉学)をお招きして、高齢者福祉の課題や展望などをお話しいただきました。“よもやま話”とあるように肩肘張らず楽しい中にも、専門職のスーパービジョン体制の重要性や、高齢者福祉の現状を見つめ直し未来へ繋がる提言など考えるべきポイントがたくさんある講演会でした。総会では今年も被災地支援募金が呼びかけられ、集まった募金は同窓会本部に寄託いたします。(文責 葛西 なおみ)



### 神奈川県地域同窓会

開催日●2025年5月17日(土)  
会 場●福祉保健研修交流センター ウィリング横浜/くいの屋わん 上大岡店(横浜市)  
参加者●85名

演 題：ソーシャルワーク実践に求められるもの  
～日本福祉大学の歴史から学ぶ～

講 師：明星 智美 先生

公開セミナーでは、福祉経営学部の明星智美先生が「ソーシャルワーク実践に求められるもの～日本福祉大学の歴史から学ぶ～」と題してお話しいただきました。学園創立に尽力した鈴木修学先生の実践と教えから学園創設のプロセスと発展の歩みを建学の精神から読み取り、今も大切にされている日福マインド、改革ビジョン2027へと話は広がりました。「同窓会のセミナーは刺激になり勉強になります。明日からまた現場で頑張れます」「今日は予想以上の学び、元気、勇気をもらいました」「万人のために真実、慈愛・献身を、は渡い」は「日福で学んだことを誇りに思う」などの感想が多数寄せられました。

定例総会には51名が参加し、2024年度事業活動報告と決算、会計監査報告、2025年度事業計画と予算、第5期3ヶ年計画、役員の改選などが全会一致で承認されました。

総会後の懇親会には、33名が参加し、世代を越えて楽しい時間を過ごしました。(文責 片倉 博美)



### 神奈川県地域同窓会

開催日●2025年6月13日(金)  
会 場●鎌倉市内  
参加者●5名

JR北鎌倉駅西口広場で待ち合わせ。最初に女人救済の寺として有名な東慶寺を訪ねました。小さな本堂がある以外に大きな建物がなく、静寂な場所でした。次に訪ねたのは浄智寺。東慶寺と同じく臨済宗円覚寺派の禅寺です。関東大震災後に再建された仏殿には室町時代に造られた阿弥陀・釈迦・弥勒の三世坐像が安置されています。明月院に向かう道は人の波でいっぱい。明月院ブルーと呼ばれる姫紫陽花は、色鮮やかでした。その後は扇ヶ谷の坂を越えて岩船地藏堂。源頼朝の長女である大姫が祀られていると言われている場所です。ここを通り過ぎてガード下を300メートルほど上ると海蔵寺に到着。花菖蒲や松葉ボタンが綺麗に咲いていました。最後に訪ねたのは英勝寺です。仏殿の阿弥陀三尊と天井絵が見事でした。(文責 片倉 博美)



福井県地域同窓会

開催日●2025年3月1日(土)  
会場●福井県年縞博物館 他(若狭町)  
参加者●12名

令和6年度の同窓生のつどいのテーマは、『早春の若狭町を巡ろう』。少し前までは警報が出るくらいの雪模様でしたが、当日は春本番のような暖かさでした。最初に立ち寄った年縞博物館では、地層から7万年の歴史を学び、福井県の誇れる場所を新たに発見することができました。その後も嶺南の食材を使った食事を囲んでの交流会や、昔ながらの街並みの熊川宿を探索しながら、あっという間に時間が過ぎていきました。これからも同窓生の皆さまのお力を借りながら、魅力のある活動を続けていきます。

(文責 黒崎 啓悟)



岐阜県地域同窓会

開催日●2025年5月24日(土)  
会場●ハートフルスクエア-G(岐阜市)  
参加者●8名

岐阜県地域同窓会の総会を、令和7年5月24日、ハートフルの小研修室1にて行いました。総会の中で、今年度の計画、及び予算等を確認しました。会計監査より監査報告を受けた後、令和7年度の活動計画と予算について説明を行いました。今年度より飛騨支部同窓会には、9万円の助成であることを兼松理事からお伝えしていただいたことを報告いたしました。役員の中からは、助成金を毎年、きちんと申請し事業を少しずつ拡大していくべきではないか、との提案が出ました。

その後、親睦会を行いました。

(文責 古川 健次)



静岡県地域同窓会

開催日●2025年3月2日(日)  
会場●シズウエル(静岡市)  
参加者●11名

演 題：60周年事業報告書を読み解き、語り合う会  
講 師：訓覇 法子 先生

参加者の皆さまで、それぞれ日本福祉大学で学んだ事を振り返り、今日と未来の学びに何を伝えていくのか考えていきました。私たちが学んだのは、講義の時間だけではない。フィールドやサークル、仲間たちとの学び合い、学生生活の中で培い、卒業後も社会の中で学び続けているモノは何なのか。一人ひとりの主観的な思いと、未だ目指している社会像についてじっくり考える良い機会となりました。今回、スウェーデンより訓覇法子先生にたくさんの思いを導いていただきました。

(文責 高林 重誓)



静岡県地域同窓会

開催日●2025年5月18日(日)  
会場●静岡市労政会館(静岡市)  
オンライン併用  
参加者●53名

演 題：地域共生社会をめざす多様な主体の協働  
～参加支援の意味とは～  
講 師：川島 ゆり子 先生

地域社会における様々な課題が複雑多様化する中で、受け身になりがちな社会的弱者の方々の主体性を尊重した社会参画への取り組みについて学びました。

川島ゼミの学生7名と、県社会福祉協議会に勤務する同窓生による現状報告・情報交換や、参加した同窓生の実践報告等を伺いながら、親睦を深めるとともに、ふくしの未来へのバトンタッチに対する希望を感じました。

(文責 高林 重誓)



静岡県地域同窓会

開催日●2025年6月7日(土)  
会場●龍津寺(静岡市)  
参加者●25名

演 題：共感的コミュニケーションってなあに？  
～ことばにならない気持ちに、寄り添う時間～  
講 師：水野 節子 氏

静岡県中部地区の同窓会として、同窓生の勝野秀敏氏が住職を務める龍津寺で開催される「みんなの寺小屋」と共催して、開催しました。お互いの話を聴き合い、問いかけ合って、自分の中の感情や自分が大切にしていることに気づく「共感的コミュニケーション」を学びました。

参加された一般の方の中には、日本福祉大学に興味を持たれた方もいて、自身の学びとともに大学の認知度向上にもなりました。

(文責 久保田 和宏)



西三河／碧海地域同窓会

開催日●2025年5月31日(土)  
会場●香楽新安城本店(安城市)  
参加者●20名

総会と第7回キャッチ同窓会を、同窓会本部の刈田事務局長を迎え開催しました。刈田氏からは同窓会設立70周年記念事業について説明があり、また、碧海も事業参加を予定していますので、皆さまの協力で盛り上げていくことを確認しました。総会の議題もスムーズにご承認いただき懇親会に移りました。おいしい料理と近況の話で終わりの時間がすぎてしまいました。和気あいあいのお話の中で、初参加の若い同窓生の方が役員として今後協力いただけることになり、同窓会として嬉しい会となりました。

(文責 杉浦 達也)



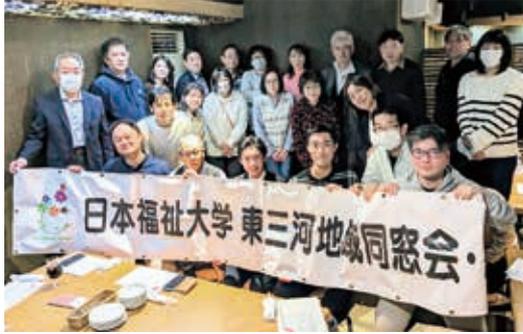
### 東三河地域同窓会

開催日●2025年3月22日(土)  
会 場●とれず(豊橋市)  
参加者●26名

2024年度の新卒業生を祝いながら、先に社会に出ている先輩方の話が聞けるチャンスとして、名刺交換会を同時開催しました。

通信教育部卒業生3名と経済学部新3年生1名そして同窓会員22名の合計26名で開催しました。また、会場を今回初めて懇親会場のみにして、気さくに交流できる環境にしました。新卒業生からは、今後や今の仕事についての相談や情報を話していました。また、先輩方も昨今の人手不足に対する情報交換など、今の状態を解決するための情報交換をしていました。短い時間でしたが、上下関係なく、気さくに率直な情報交換ができたと思います。

(文責 中西 利博)



### 東三河地域同窓会

開催日●2025年6月21日(土)  
会 場●穂の国とよはし芸術劇場  
プラット 研修室(豊橋市)  
参加者●37名

2025年度の東三河地域同窓会総会を、穂の国とよはし芸術劇場PLATにて開催しました。同窓会本部より奈良修三同窓会会長が来賓として出席されました。過去の総会では、講師による講演会や同窓会本部役員の来賓を企画してこなかったため、今回参加されることをLINEで展開してから急に参加者が増えました。

総会の後には、華乃井テラスにて懇親会を開催しました。参加者同士の情報交換では、昨今の福祉業界の人手不足等、切実な状況や困りごとを学部や職種を越えて相談していました。

(文責 中西 利博)



### 大阪地域同窓会

開催日●2024年10月12日(土)  
会 場●オリエンタルホテル・  
ユニバーサル・シティ(大阪市)  
参加者●57名

演 題：誰ひとり置ききりにしない防災とは何か

～個別避難計画の作成から見えてくる地域共生への課題～

講 師：前田 正道 氏

令和元年以来の総会を開催しました。新型コロナが蔓延し、大阪の活動は停止したままでした。再開するなら万博を前に、大阪の観光地USJのオリエンタルホテルを選び、テーマは南海トラフが叫ばれる中で災害をテーマとして、前田正道先生をお招きし講演いただきました。総会では、活動や会計報告、今年度以降の事業計画を報告し、役員も新たに選出をしました。60名弱の参加でしたが、懇親会では講師の前田先生だけではなく、家族ぐるみでの参加もあり、おいしいホテル料理をいただきながら懇親を深めることもできました。

(文責 江坂 竜二)



### 大阪地域同窓会

開催日●2025年4月27日(日)  
会 場●KNEADERS CAFE BAR GRILL  
(大阪市)  
参加者●27名

久しぶりのBBQ。同窓生の家族も含む、総勢27名の交流会が天王寺にてぎやかに実施されました。コロナ前まで毎年実施していた恒例のBBQ、雨になった日はありません。日焼けする程の晴天でした。

江坂会長の乾杯の音頭にて開始、各テーブルにて仕事の話、日々の生活の話、趣味の話などで盛り上がりました。現役の通信生も参加され、社会福祉士受験対策の質問があったり、制度の移り変わりについての議論もあり、日福生の真面目な側面も多く見られた、楽しく、暑い・熱い交流会となりました。

(文責 吉田 絵理)



### 奈良県地域同窓会

開催日●2025年6月22日(日)  
会 場●ホテルリカーレ春日野(奈良市)  
参加者●28名

演 題：社会福祉の本質を歴史と理論から紐解く

講 師：伊藤 文人 先生

2025年度総会&公開講演会を大学と同窓会の周年共同事業として開催しました。同窓生の小針康子氏(きょうされん全国理事・1985年卒)の実践報告と、社会福祉学部教授 伊藤文人先生に「社会福祉の本質を歴史と理論から紐解く」というテーマのご講演がありました。お二人のお話から、日本福祉大学の卒業生だからこそ切り開いた実践や問題意識を共有することができたと思います。伊藤先生のゼミ生も参加され、同窓生との交流の場では、OB・OGも現役の学生さんから、元気を一杯もらうことができました。

(文責 村田 清)



### 広島県地域同窓会

開催日●2025年2月4日(火)  
会 場●ぶあいぞ博多本店(広島市)  
参加者●22名

今年度も大学入試で来広されている大学教職員の方をお招きし、総会・懇親会を開催いたしました。「最強寒波到来」と言われる日ではありましたが、当日欠席もなく、教職員2名、同窓生20名の計22名の参加がありました。年齢も卒業年度、出身学部も違う参加者ではありますが、同じ大学で学んでいたという共通点で様々な話題で盛り上がりました。

来年度も皆さまに学び、楽しんでいただける企画を考えていきたいと思っています。今回ご参加の方も欠席の方もぜひ次回はご参加ください。

(文責 池野 明子)



香川県地域同窓会

開催日●2025年6月8日(日)  
会場●高松市生涯学習センター  
まなびCAN(高松市)  
参加者●21名

さる2025年6月8日(日)、高松市生涯学習センターまなびCANで、香川県地域同窓会新会員歓迎学習交流会および2025年度の総会がまりました。

Zoomの方も含め21人が参加。学習交流会では、同窓生3人がそれぞれの現場報告を行いました。3人とも職種は違いますが、人間らしく生きることを目標に仕事をされており、福祉大で学んだ建学の精神が息づいているなど思いました。

総会では大学の近況報告や事業計画、役員改選が議論され、全ての議案が承認されました。

(文責 丸山 輝裕)



長崎県地域同窓会

開催日●2025年1月25日(土)  
会場●長崎歴史文化博物館(長崎市)  
参加者●34名

演 題：社会福祉実践に求められるもの  
～日本福祉大学の実践に学ぶ～

講 師：明星 智美 先生

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したのち、全国でもトップレベルとなったインフルエンザの大流行がようやく落ち着きを見せた1月、ここしかないというタイミングで開催に至りました。5年ぶりの開催ではありましたが、幅広い年齢層の同窓生が集いました。講演会では本学の歴史についてお話をいただき、参加者一同、あらためて本学の素晴らしさや、卒業生であることに誇りを感じ、今後の発展に喜びを感じました。世代を超えた同窓生の集いを大いに楽しみ、明日の活力を得た同窓会でした。

(文責 折原 重光)



沖縄県地域同窓会

開催日●2025年2月15日(土)  
会場●沖縄県総合福祉センター(那覇市)  
参加者●24名

演 題：社会福祉実践に求められるもの  
～日本福祉大学の実践に学ぶ～

講 師：明星 智美 先生

同窓会設立70周年記念事業として、総会と同時開催の形で講演会と懇親会を開催しました。枳中時代の卒業生から現在通信教育部で学んでいる学生さんまで幅広い世代が集まり交流を深めました。

2024年度は3月に九州・沖縄ブロック事業としての通信教育部卒業を祝う会の開催も2023年度に引き続き実施する運びとなりました。

2025年度に向けては、もう少し規模感を大きくして、講演会等を開催できればと考えています。

(文責 山城 康之)



小木ゼミOG・OB会

開催日●2024年7月27日(土)  
会場●名古屋キャンパス  
参加者●24名

暑い中でしたが、20名余り参加いただけました。井戸美智代さんによる「鼻笛」の演奏と実技の体験会、4名の地方議員(福岡市：中山郁美さん、大阪府泉大津市：森下巖さん、大阪府忠岡町：是枝綾子さん、豊橋市：鈴木みさ子さん)の実績を中心としたリポートとシンポジウム「少子化時代の子育て・子育て」子どもを中心とした児童館や学童保育についての取り組みの状況をお話いただきました。初めて参加の方もいらっしゃいましたが、和気藹々と過ごすことができました。

(文責 安藤 亨)



KOBAZEMI85

開催日●2024年12月14日(土)～15日(日)  
会場●姫路市休養センター香寺荘(姫路市)  
参加者●6名

今回も例年同様、なかなか日時や行先は決まらず、でもなんとか年内に開催でき、かなり楽しんで、やっぱりいいな～と実感した2日間でした。ふらっと入った姫路の播州酒場は大正解で昼から幸せな一杯。夜は温泉でつるつるになり、国産牛のしゃぶしゃぶで満腹に。保養センター万歳！翌日はガイドさんに案内してもらいながら国宝姫路城見学。膝や股関節の痛みに負けず、まだなんとか天守閣までのぼれました。

次年度の開催も話題になりましたが、未決定。またぼちぼち候補地を考えたいね～。

(文責 坊岡 峰子)



みそしるの会

開催日●2024年10月29日(火)  
会場●名古屋クラウンホテル(名古屋市)  
参加者●14名

小雨の中、遠くは山口、岩手からJR名古屋駅へ集合。今回より観光等は“やめ”にしたので、タクシーでホテルへ。早かったので、ゆっくり温泉に入ったりして宴会。食事しながら、各々の近況報告。まだ現役で働いている人もいれば、地域活動、ボランティア、趣味の活動と、皆さん元気に何とか励まれています。でも、この一年間に二人の方がなくなられ、また体調がすぐれず欠席の連絡も多く、卒後55年の重みも感じました。二次会も話は尽きず、次は静岡と決め、散会しました。

(文責 稲垣 保子)



みそしるの会in名古屋 2024.10.29～30

バンブーの会

開催日●2025年1月25日(土)  
会 場●博多炉端 炉邸(福岡市)  
参加者●5名

同窓会では、久しぶりの再会を楽しみながら、美味しいお酒と食事を囲んで意見交換を行いました。それぞれの職場は異なるが、同じ福祉業界で働く者同士として、直面している課題や成功例、働き方の違いを共有することで、新たな視点や学びを得る貴重な機会となりました。また、働くことの充実感や成長に加え、心身をリフレッシュするための息抜き的重要性についても話し合いました。同窓会は単なる再会の場ではなく、異なる職場での経験や視点を通じて、新たな発見や成長を得られる場でもあると実感しました。また集まりましょう。

(文責 佐藤 陽子)



ヤジエセツルメント84  
同期会

開催日●2025年2月7日(金)～8日(土)  
会 場●ナガシマリゾート(桑名市)  
参加者●9名

2年に1回程度、幹事を交代しながら全国各地で開いています。今回の幹事「拓ボ」を中心に幼児パートから老人パートまで還暦前後の元セツラー男性4人、女性5人が集合。スパーランドのジェットコースターでは、尻込みする男性陣を尻目に大半の女性が勇ましく挑戦。

夜、雪が降りしきる中での幻想的な「なばなの里」イルミネーション観覧をはじめ、露天風呂や演歌ショーなども満喫しました。若かった頃を振り返り、職場での苦難や歩んできた人生の喜びについて語り合い、記憶に残る同期会となりました。

(文責 山田 貴己)



アーチェリー部OB会

開催日●2025年2月16日(日)  
会 場●美浜キャンパス  
参加者●30名

美浜キャンパスで現役のアーチェリー部の学生とOB・OGの約30名が集い、第40回慰霊射会、OB・OG会を開催しました。友愛の丘で射会の表彰式と献花を行い、生協「食べ菜」で親睦会を行いました。

バス事故でお亡くなりになった大杉さんのお兄さんと現役の皆さまとも楽しく過ごすことができました。現役学生の今年度全国大会出場など活躍の報告もあり、OB・OGたちも励まされました。久しぶりに知多奥田駅に降り立ったOBは大学前にできた美浜町運動公園陸上競技場やSALTOを含め環境が大きく変わった美浜キャンパスに驚いていました。

(文責 君田 竜一)



安藤クラス情報交換会

開催日●2025年2月18日(火)  
会 場●オンライン開催  
参加者●10名

参加メンバーの近況報告を実施し、それぞれの職場でのソーシャルワーク実践などを共有しました。それぞれの職場の現状を把握した後に、安藤先生から「売春防止法の改正と女性支援新法について」と題して講義が行われました。一方的に悪者にされていた売春をする女性を、支援が必要な人として支援対象者にした女性支援新法について、法律や現状の課題、実際に相談業務で携わった事例などをもとに、講義は行われました。また、同じ安藤クラスの卒業生のなかには弁護士がおり、その弁護士が風俗で働く女性の債務整理を支援する「風テラス」にいることや、その風テラスの活動の一部について紹介がされました。その後、メンバーでグループ討議を行い、内容理解を深める時間を持つことができました。

(文責 藤井 司)



1976年度卒日本福祉大学  
金田ゼミナール同窓会

開催日●2025年3月2日(日)  
会 場●中国料理王宮名駅店(名古屋市)  
参加者●7名

我が76年度卒金田ゼミナール同窓会は、2023年11月に第2回同窓会懇親会を、姫路で行いました。その際、次の第3回同窓会を豊橋でしよう!と約束して別れました。そして2025年3月2日に、その準備のため写真に写る7名によって、名古屋駅の中国料理店王宮で行いました。そこで第3回金田ゼミナール同窓会を2026年4月25日・26日に豊橋で開催することを決めました。大きな内容は江戸時代の東海道

吉田宿散策ウォーキングとしました。そして、この7名が実行委員会になりました。

(文責 坂野 一彦)



歴代大谷ゼミ同窓会

開催日●2025年3月8日(土)  
会 場●Tefu Tefu名駅店(名古屋市)  
参加者●22名

今年度の大谷ゼミ同窓会は14期生が幹事となって名古屋駅近くのお店にて開催となりました。今回は大谷先生と卒業生17名、現役生4名の計22名での開催となりました。大谷先生は1年間海外へ研究に行かれており、現役生は同窓会で会うのが初めてとなりました。たくさんの先輩に囲まれて緊張していましたが、先輩と同郷だった方もいて共通の話で仲良くなっていました。また初参加となったメンバーもたくさんいて、先輩後輩関係なくお互いの近況報告をして盛り上がり楽しむことができました。

大谷先生の誕生日がもうすぐだったということもあり、14期生全15名で誕生日プレゼントを用意させていただきました。ハンカチやカップ、紅茶・珈琲セットなどを贈らせていただきました。この同窓会は来年度以降も続くと思いますのでもっと多くの人数が揃って楽しめるように、また多くの繋がりができるようにしたいと思います。

(文責 堀崎 洋夢)



安藤クラス情報交換会

開催日●2025年3月18日(火)  
会場●オンライン開催  
参加者●7名

参加メンバーの近況報告を実施し、それぞれの職場でのソーシャルワーク実践などを共有しました。それぞれの職場の現状を把握した後に、それぞれのトピックを共有しました。

特に、病気のため在宅、入院中の子ども達がスポーツを楽しむための活動である「ブラックソックス」にボランティアで参加したメンバーや、メンバーが勤務している団体における里親団体関連の情報、奈良県の児童虐待に関連する裁判が明日結審される職場の話などがありました。いずれも、それぞれが取り組む活動であり、社会に大きな影響を与えている活動であることを知り、ソーシャルワークの幅広さを改めて実感しました。

(文責 藤井 司)



71年2部Dクラス・旧交会

開催日●2025年3月26日(水)~27日(木)  
会場●アイリス愛知(名古屋市)  
参加者●32名

同窓生全員が喜寿を迎える今年、最後の同窓会にしようと、他クラスの方々にも呼び掛けて開催しました。1971年の卒業以来、実に半世紀以上経っていますが、すぐに昔に戻ってニックネームで呼び合い、再会を喜びました。

遠方から列車を乗り継いで来た人、また体調が万全でない人や家族の介護をしている人など、それぞれ大変な中での参加でしたが、皆さま「来て良かった」「元気をもらった」「また会いたいね」と帰って行きました。

(文責 澤田 きよみ)



あしあと  
(1970年入学1年クラス)

開催日●2025年4月17日(木)  
会場●ルプラ王山(名古屋市)  
参加者●17名

本同窓会も11回を迎えました。今回も福田先生をお迎えして17名の参加でした。この1年、大きな病から復帰したり、これから治療に入る人が何人かいて、元気な顔を見て安心したり、治療が始まる人を励ましたり、医療の話題でもちきりでした。学生時代を懐かしんでいた同窓会も回を重ねることで新たな繋がりが生まれてきたようです。

これからもいたわり合い、励まし合い、しぶとく生きていきましょう。福田先生から「ポツダム宣言」の宿題ができました。どうしよう!

(文責 水野 誠)



森靖雄ゼミナール同窓会

開催日●2025年4月19日(土)  
会場●東海キャンパス  
参加者●20名

この度18回目の 森ゼミ同窓会を開催しました。毎年4月の第3土曜日に定期開催しております。毎年日本福祉大学東海キャンパスでの開催ですが、ここ数年はZoomでも参加できるようになったので、遠方の方も参加できるようになりました。卒業してから随分時間が経ちましたが、ゼミ旅行の話や学生時代の話で盛り上がりました。90歳を迎えられた森靖雄先生は本当にお元気で、今年は森ゼミ同窓会メンバーで卒寿のお祝いができたことは何よりも光栄でした。

来年も森ゼミ同窓会を開催したいと思っていますので、是非とも多くのOB・OGの皆さまにお会いすることができればと願っています。

(文責 大田 清香)



安藤クラス情報交換会

開催日●2025年4月22日(火)  
会場●オンライン開催  
参加者●7名

参加メンバーの近況報告を実施し、それぞれの職場でのソーシャルワーク実践などを共有しました。新年度に入ってから、制度改正などでその対応に追われる職場や、事業所を拡大したが送迎の援助規定のために送迎用の職員を確保しなければならなくなった職場、春先ということもあり精神科の入院患者数が増えていて対応に追われている職場、当事者がお互いにエンパワーされるカフェを立ち上げた初期メンバーの入退院がありスタッフ数も少ないため頑張っているボランティア先、医師の開業に伴う新規患者の受け入れが想像以上に多く嬉しくも忙しく悲鳴があがっている職場、そして、理想と現実のなかでソーシャルワーカーの存在意義を考えることの多い職場、補助金を獲得できずにスタッフの賃金の捻出に苦労する職場など、さまざまな職場の現状が語られました。

(文責 藤井 司)



あいむの会

開催日●2025年4月25日(金)  
会場●サイプレスガーデンホテル(名古屋市)  
参加者●16名

退職された園長先生と現役、OBの先生を合わせて16名が集まり、交流会を開催しました。1年ぶりの再会ということもあり、お一人おひとりが近況や仕事に対する思いなどをじっくりお話されました。その中でも先輩の先生方が、退職後を生き生きと生活してみえるお話には元氣と勇気をいただきました。また、情報交換では、母校での様々な企画の紹介がありました。母校への愛情と同窓生同士の温かいつながりを感じることができた楽しいひとときでした。

今後もこの会を大切にしていきたいと思いました。

(文責 加藤 由香)



九州学ゼミ

開催日●2025年5月5日(月)  
会 場●川棚温泉など(下関市)  
参加者●6名

5月5日こどもの日、山口県下関市を訪問。まずは、川棚温泉お多福で熱々の瓦そばと海鮮丼を堪能。土井ヶ浜ミュージアムでは、約2000年前の弥生人骨が300体以上発掘されており、遺跡の人骨レプリカ展示場はとてもしリアルで人骨マニアの明星先生の眼がハートでした。帰りは、道の駅豊北で買物、海辺のカフェでティータイム。

仕事、介護、子育て、忙しいそれぞれの日常の愚痴を移動時間も語り合い、頑張っている仲間がいることの有難さを再確認。元気をチャージする時間でした。(文責 村井 麻木)



ワンダーフォーゲル部

開催日●2025年5月11日(日)~12日(月)  
会 場●はづ別館(新城市)  
参加者●9名

5月11日・12日、愛知県新城市の「はづ別館」に集合しました。眼下に流れる宇連川を眺めながらの露天風呂、周囲の山々も新緑でとても美しい季節でした。夕食では奥三河のおいしい食材を味わい、深夜まで話は尽きません。

卒業以降ほぼ年に一度の企画ですが、毎回みんなで泣いたり笑ったりしながら、気づけば50余年のお付き合いになりました。「気の置けない仲間」とはこんなことでしょうか。

今回もそれぞれのお土産を胸に帰路につきました。また来年会いましょう。(文責 肥田 康彦)



井戸田セツルメント77年入セツ会

開催日●2025年6月7日(土)  
会 場●クインテントラレー(名古屋市)  
参加者●15名

昨年9月に同窓会を呼びかけ、年明けには26名の仲間とライン等で繋がることができました。そこで、単学年で初めて同窓会を開催しましたが、卒業以来40数年ぶりに会う仲間たちは、外見は変わっていましたが、声質や話し方は変わっていません、すぐ学生時代に戻りました。

2次会ではカラオケ、翌日の3次会では林中を探索。実際に住んでいた下宿を見つけ、タイムスリップ。惜しみながら、それぞれ現実の世界に帰りました。あつという間の二日間でした。今回を記念し、文集を発行し全員で交流しました。(文責 中根 俊行)



安藤クラス情報交換会

開催日●2025年5月20日(火)  
会 場●オンライン開催  
参加者●9名

参加メンバーの近況報告を実施し、それぞれの職場でのソーシャルワーク実践などを共有しました。それぞれの職場の現状を把握した後、それぞれのトピックを共有しました。

今回の参加者から里親になり里親認定証受け取った報告がありました。社会福祉士が里親になることは専門的な知識と経験から、子供達を支えることができる等話し合いました。

また安藤先生から、里親制度の歴史がある欧米の課題について話がありました。里親の虐待など、情報交換会参加者が考えてもいない現実や、今後日本で里親制度が進むと欧米のような課題がでてくると話があり、里親制度について内容理解を深めることができました。(文責 藤井 司)



語ろう会 (1978年度社会福祉学部第2部Eクラス同窓会)

開催日●2025年5月24日(土)  
会 場●湯田温泉・防長苑(山口市)  
参加者●10名

昨年に続き、2回目の語ろう会(Eクラス同窓会)を湯田温泉(山口県)で開催しました。大学時代の名簿を活用した事前準備で、Eクラスの3分の2がLINEで再び繋がり、今回は千葉から宮崎まで10名が参加しました。卒業以来43年ぶりの再会となった参加者も4名おり、近況や懐かしい思い出、卒業後の歩みについて語り合いました。

時代や社会環境が大きく変化する中、医療や福祉などの現場で懸命に歩んできた仲間の話に励まされ、改めて仲間とのつながりのありがたさを感じた同窓会となりました。(文責 近藤 修司)



山根ゼミ2002

開催日●2025年6月14日(土)  
会 場●カフェ・ル・ドモ(名古屋市)  
参加者●16名

大学を卒業して丸20年経った今年、基礎ゼミの懐かしい顔ぶれが栄に会しました。

春ゼミやプライベートの写真を持ち寄り、昔話に花を咲かせたり、20年ぶりの自己紹介をして各々の近況を報告しあいました。まるで20年前にタイムスリップしたかのように学生の頃の記憶が蘇り3時間という時間があつという間に過ぎていきました。多くの方が福祉に関連する仕事に携わっておられ、多分野との連携が期待できる“ふくし”を学んだ意義を感じました。ちょうど今年で山根先生がご退官されるということで記念すべき同窓会になりました。また、みんな笑顔で再会しましょう!!(文責 藤原 康太)



# 日本福祉大学の就職支援について

## 2024年度 卒業生の進路・就職結果

2024年度（2025年3月卒採用）の全国大卒の有効求人倍率は1.75倍と、昨年度1.71倍より0.04ポイント上昇し、依然として企業の採用意欲は上がってきている。企業別で見ると、300人未満企業は6.50倍（前年6.19倍）で0.31ポイント上昇、300～999人企業は1.60倍（前年1.14倍）で0.46ポイント上昇、1,000～4,999人企業は1.14倍（前年1.14倍）で変動なし、5,000人以上企業は0.34倍（前年0.41倍）で0.07ポイント低下と、従業員規模別に異なる動きが見られた。

2019年度から同窓会と大学の共同事業として「Uターン就職支援制度」を始め、地方出身学生のUターン就職活動に係る費用の一部を援助しています。一人でも多くの学生が将来につながる就職・進路を決定できるよう支援を行っていきます。

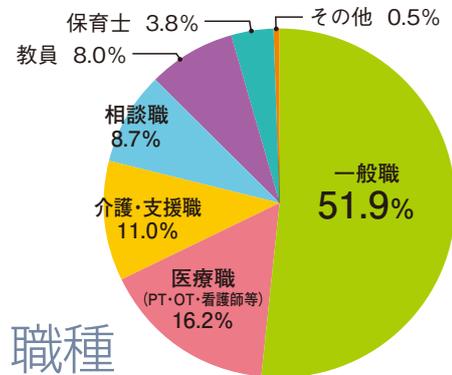
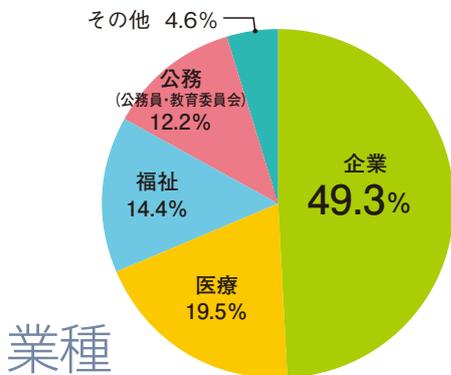
【2024年度卒業生と過年度卒業生の就職実績】

年度	2022年度	2023年度	2024年度
本学卒業生数 (A)	1,445名	1,316名	1,230名
就職希望者数 (B)	1,359名	1,237名	1,167名
就職決定者数 (C)	1,337名	1,212名	1,131名
進学決定者数 (D)	32名	33名	25名
卒業生就職率 (C) / (A)	92.5%	92.1%	92.0%
就職希望者就職率 (C) / (B)	98.4%	98.0%	96.9%
卒業生進路決定率 ((C) + (D)) / (A)	94.7%	94.6%	94.0%

【2024年度卒業生の学部別就職実績】

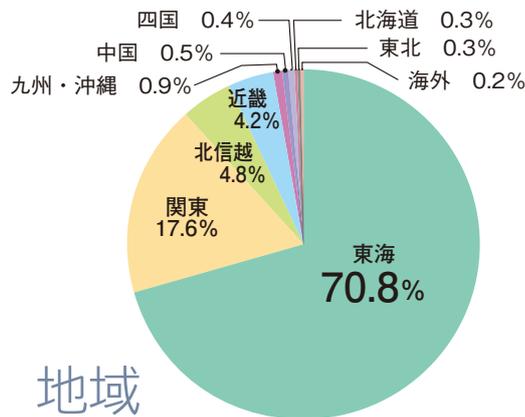
学部	就職希望者数	就職者数	就職率
社会福祉	305	297	97.4%
経済	176	167	94.9%
国際福祉開発	49	43	87.8%
教育・心理	230	219	95.2%
健康科学	163	163	100.0%
看護	100	100	100.0%
スポーツ	144	142	98.6%
本学全体	1,167	1,131	96.9%

【2024年度卒業生の就職先業種・職種】



【2024年度卒業生の就職先都道府県(本社都道府県)】 ※本社所在地でカウント

区分	人数	区分	人数	区分	人数	区分	人数
北海道	3	東京	170	滋賀	3	香川	3
青森	1	神奈川	14	京都	6	愛媛	1
岩手	0	新潟	2	大阪	32	高知	0
宮城	0	富山	7	兵庫	7	福岡	7
秋田	1	石川	4	奈良	0	佐賀	1
山形	1	福井	4	和歌山	0	長崎	1
福島	0	山梨	0	鳥取	1	熊本	0
茨城	0	長野	37	島根	2	大分	0
栃木	1	岐阜	51	岡山	2	宮崎	0
群馬	1	静岡	30	広島	1	鹿児島	0
埼玉	8	愛知	683	山口	0	沖縄	1
千葉	5	三重	37	徳島	1	海外	2



幅広い専門知識と、高度なマネジメント能力を持つ人材を養成

# 日本福祉大学大学院

1969年に、日本で初めて「社会福祉学」の名称を持つ研究科を開設し、6研究科8専攻を設置しています。医療、福祉、教育の現場や行政機関、国際機関等で働く社会人を中心とした約250名の大学院生がより高度な研究に取り組み学びを深めています。

大学院改革の取り組みのひとつとして、本学が連携及び協力に関する協定書を締結した国立長寿医療研究センターとタイアップした大学院共通科目を2025年度より開講しています。

## ◆ 修士課程 ◆ 標準修業年限2年

通学課程	
<b>医療・福祉マネジメント研究科 医療・福祉マネジメント専攻</b> 名古屋キャンパス ※夜間制 授与学位：修士（医療・福祉マネジメント） ◇医療・福祉・介護現場での課題解決を担う専門職の養成に主眼をおいた新カリキュラムが2025年度スタートしました。 ◇名古屋キャンパスでの平日夜間開講のほか、土曜日に集中講義を多数開講しています。 ◇長期履修制度、早期修了制度による多様な学修が可能です。 ◇修士論文に加え、リサーチペーパーによる修了制度を導入しました。 ◇「社会人入学試験」により入学した方を対象とする学費減免制度を実施しています。【最大2年間、授業料（年額）から10万円を減免】	<b>社会福祉学研究科 心理臨床専攻</b> 名古屋キャンパス ※夜間制 授与学位：修士（心理臨床） ◇名古屋キャンパスでの平日夜間および土曜日（集中講義など）の開講により（学内・学外実習を除く）、働きながら修学が可能です。 ◇（公財）日本臨床心理士資格認定協会第1種指定校として認定を受けているため、修了することで臨床心理士資格試験の受験資格を得ることが可能です。 ◇公認心理師法で定める大学院における必要な科目を開講しています。
<b>看護学研究科 看護学専攻</b> 東海キャンパス 授与学位：修士（看護学） ◇看護の主要7領域を備え、看護職者の臨地実践力のみならず研究力・教育力のスキルアップに最適なカリキュラムを提供しています。 ◇個々に応じた学習プログラムを組み立てることが可能です（長期履修制度の活用、オンライン授業等）。 ◇「一般入試」「社会人特別選抜入試」を行います。また、本学看護学部卒業生（見込み含む）が対象の「学部特別推薦入試」も実施します。「社会人特別選抜入試」では看護実践の経験を生かすことのできる書類審査を導入しています！	<b>スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻</b> 美浜キャンパス 授与学位：修士（スポーツ科学） ◇スポーツ科学に関わる理論の探求と研究により学際的かつ実践的な研究成果を構築し、スポーツ科学の発展に寄与できる高度専門職業人の養成をめざします。 ◇美浜キャンパス「SALTO」の各種実験室をはじめ、充実した演習・研究環境です。 ◇長期履修制度、オンライン授業など社会人・遠方者も学びやすい環境が整っています。
通信課程	
<b>社会福祉学研究科 社会福祉学専攻（通信教育）</b> 授与学位：修士（社会福祉学） ◇2025年度、新カリキュラムスタート！講義・演習は、インターネット上の掲示板を中心に開講し、現職社会人も時間を有効活用しながら修学可能です。また、年6回、週末を利用したスクーリングを実施しています。 ◇質の高い修士論文執筆に向けたきめ細かな指導体制を整備しています。 ◇医療・福祉・教育分野を中心に、20～70代まで幅広い年代の方が在学しています。 ◇全国に広がる在学生・修了生のネットワークを有しています。	<b>国際社会開発研究科 国際社会開発専攻（通信教育）</b> 授与学位：修士（開発学） ◇インターネットを活用し、いつでも世界中のどこからでも大学院の学びに参加することができます。各国の開発現場で働く社会人にとって学びやすい大学院です。 ◇多様な背景を持つ異なる世代の社会人が在学。オンライン上でのやりとりやスクーリングを通して、院生同士、そして教員や修了生ともつながりを持つことが可能です。 ◇日本、フィリピン、インドなど国内外でスクーリングを実施します。

## ◆ 博士課程 ◆ 標準修業年限3年

通学課程	通信課程
<b>福祉社会開発研究科 社会福祉学専攻</b> 名古屋キャンパス 授与学位：博士（社会福祉学） 社会福祉の専門研究者として自立して研究を進めることができる能力を養い、将来、社会福祉研究・教育の中心的な担い手となる人材の養成を目指すとともに、社会福祉の現場で社会福祉学を基盤とする高度な研究能力、指導力を備えた専門職業従事者として関連領域の専門職と協働して活躍できる人材の養成を目標としています。	<b>福祉社会開発研究科 国際社会開発専攻（通信教育）</b> 授与学位：博士（開発学） 世界中からアクセスできる通信制大学院として、高い成果を認められてきました。教員スタッフには社会開発分野の現場出身の研究者を多く擁し、海外の有力拠点大学や各地のリソースパーソンとも提携するネットワーク型の指導体制が築かれています。社会開発・開発教育の専門家を育成できる高度研究者・指導的専門家の育成を目指しています。

※福祉社会開発研究科 福祉経営専攻は、2026年度以降の学生募集を停止します。

## 【入学試験について】

修士課程（※）は例年11月・2月に、博士課程は2月に入学試験を実施します。詳細は大学院ホームページをご覧ください。

※社会福祉学研究科 社会福祉学専攻（通信教育）は2月のみ



## 資料請求・お問い合わせ先

【福祉社会開発研究科／社会福祉学研究科／医療・福祉マネジメント研究科／国際社会開発研究科】

名古屋キャンパス TEL：052-242-3050 E-Mail：injim@ml.n.fukushi.ac.jp

【看護学研究科】 東海キャンパス TEL：0562-39-3811 E-Mail：kango-g@ml.n.fukushi.ac.jp

【スポーツ科学研究科】 美浜キャンパス TEL：0569-87-2322 E-Mail：sp-g@ml.n.fukushi.ac.jp



# 日本福祉大学通信教育部 (福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科) のご紹介

第37回 (2024年度) 社会福祉士国家試験結果において、17年連続全国大学第1位となる622名 (新卒: 386名 既卒236名) の合格者が本学通信教育部から誕生しました。これは全国の全ての社会福祉士を養成する大学の中で第1位となる実績です。

また、2024年度新卒者の合格率においても81.6%と全国平均 (56.3%) を大きく上回りました。資格取得はひとつのゴールですが、現場で社会福祉士として活躍するスタートラインに立ったとも言えます。本学では「資格取得後」も見据えた現場で活躍するための専門職養成を心掛けています。これから資格取得をめざす方は、ぜひ志の高い仲間と一緒に本学で学んでいただきたいと思います。

## ■ 日本福祉大学通信教育部の特徴!

- ① 学歴に応じた学年からの編入が可能です。
- ② 過去に本学で修得した単位は一部科目の個別単位認定が可能です。※1
- ③ 相談援助業務の実務経験が1年以上ある方は社会福祉士もしくは精神保健福祉士現場実習の免除が可能です。※2
- ④ インターネット学習とスクーリングの組み合わせで自分のライフスタイルに合わせて単位修得が可能です。
- ⑤ オンデマンド科目はスマートフォン・タブレットでも視聴が可能です。
- ⑥ スクーリングは忙しい社会人の方に合わせて、全国16都道府県17都市およびオンラインで土・日の2日間に開講します。



24時間好きな時間に受講でき、何度も繰り返し視聴できるオンデマンド学習

こころの理解を深め、職場や家庭での支援に活かす

**「認定心理士」好評開講中!**

2025年度 **800名以上**が入学!!

※1 個別単位認定は科目内容の審査が必要のため、認定を希望する場合は出願前に「個別認定申請書」を出願書類とあわせてご提出ください。

※2 出願時に「実務経験証明書」の提出が必要になります。詳しくは「出願手続要項」をご覧ください。

## 日本福祉大学中央福祉専門学校 ( 介護福祉士科・社会福祉士科通信課程・言語聴覚士科・精神保健福祉士短期養成通信課程 )

日本福祉大学中央福祉専門学校は1989年 (社会福祉士・介護福祉士国家試験第1回実施年) に開設された、一般養成施設です。社会福祉士・言語聴覚士・介護福祉士・精神保健福祉士をめざす方に、ぜひお声を掛けてください。

### ■ 日本福祉大学中央福祉専門学校の特徴

- ① 様々な国家試験対策で高い合格率を達成!  
第37回社会福祉士国家試験合格率は (※全国平均56.3%)  
【社会福祉士科】 **85.6%**  
第27回言語聴覚士国家試験合格率は (※全国平均72.9%)  
【言語聴覚士科】 **90.9%**  
第37回介護福祉士国家試験合格率は (※全国平均78.3%)  
【介護福祉士科】 **90.6%** (留学生を含む)
- ② 短期間 (精神保健福祉士9か月・社会福祉士1年6か月・言語聴覚士科および介護福祉士科2年) で受験資格を取得可能。
- ③ 安価な学費  
1年6か月間の社会福祉士通信課程は**30~40万円台**。  
9か月間の精神保健福祉士短期養成通信課程は、実習免除の場合、**20万円台**。
- ④ 実務経験者は実習費及び実習履修は免除 (社会福祉士科・精神保健福祉士通信課程)。
- ⑤ 社会福祉士通信課程の場合、大学等で取得した修得単位が開講時間の半分まで読み替え (単位認定) 可能。

### ■ 募集学科/定員

- 介護福祉士科 (昼間 2年/80名)
- 社会福祉士科 通信課程 (1年6か月/300名)
- 言語聴覚士科 (昼間 2年/40名)
- 精神保健福祉士短期養成通信課程 (9か月/150名)

### 精神保健福祉士短期養成通信課程

修業年限 9か月 (4月~12月末)

定員150名

テキストを用いた自宅学習とスクーリングおよび実習(※)で、短期間で精神保健福祉士の資格取得を目指せます。

短期養成施設の受講生で最も多いのが「社会福祉士」国家資格をお持ちの方が「相談援助のダブル資格」として精神保健福祉士国家資格を目指すケースです。相談援助職として活躍の場が広い「社会福祉士」とあわせて、「精神障害」の専門性を身に付けることで、幅が広がります。

※相談援助業務の実務経験を1年以上有する方は実習および実習指導の履修が免除になります。

・本校全ての学科・課程が専門実践教育訓練給付金の指定講座です。(最大で学費の80%受給)

※精神保健福祉士短期養成通信課程を除く

同窓生 (日本福祉大学・大学院、専門学校、付属高校) ご自身が受験されたり、同窓生のご紹介による受験の場合、検定料免除 (社士通信課程 15,000円、精神通信課程 10,000円、その他の学科 20,000円) の特典が受けられます。詳細は資料をご請求ください。

資料請求・お問い合わせ先

日本福祉大学中央福祉専門学校 〒460-0012 名古屋市中区千代田 3-27-11  
TEL:052-339-0200 FAX:052-339-0201 E-mail chuo@ml.n.fukushi.ac.jp



## 大同窓会 参加団体からの メッセージ

(8ページからの続き)

### 森靖雄ゼミナール同窓会

このたび日本福祉大学同窓会設立70周年を迎え、記念講演会、祝賀懇親会が開催されます。あわせて、長年私たちを導いてくださった森靖雄先生が90歳を迎えられる節目の年でもあり、感謝を伝える絶好の機会です。ぜひご参加ください。

(文責 大田 清香)

### 日本福祉大学ラグビー部OB会

#### ラグビー部創部50周年記念事業キックオフ!

ラグビー部は2026年に創部50周年を迎えます。その節目に向け、ラグビー部の他大学交流試合にOB/OGが参加し再会と交流を深めるなど、部員とOB/OGが共に周年記念事業への機運を高めつつあります。11月2日の大同窓会では、ラグビー部の長い歴史を築いてきた幅広い世代のOB/OGが集い、有志による創部50周年記念事業委員会を立ち上げたいと思います。ぜひご参加ください。

(文責 山本 鉄晶)

### 愛知県公立小・中・高・市立特別支援学校教職員同窓会(あすなる会)

#### 教育講演会

〈演題〉「ウェルビーイングな学校をつくるー学校福祉と学校福祉士ー」

〈講師〉鈴木 庸裕 先生(日本福祉大学 教育・心理学部 教授)

「学校福祉」をテーマとした講演会を開催します。教職員志望、SSW・SC志望の学生さんにも参加を呼び掛け、幅広い学び合いと交流の機会とします。

〈参加申込〉10月16日(木)までに、(1)氏名(2)学部(3)居住県・市(4)職種(5)連絡先電話番号をお知らせください。新卒者(2025年3月卒)の方は学部・研究科名をお知らせください。

(文責 木内 正範)



## 大同窓会で校歌を歌いましょう!



11月2日(日)の祝賀懇親会(東海キャンパス)で皆さまと歌うほか、11月1日(土)のキャンブファイアー企画(美浜キャンパス)でも校歌を歌う機会がある予定です。懐かしい校歌を思い出してください!

(三) 大いなる道一すじに  
ゆたかなる人のしあわせ  
われら 築かん(われら 築かん)  
ここに 真理 世に満ちて  
讃(う) 日本福祉大学

(二) 進みゆく世にさきがけて  
進みゆく人のしあわせ  
われら 究めん(われら 究めん)  
ここに 力日々 湧きて  
尽きず(尽きず) 日本福祉大学

(一) 新しき国 生れ出でて  
新しき人のしあわせ  
われら 願えり(われら 願えり)  
ここに するべ空高く  
建てり(建てり) 日本福祉大学

### 日本福祉大学校歌

作詞 中村宗信  
校閲 各務虎雄  
作曲 内本 実



校歌は日本福祉大学の  
ホームページで  
聴くことができます

◀ 校歌YouTubeリンク

<https://www.n-fukushi.ac.jp/about/outline/songs/>

#### 大同窓会参加の皆さまへ

宿泊相談(個人向け)の窓口  
を紹介します。右記まで、  
直接ご相談ください。

株式会社JTB 名古屋教育事業部  
担当: 阪(saka)様  
E-mail: a\_saka344@jtb.com

〒453-6106  
名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート6階  
支店TEL:052-586-2311 支店FAX:052-586-2355

# 同窓会維持会費について

- ・払込取扱票は発送宛名を兼ねております都合上、会費納入記録の有無に関わらず皆さまにお送りしています。
  - ・同窓会カード(三菱UFJニコス・VISA)をお持ちの場合、払込取扱票での維持会費のお振り込みは不要です。
- 10月のご利用分としてカード会社から引落としとなります。詳細はカードご利用明細をご確認ください。  
カード引き落とし対象:9月30日時点でカードご契約の方

★お納めいただいた最終年度は宛名の払込用紙の#に続けて印字されております。(例: #2022...2022年度分まで納入済) → 宛名印字完了から会報発送までの間にお振り込みいただいた場合は、最新のお振り込み状況が反映されていない場合があります。何卒ご了承ください。



- ◆本同窓会は、寄付金控除の対象となる団体ではありませんのでご了承ください。なお、税制上の優遇措置をご希望の場合は、日本福祉大学への寄付をお願いいたします。(詳細は、大学ホームページをご参照ください)
- ◆1年度分(¥1,000)から納入できます。(8月号は当年度分、3月号は翌年度分に充当します)
- ◆複数年度分(¥1,000×年数分)を納入される場合は、払込用紙に必ず納入したい年度をご記入ください。(過年度分の納入も可能です。会費制度が開始された1995年度以降でご指定ください)
- ◆ご記入いただいた年度の同窓会維持会費を既に納入済の場合は、翌年度(以降)分に充当します。(同一年度分を二重で頂戴することはありません。納入いただきました会費の返金には対応しておりません)
- ◆インターネットバンキングからの納入も可能です。(振込手数料はご負担ください) お名前の前に同窓会員ID(宛名の下に記載)を必ず入力してください。また、通信欄へ入力可能な場合はご希望の納入年度をご入力ください。

①銀行名・支店名で振込  
(都市銀行・地方銀行・ゆうちょ銀行など)

銀行名	ゆうちょ銀行
支店名	〇八九(ゼロハチキュウ)
種別	当座
口座番号	0065485
口座名義	日本福祉大学同窓会

②記号・番号で振込(ゆうちょ銀行のみ)

記号	00890
番号	65485
口座名義	日本福祉大学同窓会

## 皆さまからご協力いただいた同窓会維持会費の主な支出内訳

同窓会事業…卒業生の交流・親睦、大学との連携	在学生支援…同窓会推薦入試学生生活支援金、
活動援助金…全国57地域同窓会、認定同窓会等	Uターン就職援助金、卒業記念品、卒業お祝い関連行事
会報出版・郵送…同窓会会報8月号、3月号	懸賞論文事業奨励金

同窓会維持会費についてご不明な点がございましたら、同窓会事務局までお問い合わせください。

## 安全・安心の1枚 日本福祉大学同窓会カード!

※三菱UFJニコスと提携

### 同窓会カードのメリット

- ゴールドカード年会費 永年無料!**  
同窓会維持会費(1,000円/年)をお支払いいただく<sup>(※)</sup>ことで、ゴールドカード年会費が無料になります。  
◆ゴールドカード会員特典:空港ラウンジの利用など  
※同窓会維持会費は毎年11月上旬に自動引き落としさせていただきます。
- ポイント利用いろいろ!**  
商品への交換、キャッシュバック、提携他サービスへのポイント移行ができます。

- 持っているだけで在学生支援!**  
同窓会カード利用額の一部は同窓会に還元され、在学生支援や同窓会活動の充実に役立ちます。
- 安心の各種保険サービス!**  
海外旅行保険・国内旅行傷害保険・ショッピング保険付帯  
・詳細はカード会社のHPにてご確認ください。
- ETCカード・家族カードも作成可能!**  
同窓会カードがお手元に届いてからお手続きください。

### お申し込み方法

- 同窓会カード申込専用サイトよりお申し込みください。
- ・カードの審査・発行にはお時間を頂戴します。
  - ・受付はインターネットのみとなります。
  - ・郵送ではお申し込みいただけませんのでご了承ください。

同窓会カード

検索



## 同窓会カード入会キャンペーン

2025年9月末時点のカード会員の方の中から抽選で5名様にクオカード(10,000円分)プレゼント!

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

# 「資格取得」や「福祉、心理、経営・マネジメント」 を学び直すなら 日本福祉大学 通信教育部

卒業生は  
入学選考料・  
入学金が  
無料!

## Well-being for All

融合し共鳴する学びで、福祉は、深く、強くなる。

2025年度800名以上が入学!

こころの理解を深め、職場や家庭での支援に活かす  
「認定心理士」好評開講中!  
科目等履修生でも取得可能



社会福祉士国家試験 **17年連続** 合格者数全国大学 **第1位**の実績  
精神保健福祉士国家試験 **15年連続**

### 忙しい社会人に支持される 学習システム

※添削課題や科目修了試験は自宅のパソコンで実施します。  
一部のテキスト科目、スクーリング科目は、レポートによる  
試験を実施します。

授業も単位修得もインターネットで!  
レポート提出も不要です。



#### 取得できる資格(受験資格等を含む)

- 認定心理士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 社会福祉主事任用資格
- 児童指導員任用資格
- 児童福祉司任用資格
- 身体障害者福祉司任用資格
- 知的障害者福祉司任用資格
- 初級パラスポーツ指導員
- AFP/FP2級

#### 「科目等履修生」なら関心ある科目を1科目から学べる

- ▶関心のある科目だけを学びたい
- ▶少ない科目から学習を始めたい
- ▶認定心理士を取得したい
- ▶AFP/FP2級を取得したい

#### 2025年度入学 出願受付締切間近

[科目等履修生・特修生]  
2025年8月31日まで(消印有効)

#### 2026年度入学 出願期間(予定)

[正科生]2025年12月1日~2026年3月31日  
[科目等履修生・特修生]2025年12月1日~2026年8月31日

■短期大学、専門学校、高等専門学校を卒業した方は3年次編入学が可能。他にもキャリアに合わせた入学制度があります。■取得している資格や検定合格を卒業単位として認定する単位認定制度。■志望理由書による入学審査のため入学試験はありません。■経済的に無駄のない単位制学費。5・6年かけて卒業する場合でも、学費負担を抑えられます。  
●本学園同窓会員、および同窓会員の推薦を受けた方を対象にした学費等の減免制度を設けています。



日本福祉大学 通信教育部  
福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科

〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町奥田  
日本福祉大学通信教育部事務室  
TEL:0569-87-2932  
日本福祉大学 通信 検索  
www.nfu.ne.jp

資料請求は  
こちらから▶

